

第3次富士見市環境基本計画
策定に伴う環境に関するアンケート
報告書

令和4年3月

富士見市

目 次

1.	業務概要.....	1
1.1.	目的.....	1
1.2.	調査項目.....	1
2.	アンケート調査.....	2
2.1.	調査概要.....	2
2.1.1.	調査の目的.....	2
2.1.2.	調査の設計.....	2
2.1.3.	回収結果.....	2
2.1.4.	報告書の見方.....	3
2.2.	市民を対象としたアンケート集計結果.....	4
(1)	あなたご自身のことについて.....	4
(2)	地域の環境について.....	10
(3)	環境に配慮した行動について.....	28
(4)	環境に対する関心について.....	34
(5)	環境施策について.....	39
(6)	SDGsについて.....	54
2.3.	事業所を対象としたアンケート集計結果.....	67
(1)	貴事業所について.....	67
(2)	富士見市の環境の魅力について.....	76
(3)	環境保全への取組み状況について.....	77
(4)	今後、環境保全を進めていく上で配慮することについて.....	88
(5)	環境施策について.....	90
(6)	地球温暖化防止に向けた取組みについて.....	93
(7)	SDGsについて.....	96
2.4.	児童を対象としたアンケート集計結果.....	98
(1)	小学5年生の回答.....	98
(2)	児童のご家族のおとなの方の回答.....	116

1. 業務概要

1.1. 目的

第3次富士見市環境基本計画策定にあたり、基礎調査を実施し、計画案に反映させる基礎資料とする。

1.2. 調査項目

アンケート調査

2. アンケート調査

2.1. 調査概要

2.1.1. 調査の目的

本市では、平成 25 年 3 月に「第 2 次富士見市環境基本計画」を策定し、平成 30 年 3 月には計画の見直しを行い、環境にやさしい住みよいまちづくりを目指して、環境施策の推進を図ってきたが、令和 4 年度が現行計画の最終年度にあたることから、新たに策定する「第 3 次富士見市環境基本計画」の基礎資料として活用するため、市民、事業者、児童及びその保護者の環境に関する意識調査を実施したものである。

2.1.2. 調査の設計

アンケートの調査期間、調査対象者の抽出及び調査方法については、表 2-1 のとおりである。

なお、実施予定であった富士見ふるさと祭り等のイベントでのアンケート配布については、新型コロナウイルス感染拡大防止措置として、不特定多数の人が集まる大規模なイベントが中止となったことから、実施しない運びとなった。

表 2-1 調査の設計

項目	内容
調査期間	・市民アンケート：令和 3 年 10 月 11 日（月）～10 月 31 日（日） ・事業所アンケート：令和 3 年 10 月 11 日（月）～10 月 31 日（日） ・児童アンケート：令和 3 年 10 月 11 日（月）～10 月 29 日（金）
調査対象	・市民アンケート：市内在住の 18 歳以上の市民 1,000 人 ・事業所アンケート：市内在所の事業所 200 社 ・児童アンケート：市内市立小学校 5 年生及びその保護者
抽出方法	・市民アンケート：無作為抽出 ・事業所アンケート：無作為抽出 ・児童アンケート：市内市立小学校在学の 5 年生全児童及びその保護者
調査方法	郵送配布、郵送回収

2.1.3. 回収結果

各アンケートの配布数及び回収数は、表 2-2 のとおりである。

表 2-2 アンケートの回収状況

アンケート内容	配布数	回収数	有効回収数*
市民アンケート	1,000	335 (33.5%)	333 (33.3%)
事業者アンケート	200	63 (31.5%)	62 (31.0%)
児童アンケート	388	360 (92.8%)	・児童：360 (92.8%) ・保護者：355 (91.5%)

※有効回収数とは、回収数のうち、設問すべてで解答欄が無記入であった調査票を除いた数である。

2.1.4. 報告書の見方

- ①集計は、記述を除き、各問すべてで単純集計を行い、一部地域特性や年代、居住性の視点等、市の課題として抽出できる項目においてクロス集計を行った。
- ②本報告書で掲載している構成比及び割合は、小数点以下第二位を四捨五入して算出しているため、合計は100%にならないことがある。
- ③記述回答については、個人の意見を尊重し、誤字・脱字及び個人の特定につながる表現を除き、回答をそのまま掲載している。

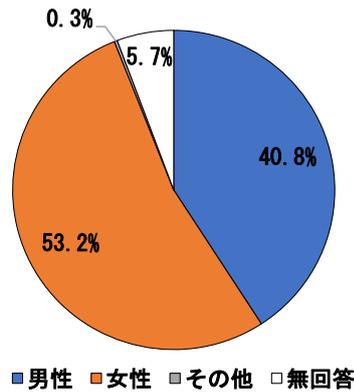
2.2. 市民を対象としたアンケート集計結果

(1) あなたご自身のことについて

問 1. あなたやご家族について、それぞれの項目ごとにあてはまるものに○をつけてください。また、⑨についてはあてはまる車両の台数も記入してください。

問 1-①あなたの性別

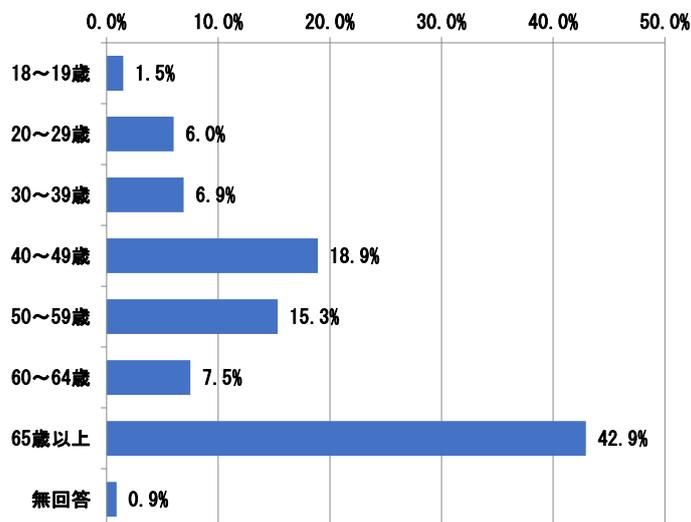
性別では、「男性」が40.8%、「女性」が53.2%、「その他」が0.3%となっている。



項目	件数	構成比
男性	136	40.8%
女性	177	53.2%
その他	1	0.3%
無回答	19	5.7%
合計	333	100.0%

問 1-②あなたの年齢

年齢では、「65歳以上」が42.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が18.9%、「50～59歳」が15.3%となっている。



項目	件数	構成比
18～19歳	5	1.5%
20～29歳	20	6.0%
30～39歳	23	6.9%
40～49歳	63	18.9%
50～59歳	51	15.3%
60～64歳	25	7.5%
65歳以上	143	42.9%
無回答	3	0.9%
合計	333	100.0%

問 1-③あなたの居住地区（小学校区単位）

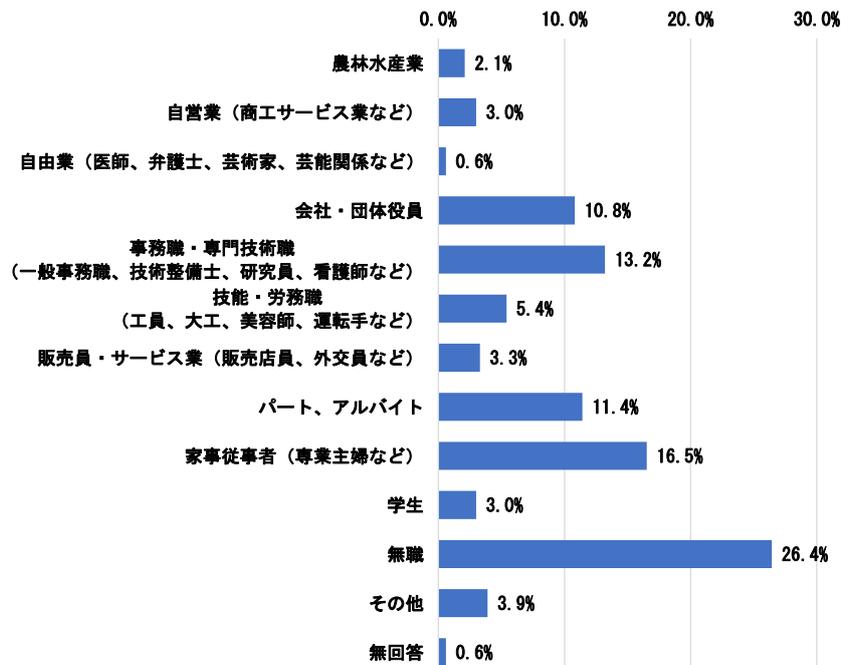
居住地区では、「鶴瀬」が13.8%と最も多く、次いで「みずほ台」が12.3%、「ふじみ野」が12.0%となっている。



項目	件数	構成比
鶴瀬	46	13.8%
水谷	20	6.0%
南畑	17	5.1%
関沢	38	11.4%
勝瀬	24	7.2%
水谷東	21	6.3%
諏訪	28	8.4%
みずほ台	41	12.3%
針ヶ谷	16	4.8%
ふじみ野	40	12.0%
つるせ台	37	11.1%
無回答	5	1.5%
合計	333	100.0%

問 1-④あなたの職業

職業では、「無職」が26.4%と最も多く、次いで「家事従事者（専業主婦など）」が16.5%、「事務職・専門技術職（一般事務職、技術整備士、研究員、看護師など）」が13.2%となっている。



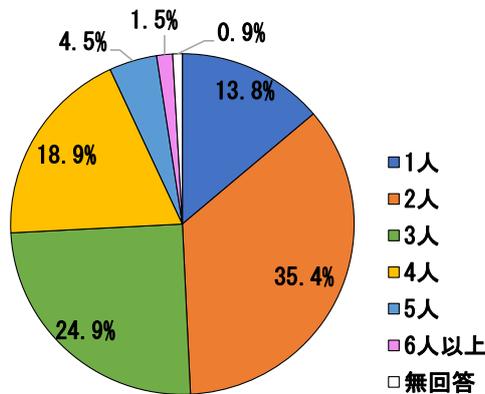
項目	件数	構成比
農林水産業	7	2.1%
自営業（商工サービス業など）	10	3.0%
自由業（医師、弁護士、芸術家、芸能関係など）	2	0.6%
会社・団体役員	36	10.8%
事務職・専門技術職 （一般事務職、技術整備士、研究員、看護師など）	44	13.2%
技能・労務職 （工員、大工、美容師、運転手など）	18	5.4%
販売員・サービス業（販売店員、外交員など）	11	3.3%
パート、アルバイト	38	11.4%
家事従事者（専業主婦など）	55	16.5%
学生	10	3.0%
無職	88	26.4%
その他	13	3.9%
無回答	2	0.6%
回答者数	333	—
回答数合計	334	—

<その他の記述内容>

- 社会福祉
- ドライバー
- 大学教員
- 教員
- 年金生活
- 公務員
- 週2日程度時短パートしている。
- 求職中
- 東京との適度な近さがある。
- 80歳なので職なし。
- 福祉作業所へ通所。

問 1-⑤あなたの世帯人数

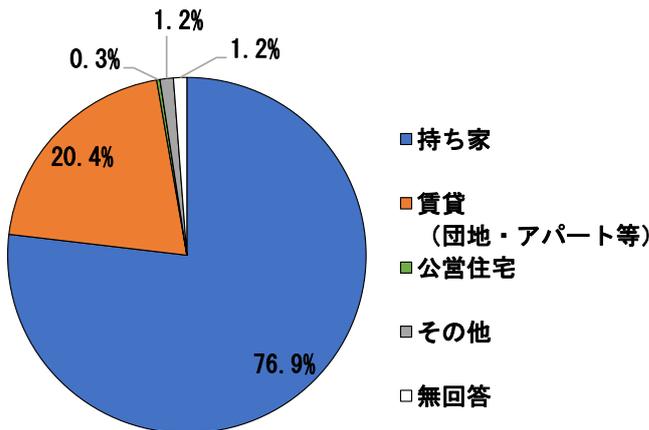
世帯人数では、「2人」が35.4%と最も多く、次いで「3人」が24.9%、「4人」が18.9%となっている。



項目	件数	構成比
1人	46	13.8%
2人	118	35.4%
3人	83	24.9%
4人	63	18.9%
5人	15	4.5%
6人以上	5	1.5%
無回答	3	0.9%
合計	333	100.0%

問 1-⑥あなたの居住形態

居住形態では、「持ち家」が76.9%と最も多く、次いで「賃貸（団地・アパート等）」が20.4%となっている。



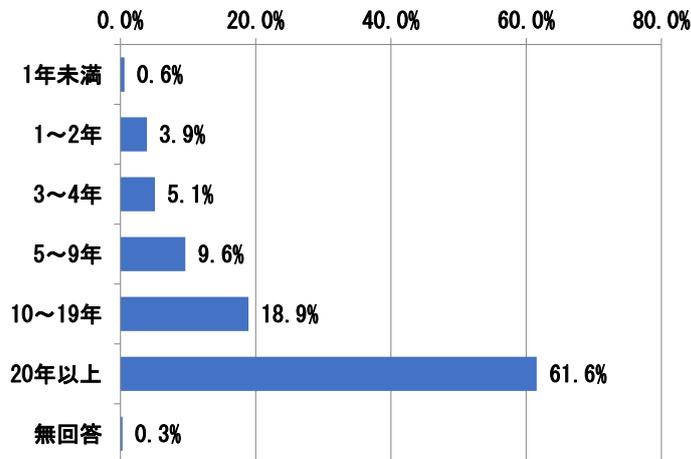
項目	件数	構成比
持ち家	256	76.9%
賃貸 (団地・アパート等)	68	20.4%
公営住宅	1	0.3%
社宅等	0	0.0%
その他	4	1.2%
無回答	4	1.2%
合計	333	100.0%

<その他の記述内容>

- 持ちマンション
- マンション
- 老人ホーム

問 1-⑦あなたの市内居住年数

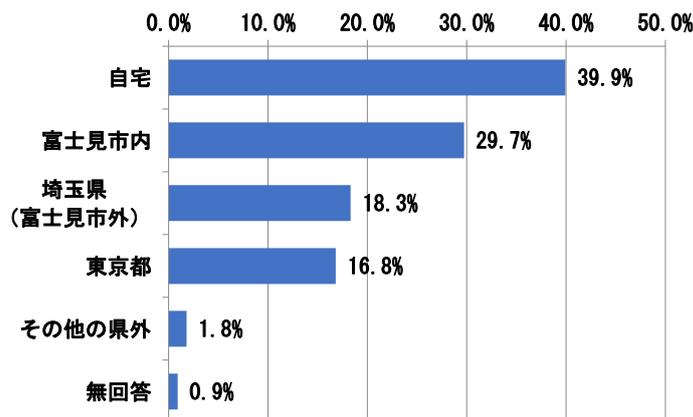
市内居住年数では、「20年以上」が61.6%と最も多く、次いで「10～19年」が18.9%、「5～9年」が9.6%となっている。



項目	件数	構成比
1年未満	2	0.6%
1～2年	13	3.9%
3～4年	17	5.1%
5～9年	32	9.6%
10～19年	63	18.9%
20年以上	205	61.6%
無回答	1	0.3%
合計	333	100.0%

問 1-⑧あなたが日中活動している主な場所

主な活動場所については、「自宅」が39.9%と最も多く、次いで「富士見市内」が29.7%、「埼玉県(富士見市外)」が18.3%となっている。



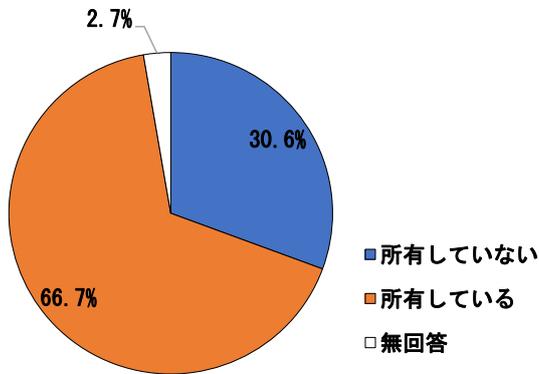
項目	件数	構成比
自宅	133	39.9%
富士見市内	99	29.7%
埼玉県(富士見市外)	61	18.3%
東京都	56	16.8%
その他の県外	6	1.8%
無回答	3	0.9%
回答者数	333	—
回答数合計	358	—

<その他の記述内容>

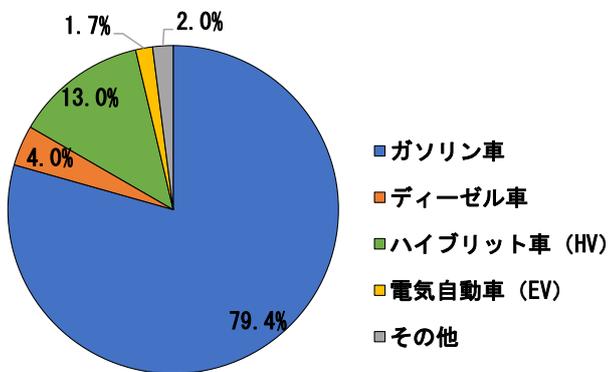
- 群馬
- 神奈川県
- 福井県
- 茨城県
- 志木市

問 1-⑨車の所有について（世帯所有含む）

車の所有については、「所有している」が66.7%と半数以上を占めており、そのうち、「ガソリン車」を所有する割合が79.4%と最も多く、次いで「ハイブリット車（HV）」が13.0%、「ディーゼル車」が4.0%となっている。



項目	件数	構成比
所有していない	102	30.6%
所有している	222	66.7%
無回答	9	2.7%
合計	333	100.0%



車種	台数	構成比
ガソリン車	239	79.4%
ディーゼル車	12	4.0%
ハイブリット車（HV）	39	13.0%
電気自動車（EV）	5	1.7%
その他	6	2.0%
合計	301	1

<その他の記述内容>

- オートバイ
- ガソリンバイク

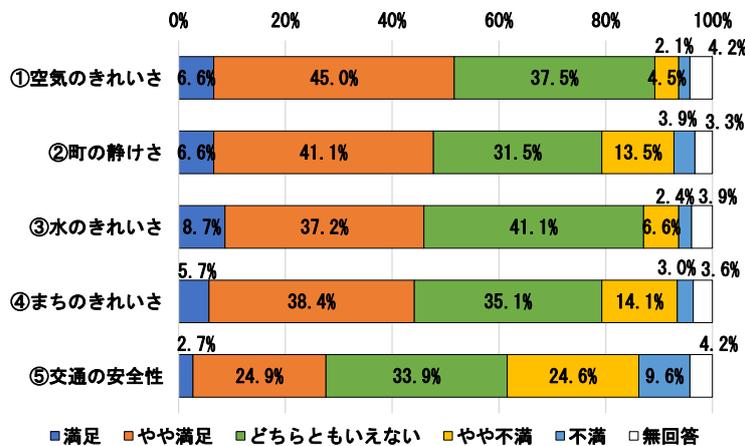
(2) 地域の環境について

問 2. 現在お住まいの周辺の環境に対する満足度と 10 年前に比べてどのように変化したかについてお伺いします。
 次の項目ごとにあてはまるものを 1 つ選び、その番号に○をつけてください。(居住 10 年未満の場合は
 住み始めと比較した変化についてお答えください)

◆生活環境などについて

【満足度】

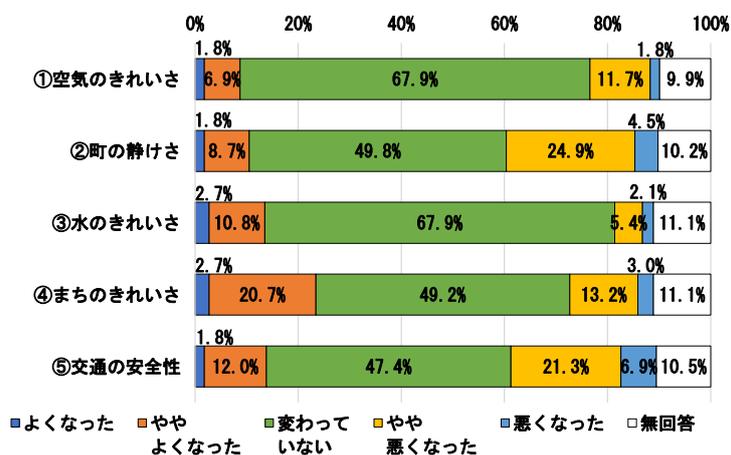
生活環境に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では「①空気のきれいさ」が 51.6%と最も多く、次いで「②町の静けさ」が 47.7%となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では、「⑤交通の安全性」が 34.2%と最も多く、次いで「②町の静けさ」が 17.4%となっている。



項目 (件数)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①空気のきれいさ	22	150	125	15	7	14	333
②町の静けさ	22	137	105	45	13	11	333
③水のきれいさ	29	124	137	22	8	13	333
④まちのきれいさ	19	128	117	47	10	12	333
⑤交通の安全性	9	83	113	82	32	14	333
項目 (構成比)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①空気のきれいさ	6.6%	45.0%	37.5%	4.5%	2.1%	4.2%	100.0%
②町の静けさ	6.6%	41.1%	31.5%	13.5%	3.9%	3.3%	100.0%
③水のきれいさ	8.7%	37.2%	41.1%	6.6%	2.4%	3.9%	100.0%
④まちのきれいさ	5.7%	38.4%	35.1%	14.1%	3.0%	3.6%	100.0%
⑤交通の安全性	2.7%	24.9%	33.9%	24.6%	9.6%	4.2%	100.0%

【10年前との比較】

生活環境に対する10年前との比較について、「よくなった」と「ややよくなった」を合わせた『よくなった』では、「④まちのきれいさ」が23.4%と最も多く、次いで「⑤交通の安全性」が13.8%となっている。一方、「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた『悪くなった』では「②町の静けさ」が29.4%と最も多く、次いで「⑤交通の安全性」が28.2%となっている。

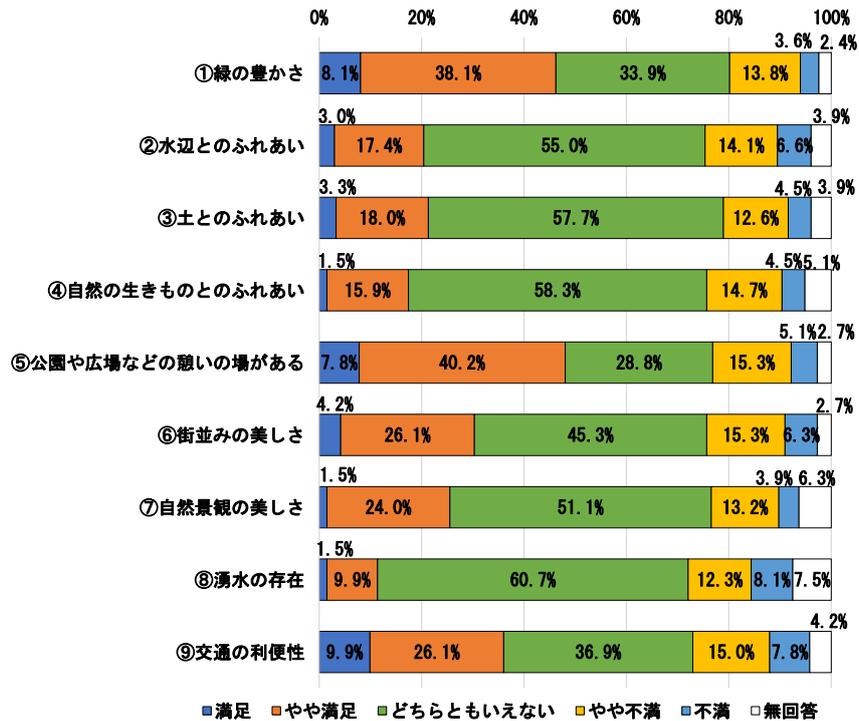


項目 (件数)	よくなった	ややよくなった	変わっていない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	合計
①空気きれいさ	6	23	226	39	6	33	333
②町の静けさ	6	29	166	83	15	34	333
③水きれいさ	9	36	226	18	7	37	333
④まちきれいさ	9	69	164	44	10	37	333
⑤交通安全性	6	40	158	71	23	35	333
項目 (構成比)	よくなった	ややよくなった	変わっていない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	合計
①空気きれいさ	1.8%	6.9%	67.9%	11.7%	1.8%	9.9%	100.0%
②町の静けさ	1.8%	8.7%	49.8%	24.9%	4.5%	10.2%	100.0%
③水きれいさ	2.7%	10.8%	67.9%	5.4%	2.1%	11.1%	100.0%
④まちきれいさ	2.7%	20.7%	49.2%	13.2%	3.0%	11.1%	100.0%
⑤交通安全性	1.8%	12.0%	47.4%	21.3%	6.9%	10.5%	100.0%

◆自然環境や快適環境について

【満足度】

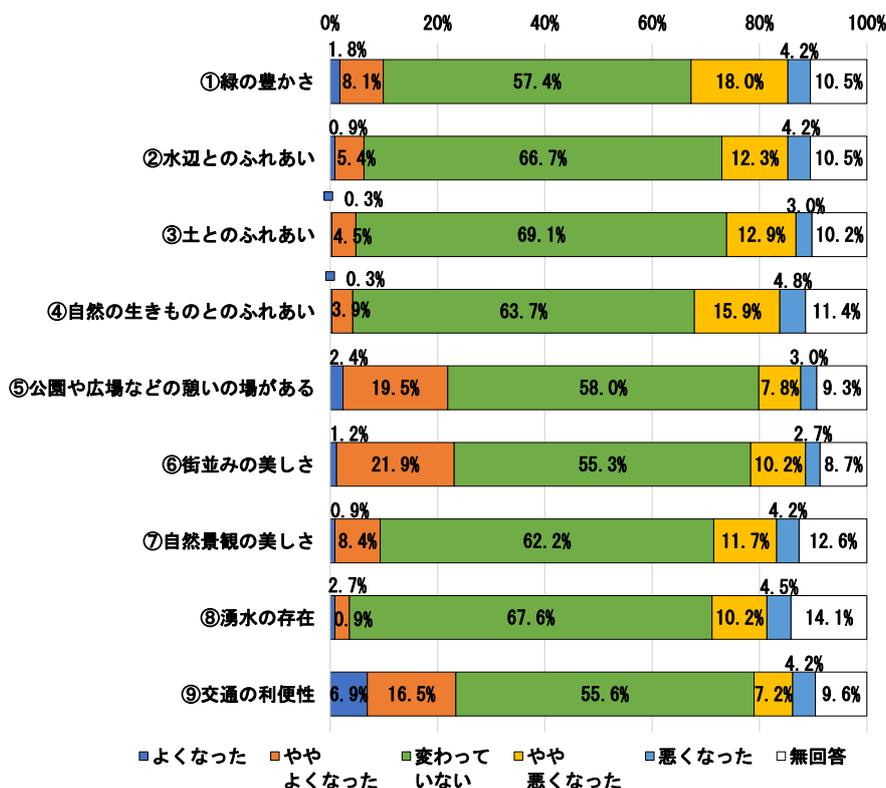
自然環境や快適環境に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では「⑤公園や広場などの憩いの場がある」が48.0%と最も多く、次いで「①緑の豊かさ」が46.2%となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では、「⑨交通の利便性」が22.8%と最も多く、次いで「⑥街並みの美しさ」が21.6%となっている。



項目 (件数)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①緑の豊かさ	27	127	113	46	12	8	333
②水辺とのふれあい	10	58	183	47	22	13	333
③土とのふれあい	11	60	192	42	15	13	333
④自然の生きもののふれあい	5	53	194	49	15	17	333
⑤公園や広場などの憩いの場がある	26	134	96	51	17	9	333
⑥街並みの美しさ	14	87	151	51	21	9	333
⑦自然景観の美しさ	5	80	170	44	13	21	333
⑧湧水の存在	5	33	202	41	27	25	333
⑨交通の利便性	33	87	123	50	26	14	333
項目 (構成比)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①緑の豊かさ	8.1%	38.1%	33.9%	13.8%	3.6%	2.4%	100.0%
②水辺とのふれあい	3.0%	17.4%	55.0%	14.1%	6.6%	3.9%	100.0%
③土とのふれあい	3.3%	18.0%	57.7%	12.6%	4.5%	3.9%	100.0%
④自然の生きもののふれあい	1.5%	15.9%	58.3%	14.7%	4.5%	5.1%	100.0%
⑤公園や広場などの憩いの場がある	7.8%	40.2%	28.8%	15.3%	5.1%	2.7%	100.0%
⑥街並みの美しさ	4.2%	26.1%	45.3%	15.3%	6.3%	2.7%	100.0%
⑦自然景観の美しさ	1.5%	24.0%	51.1%	13.2%	3.9%	6.3%	100.0%
⑧湧水の存在	1.5%	9.9%	60.7%	12.3%	8.1%	7.5%	100.0%
⑨交通の利便性	9.9%	26.1%	36.9%	15.0%	7.8%	4.2%	100.0%

【10年前との比較】

自然環境や快適環境に対する10年前との比較について、「よくなった」と「ややよくなった」を合わせた『よくなった』では、「⑨交通の利便性」が23.4%と最も多く、次いで「⑥街並みの美しさ」が23.1%となっている。一方、「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた『悪くなった』では「①緑の豊かさ」が22.2%と最も多く、次いで「④自然の生きものとのふれあい」が20.7%となっている。

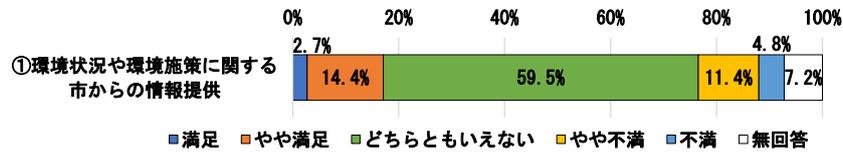


項目 (件数)	よくなった	ややよくなった	変わっていない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	合計
①緑の豊かさ	6	27	191	60	14	35	333
②水辺とのふれあい	3	18	222	41	14	35	333
③土とのふれあい	1	15	230	43	10	34	333
④自然の生きものとのふれあい	1	13	212	53	16	38	333
⑤公園や広場などの憩いの場がある	8	65	193	26	10	31	333
⑥街並みの美しさ	4	73	184	34	9	29	333
⑦自然景観の美しさ	3	28	207	39	14	42	333
⑧湧水の存在	3	9	225	34	15	47	333
⑨交通の利便性	23	55	185	24	14	32	333
項目 (構成比)	よくなった	ややよくなった	変わっていない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	合計
①緑の豊かさ	1.8%	8.1%	57.4%	18.0%	4.2%	10.5%	100.0%
②水辺とのふれあい	0.9%	5.4%	66.7%	12.3%	4.2%	10.5%	100.0%
③土とのふれあい	0.3%	4.5%	69.1%	12.9%	3.0%	10.2%	100.0%
④自然の生きものとのふれあい	0.3%	3.9%	63.7%	15.9%	4.8%	11.4%	100.0%
⑤公園や広場などの憩いの場がある	2.4%	19.5%	58.0%	7.8%	3.0%	9.3%	100.0%
⑥街並みの美しさ	1.2%	21.9%	55.3%	10.2%	2.7%	8.7%	100.0%
⑦自然景観の美しさ	0.9%	8.4%	62.2%	11.7%	4.2%	12.6%	100.0%
⑧湧水の存在	0.9%	2.7%	67.6%	10.2%	4.5%	14.1%	100.0%
⑨交通の利便性	6.9%	16.5%	55.6%	7.2%	4.2%	9.6%	100.0%

◆環境情報の提供について

【満足度】

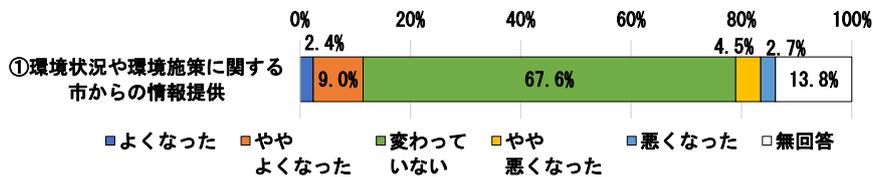
環境情報の提供に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では17.1%、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では16.2%となっている。



項目（件数）	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①環境状況や環境施策に関する市からの情報提供	9	48	198	38	16	24	333
項目（構成比）	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①環境状況や環境施策に関する市からの情報提供	2.7%	14.4%	59.5%	11.4%	4.8%	7.2%	100.0%

【10年前との比較】

環境情報の提供に対する満足度について、10年前との比較について、「よくなった」と「ややよくなった」を合わせた『よくなった』では11.4%、「悪くなった」と「やや悪くなった」を合わせた『悪くなった』では7.2%となっている。



項目（件数）	よくなった	ややよくなった	変わっていない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	合計
①環境状況や環境施策に関する市からの情報提供	8	30	225	15	9	46	333
項目（構成比）	よくなった	ややよくなった	変わっていない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	合計
①環境状況や環境施策に関する市からの情報提供	2.4%	9.0%	67.6%	4.5%	2.7%	13.8%	100.0%

《地区別の結果》

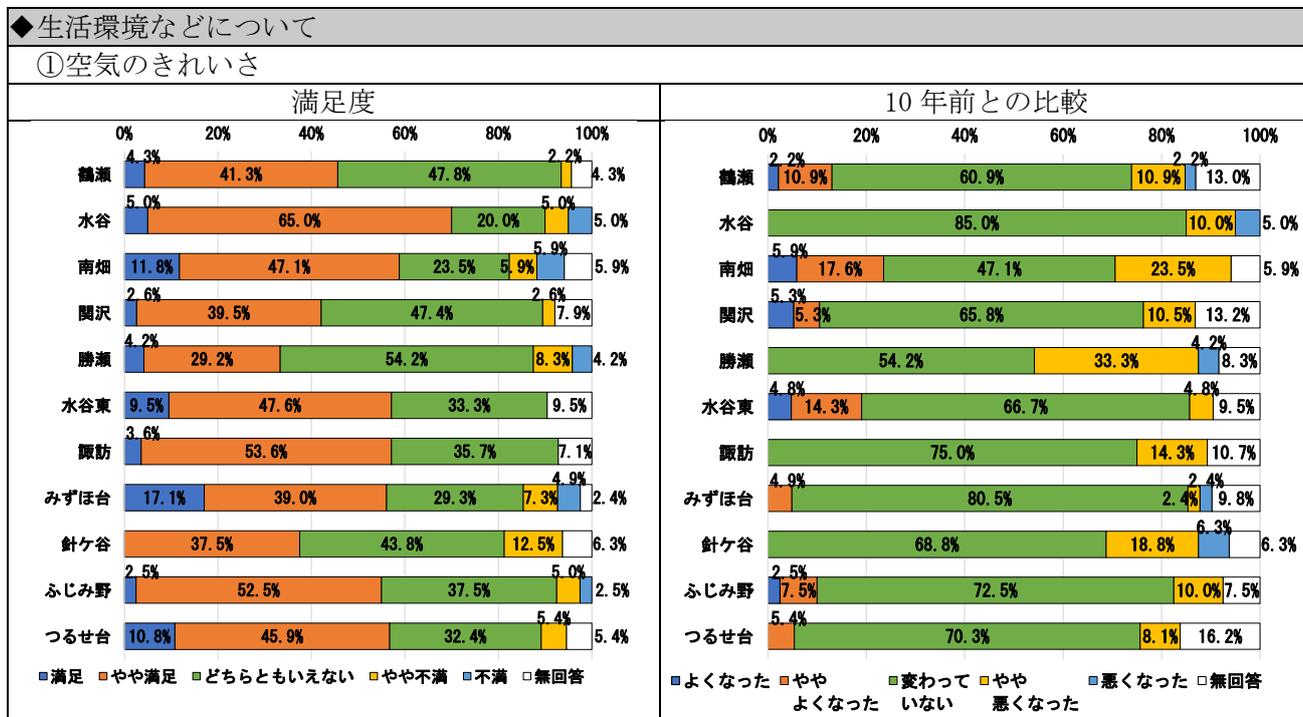
特筆べき事項としては、10年前との比較で「やや悪くなった」と「悪くなった」を合わせた『悪くなった』と回答した割合が、他の地区と比較して最も高い項目が多かったのは勝瀬地区であり、「①空気のきれいさ」(生活環境などについて)で37.5%、「②まちの静けさ」(生活環境などについて)で45.8%、「③水のきれいさ」(生活環境などについて)で20.9%、「⑤交通の安全性」(生活環境などについて)で37.5%、「②水辺とのふれあい」(自然環境や快適環境などについて)で37.5%、「⑤公園や広場などの憩いな場がある」で16.7%、「⑥街並みの美しさ」で25.0%、「⑦自然景観の美しさ」(自然環境や快適環境などについて)で33.3%、「⑧湧水の存在」(自然環境や快適環境などについて)で37.5%、「①環境の情報や環境施策に関する市からの情報提供」(環境情報の提供について)で25.0%であった。

そのうち、「②まちの静けさ」については諏訪地区でも『悪くなった』の回答が42.9%と比較的高い割合を占めている。

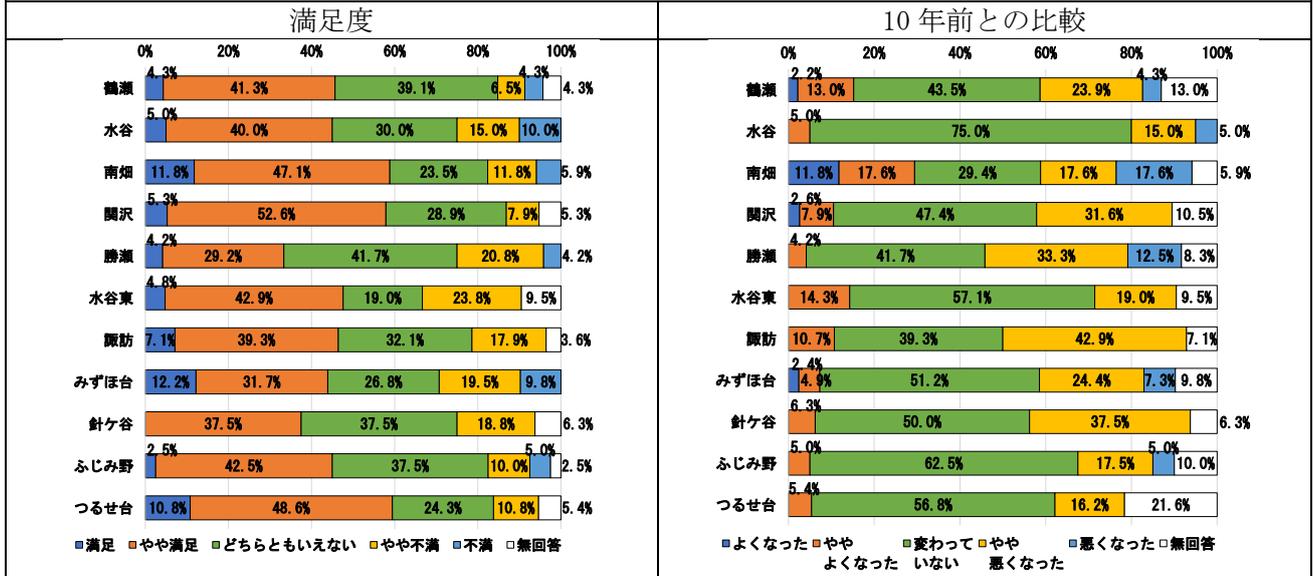
「①緑の豊かさ」については、『悪くなった』の割合が、諏訪地区で最も高く39.3%となっており、次いで南畑地区も比較的高く、35.3%となっている。この傾向は「④自然と生きものとのふれあい」でも同様であるが、この項目では『悪くなった』の割合が最も高かったのは南畑地区で35.3%、次いで諏訪地区が28.6%であった。

「④まちのきれいさ」については、『悪くなった』の割合が、針ヶ谷で最も高く、37.5%となっている。

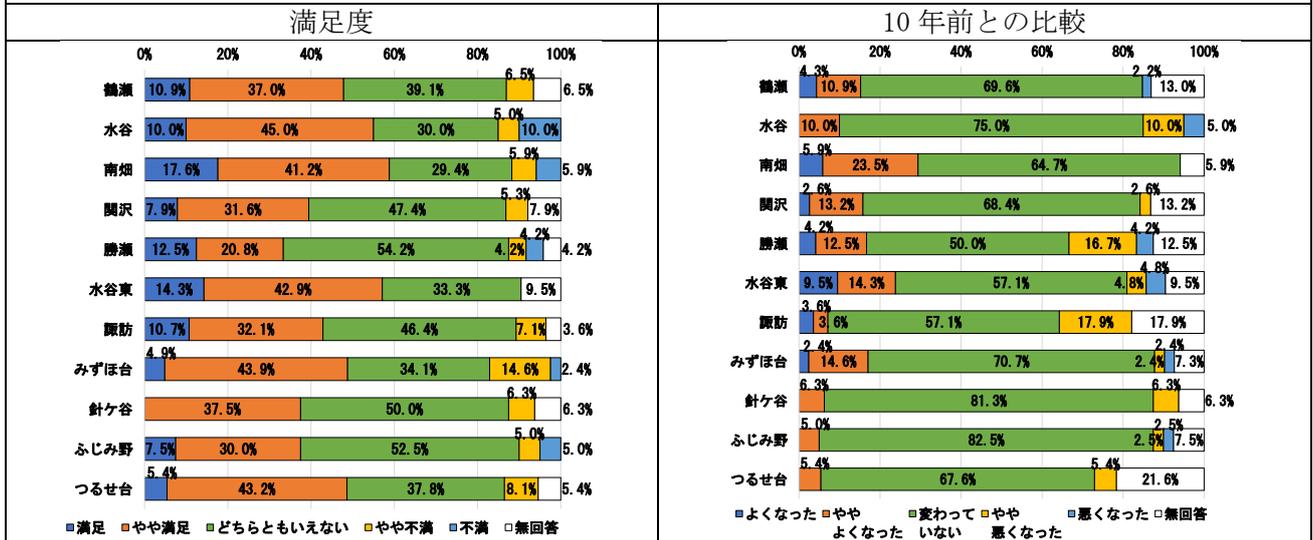
「⑨交通の利便性」については、南畑地区において「やや不満」と「不満」を合わせた『不満』の割合が他の地区と比べて高く、35.3%となっており、10年前との比較でも『悪くなった』の割合が29.4%と他の地区と比べて最も高い割合となっている。



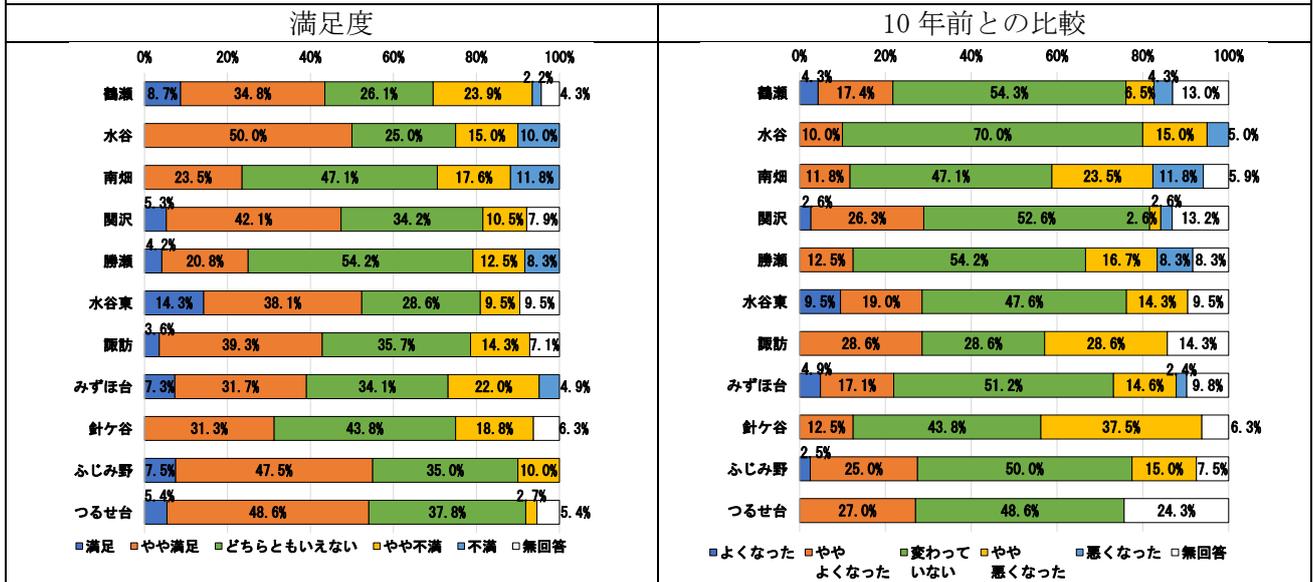
②まちの静けさ



③水のきれいさ

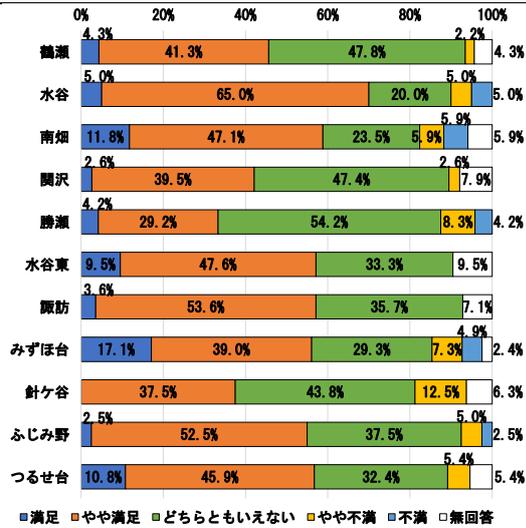


④まちのきれいさ

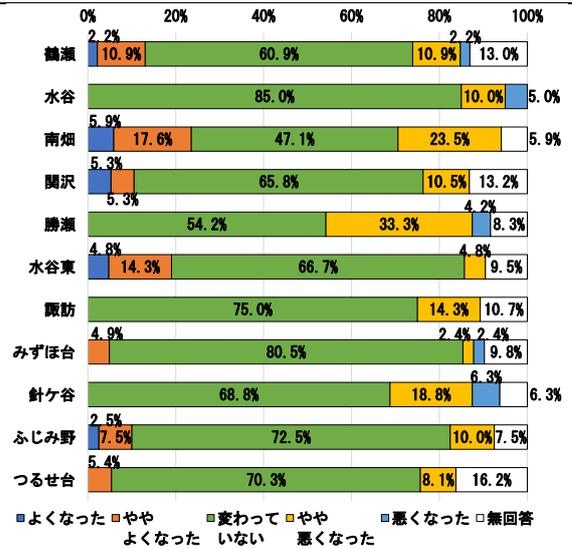


⑤交通の安全性

満足度



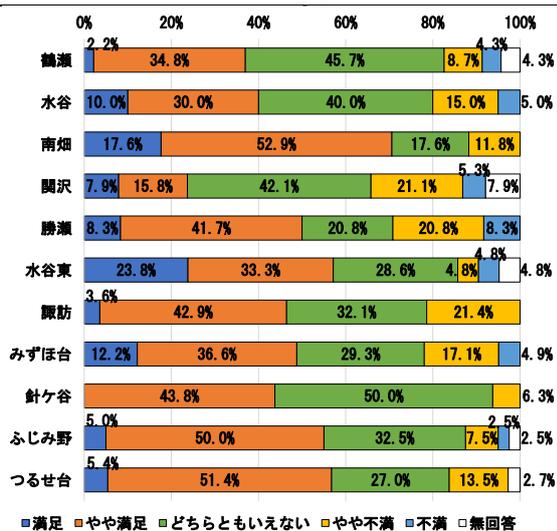
10年前との比較



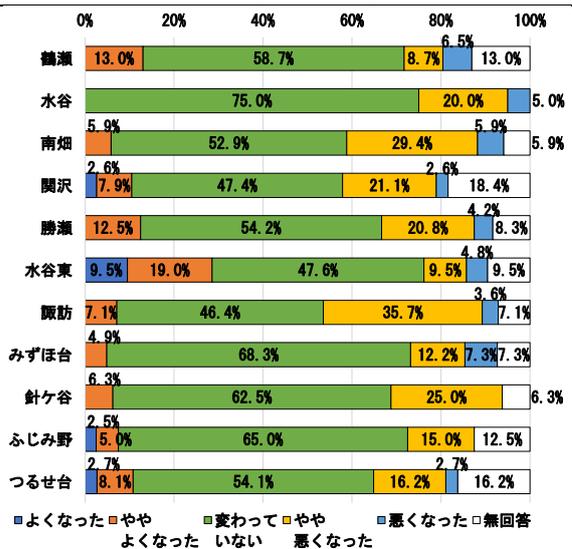
◆自然環境や快適環境について

①緑の豊かさ

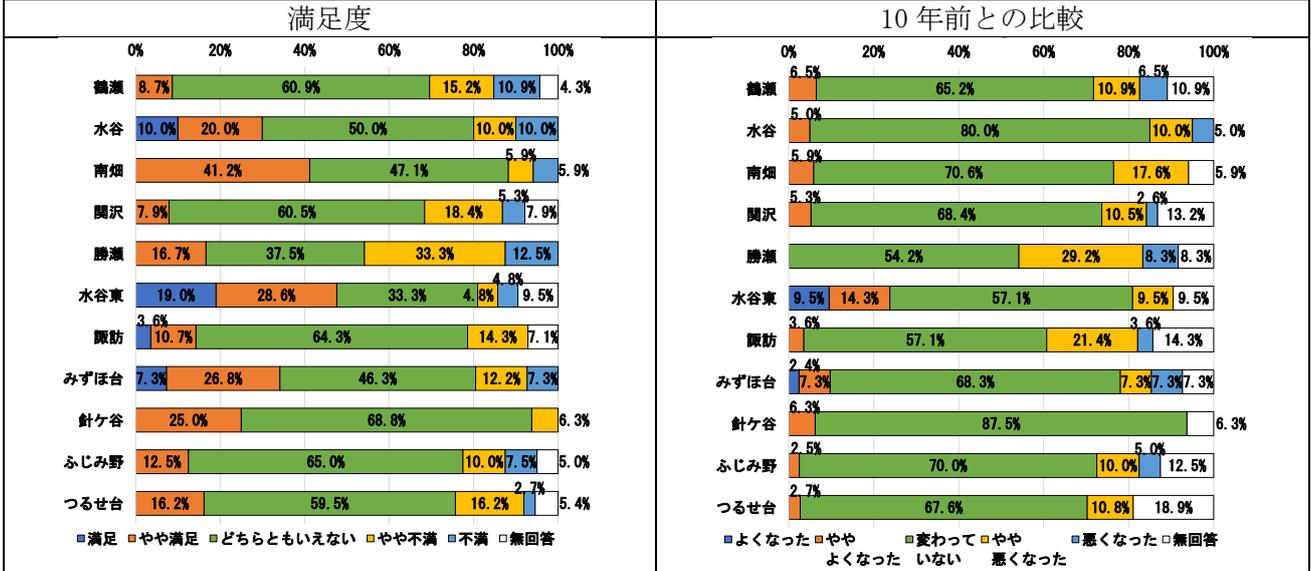
満足度



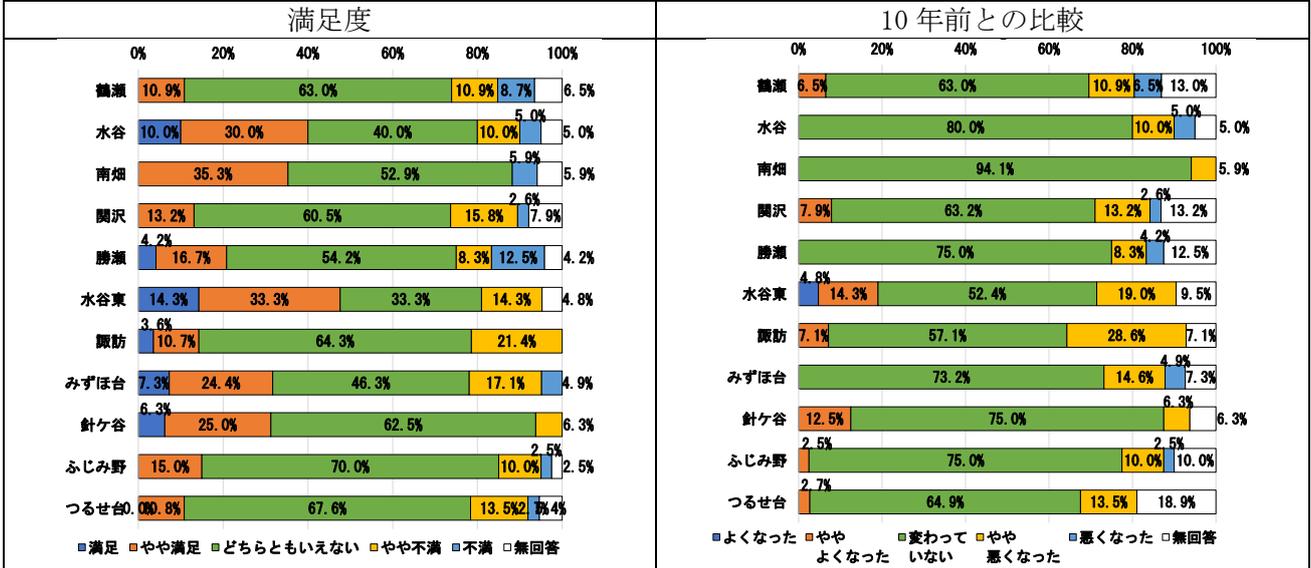
10年前との比較



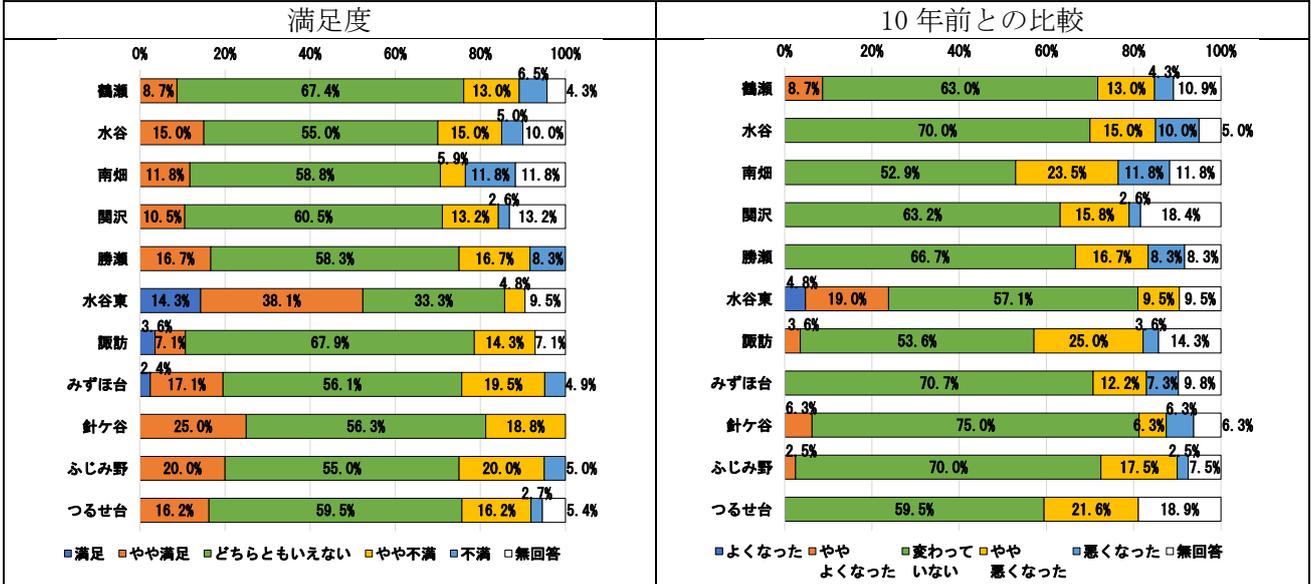
②水辺とのふれあい



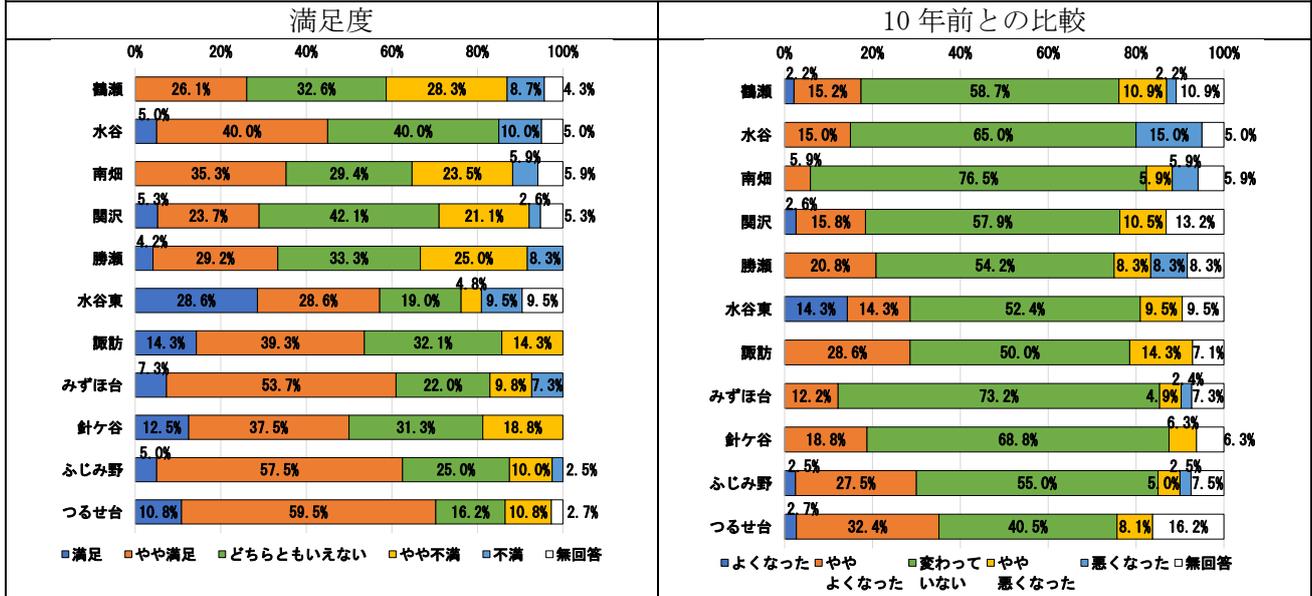
③土とのふれあい



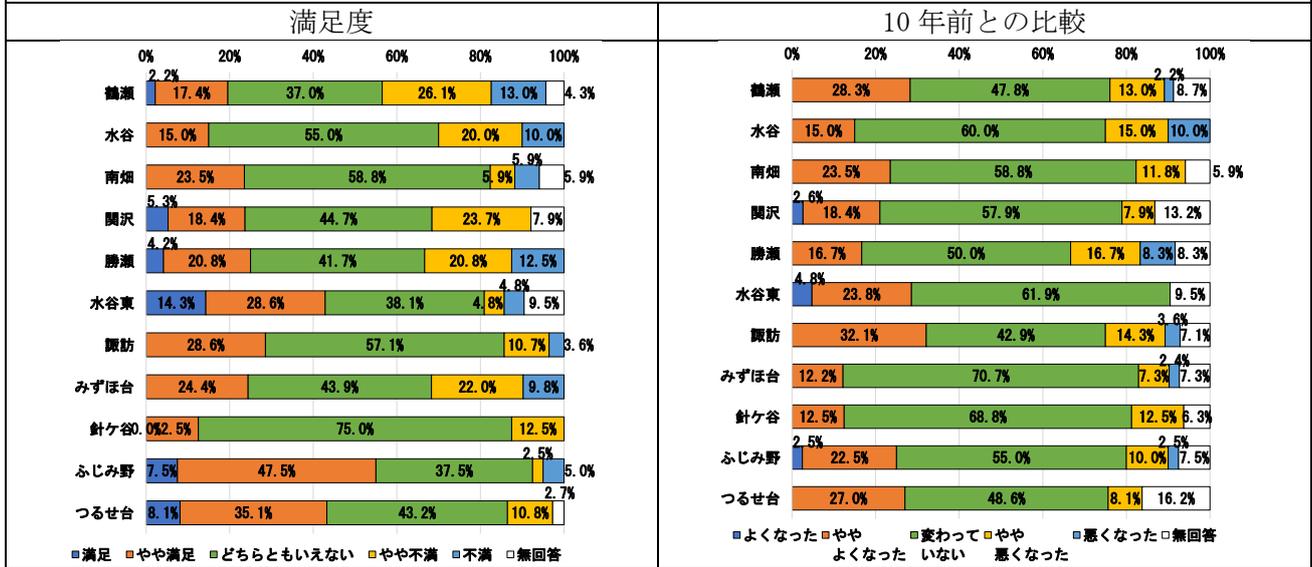
④自然の生きものとのふれあい



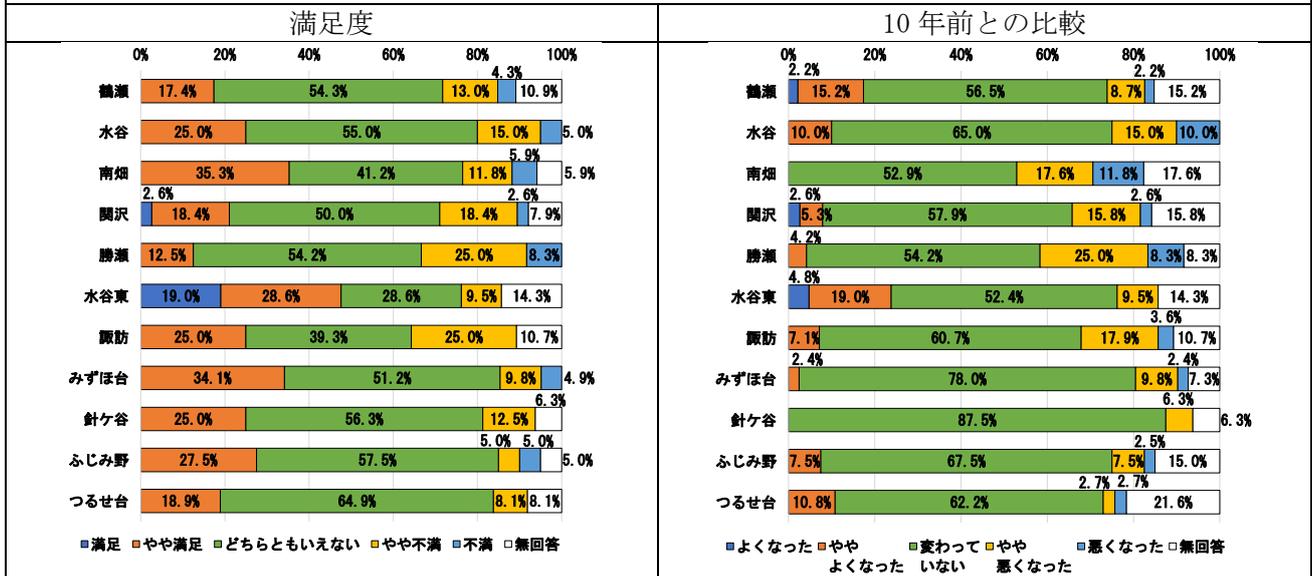
⑤公園や広場などの憩いの場がある



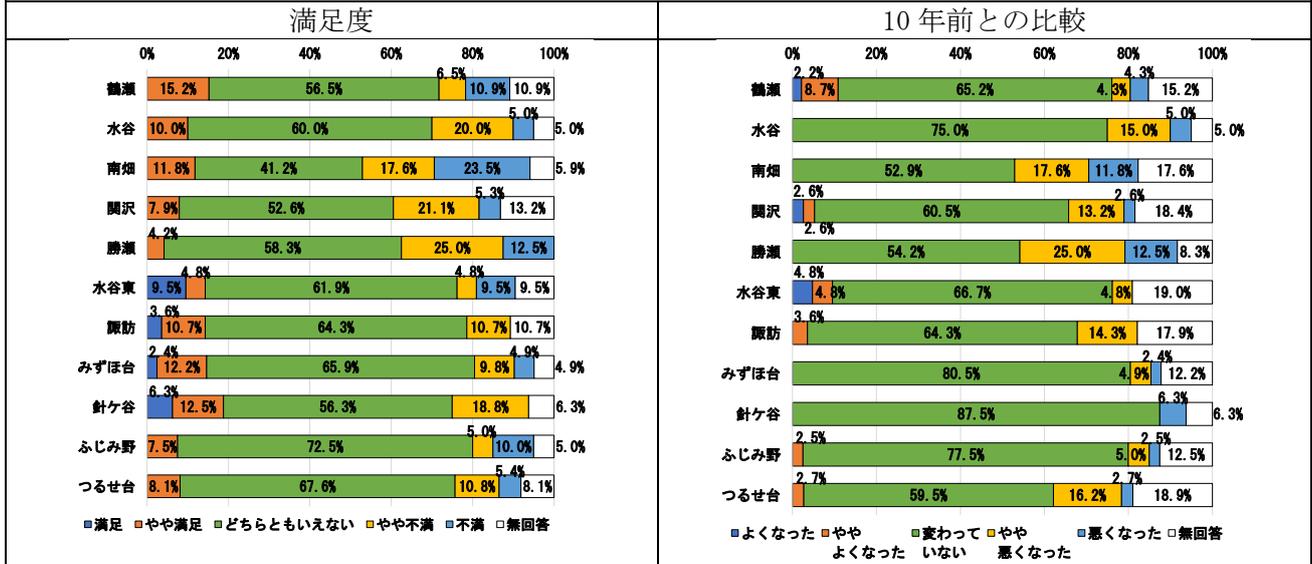
⑥街並みの美しさ



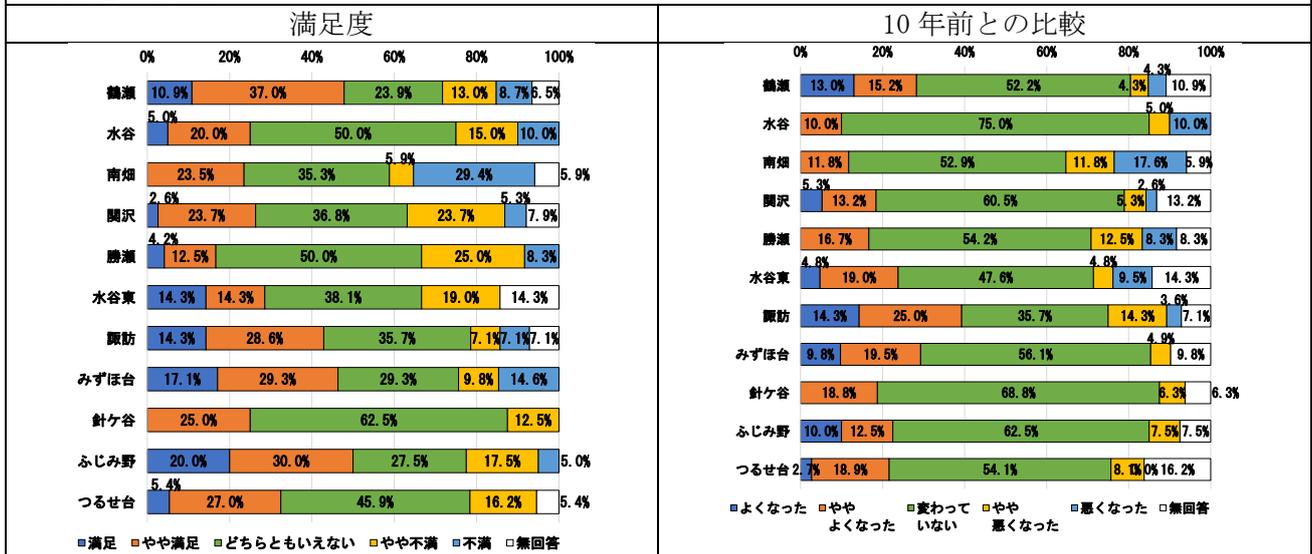
⑦自然景観の美しさ



⑧湧水の存在

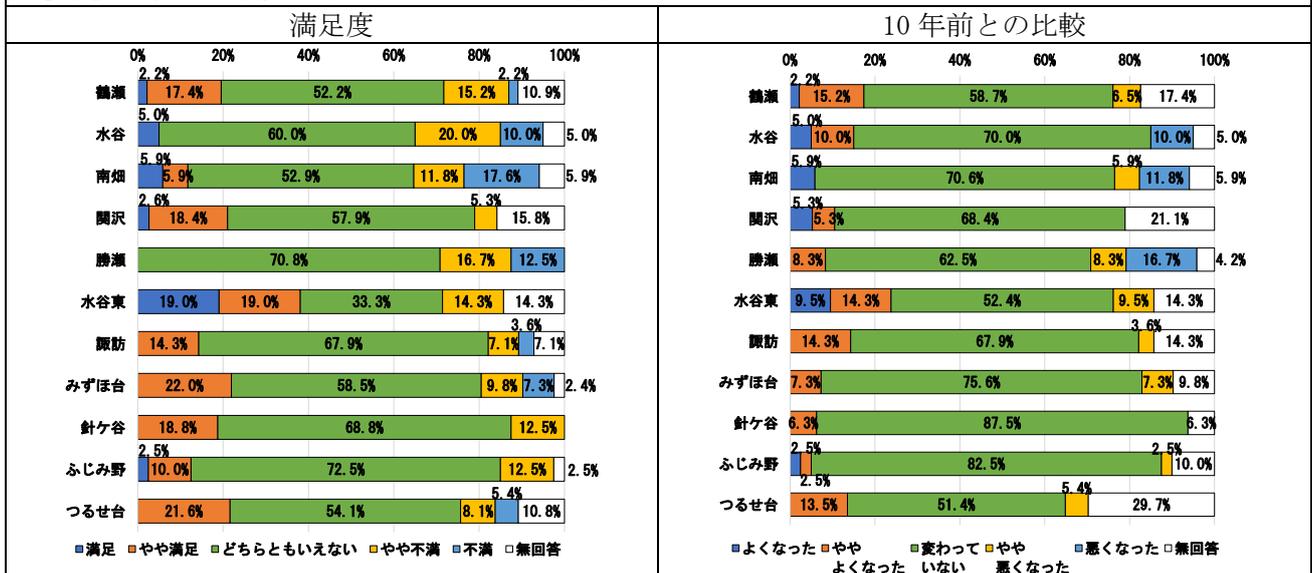


⑨交通の利便性



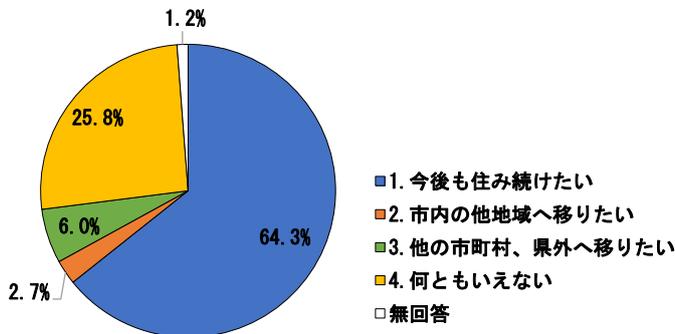
◆環境情報の提供について

①環境の状況や環境施策に関する市からの情報提供



問 3. あなたは現在お住まいの地域に今後も住みたいですか。あなたのお考えに近いものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

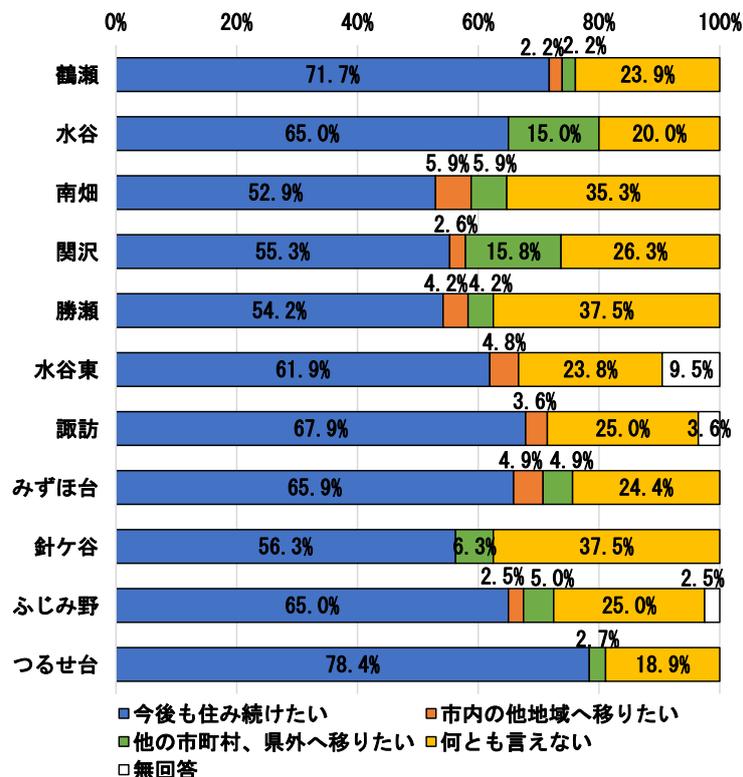
現在の住まいに今後も住みたいかという項目では、「今後も住みたい」が64.3%と最も多く、次いで「何ともいえない」が25.8%、「他の市町村、県外へ移りたい」が6.0%となっている。



項目	件数	構成比
1. 今後も住みたい	214	64.3%
2. 市内の他地域へ移りたい	9	2.7%
3. 他の市町村、県外へ移りたい	20	6.0%
4. 何ともいえない	86	25.8%
無回答	4	1.2%
合計	333	100.0%

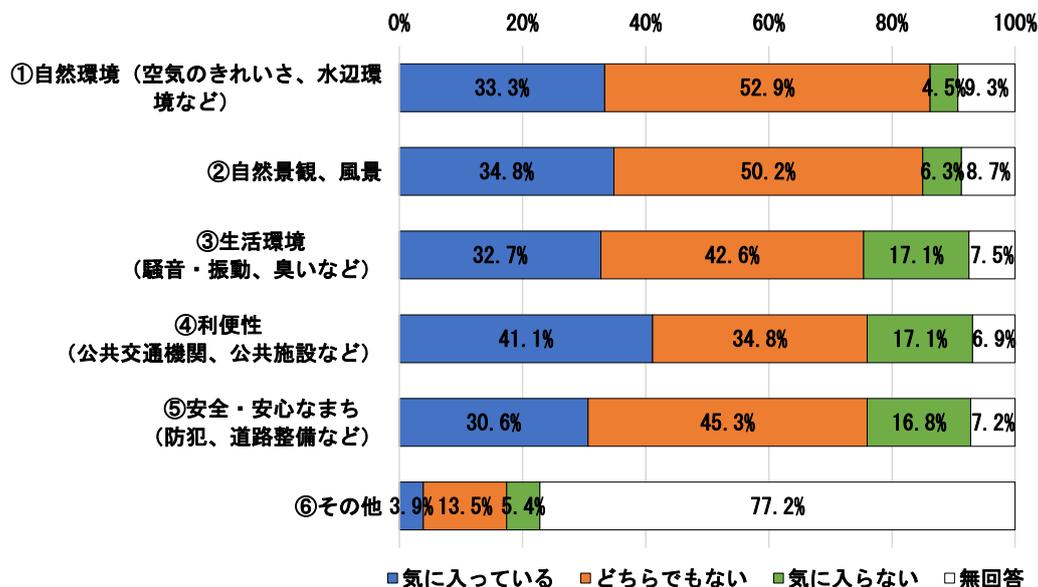
《居住意思の地区別の比較》

居住意思について、地区別の結果を見ると、「市内の他地域へ移りたい」と「他の市町村、県外へ移りたい」を合わせた『移住したい』の割合が最も高かった地区は関沢地区で18.4%、次いで水谷地区が15.0%、南畑地区が11.8%であった。



問4. 問3でお答えいただいた理由について、次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

問3で回答した理由について、①～⑥の項目のうち「気に入っている」と回答した割合が最も多いのは「④利便性（公共交通機関、公共施設など）」の41.1%となっている。一方、「気に入らない」と回答した割合が最も多いのは「③生活環境（騒音・振動、臭いなど）」及び「④利便性（公共交通機関、公共施設など）」がともに17.1%となっている。



項目（件数）	気に入っている	どちらでもない	気に入らない	無回答	回答者数
①自然環境（空気のきれいさ、水辺環境など）	111	176	15	31	333
②自然景観、風景	116	167	21	29	333
③生活環境（騒音・振動、臭いなど）	109	142	57	25	333
④利便性（公共交通機関、公共施設など）	137	116	57	23	333
⑤安全・安心なまち（防犯、道路整備など）	102	151	56	24	333
⑥その他	13	45	18	257	333
項目（構成比）	気に入っている	どちらでもない	気に入らない	無回答	合計
①自然環境（空気のきれいさ、水辺環境など）	33.3%	52.9%	4.5%	9.3%	100.0%
②自然景観、風景	34.8%	50.2%	6.3%	8.7%	100.0%
③生活環境（騒音・振動、臭いなど）	32.7%	42.6%	17.1%	7.5%	100.0%
④利便性（公共交通機関、公共施設など）	41.1%	34.8%	17.1%	6.9%	100.0%
⑤安全・安心なまち（防犯、道路整備など）	30.6%	45.3%	16.8%	7.2%	100.0%
⑥その他	3.9%	13.5%	5.4%	77.2%	100.0%

<その他の記述内容>

【「今後も住みたい」と回答した方】

- 家族が近所に住んでいる。
- 道路整備はもっと進めて良い。
- 代々居住している。
- 家を建てたので、住む。(住み続ける)
- 自然災害が少ない。
- 自宅(持ち家だから)
- 災害に強い。
- 道路を整備してほしい。
- 人間関係
- 税金が高い。
- 持ち家だから。
- 買い物が便利、駅にもそれほど遠くない。
- 近所つきあい。

【「市内の他地域へ移りたい」と回答した方】

(なし)

【「他の市町村、県外へ移りたい」と回答した方】

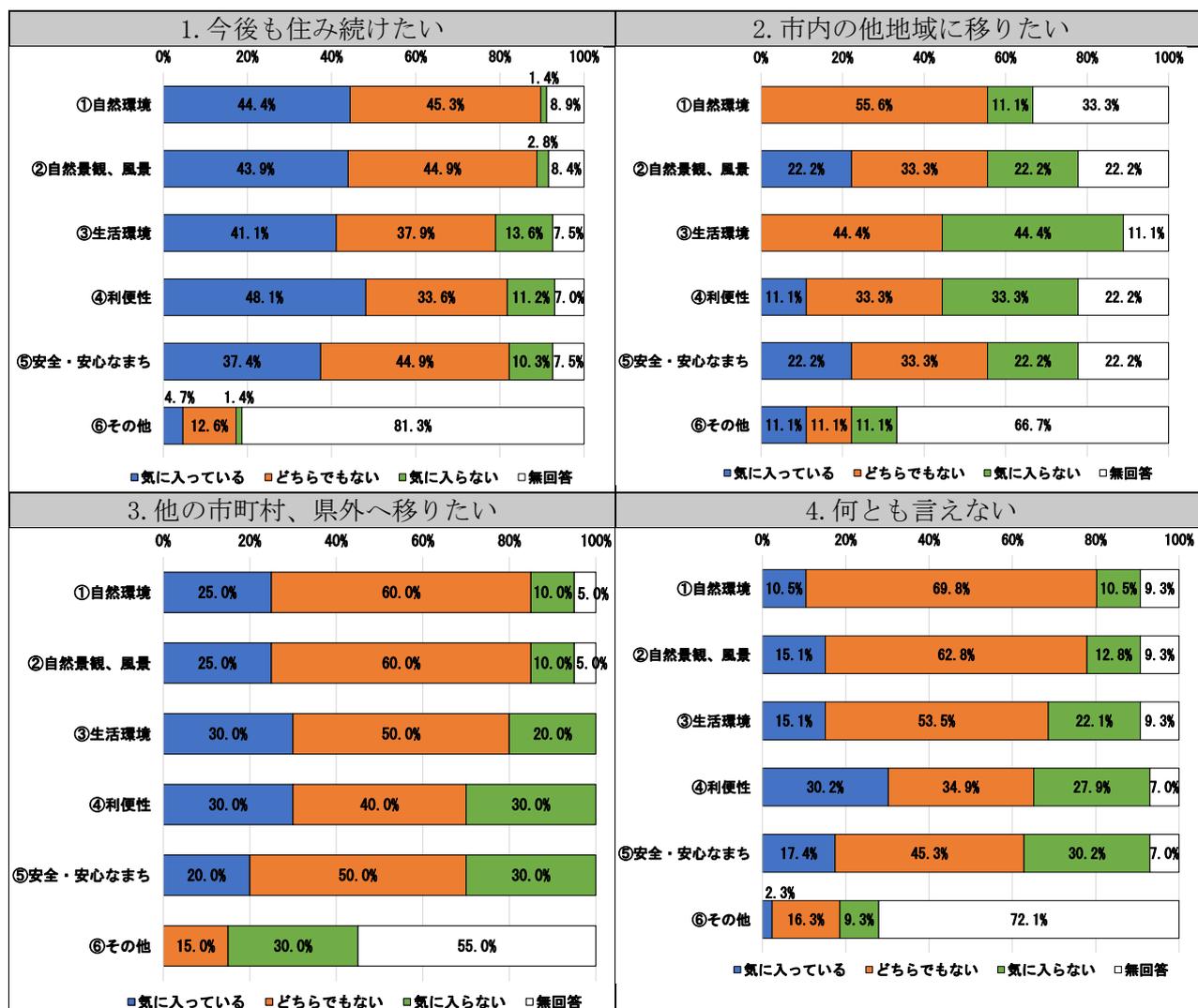
- 公立学校（小中）の学力。
- 農地の宅地への転換。
- ダイバーシティへの対応。
- 川の近くに住居がある為、水害が心配。
- ゴミ行政、制約が多すぎてゴミが出しづらい、出さずにたまって。
- 駅まで遠くて市役所に行くとき。ライフバスで行けますが、帰りは駅まで歩き、又、バス代を支払わなければいけない・・・行き時は¥210 でいけるが帰りは¥420 が必要。
- 職場が遠いので。
- 市民税が高すぎる。電車の急行が止まらなくなった。東上線の人身事故が多く遅れる事が多い。税金の無駄使いが多い。富士見市は県庁で有名である悪い意味で。

【「何とも言えない」と回答した方】

- ペット可マンションが少ない。
- 水害の心配がある。
- 自転車道、歩道の確保。年配の方の公共施設公共交通（バスの利便性）。
- 階下の住民の騒音クレームのため。
- 交通の便が悪い、道路が狭い。道路を広くしてもらいたい。
- 車等がぶつかりそうでこわい。さらに歩くスペースがなくなった。
- 買い物など利便性が良い。
- 仕事等での転居はありえるので。
- 環境問題として言うなら、まだまだ良くなってほしい。
- ららぽーと
- 有機農地の少なさ、マイノリティへの考慮の不足。

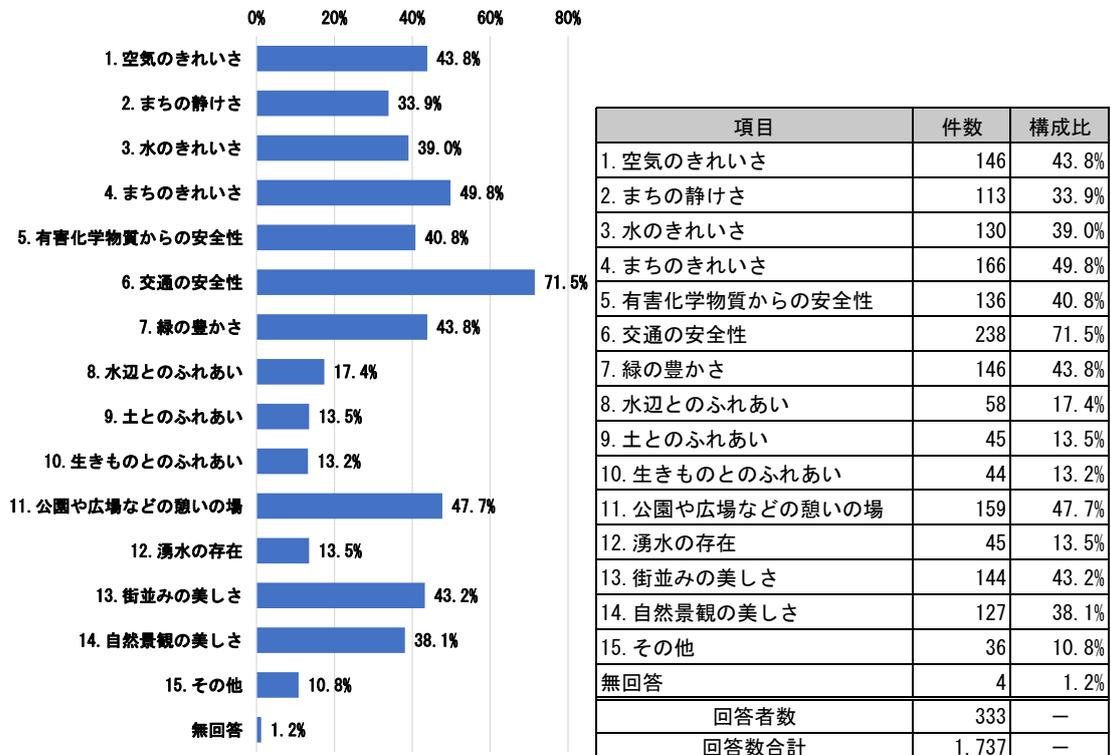
《居住意思とその理由の比較》

「今後も住み続けたい」と回答した方の内、その理由として「気に入っている」の割合が最も高かったのは「④利便性」で、48.1%であった。一方、「他の市町村、県外へ移りたい」と回答した方の内、その理由として最も割合が高った項目にも「④利便性」が含まれ、その他「安全・安心なまち」とともに30.0%であった。



問5. あなたは将来の富士見市の環境として何が重要だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

将来の富士見市の環境に重要だと考える項目では、「6. 交通の安全性」が71.5%と最も多く、次いで「4. まちのきれいさ」が49.8%、「11. 公園や広場などの憩いの場」が47.7%となっている。



【その他の記述】

- バランス
- ベットタウンとして安らげる街づくりを行う方向性がよいと思われまます。
- 体の不自由な方への安全性・利便性。
- 公園にペットが入ることは大反対で。(園児等の遊び場で用を足すことが多く不衛生。どこかにドッグランの場所を提供すればよい。)
- 駅周辺の整備。
- 防犯
- 環境に配慮した持続可能な資源の活用。
- 道路を広くして、交通の利便性を考えて。
- 夜間の騒音がない静けさ。
- 全部になってしまいます。
- 是非とも電柱の撤去をして欲しい。
- ・ポイ捨てが多いので改善してほしい。
 - ・イヌのふん多い。
 - ・ペットのマナー (ふん、放しがいのネコ)
- 自然と生きもの (保護猫、犬、たぬき etc) を大切にする環境。

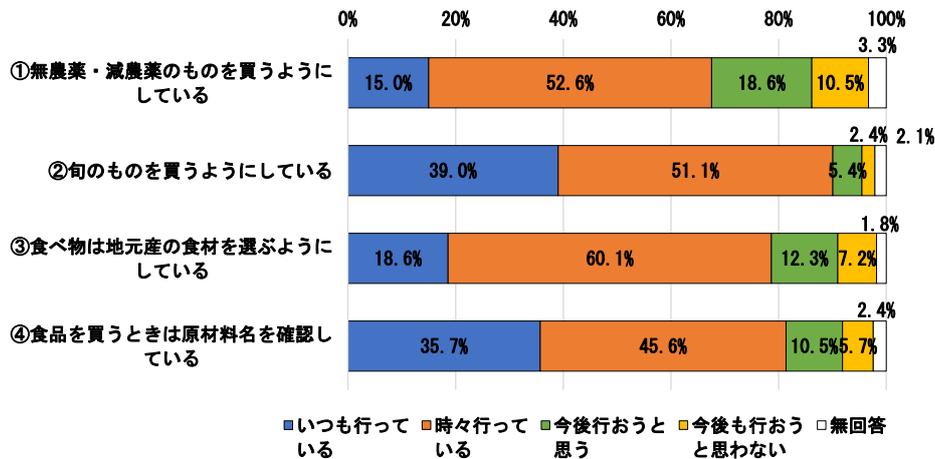
- 駅前の木にトリがたくさんいる。鳥のなきごえ意味なし。
- 夜の明るさ。
- 買い物のしやすさ、踏切り渋滞の解消。
- 商店街が少ない。
- 空き地の活用、空き家の管理。
- 利便性
- 東上線沿線でのバス運行。東上線が止まると歩くしかないのだ。
- 公害の無い環境。
- 総合病院の整備。
- 企業税収
- 自然災害や非常事態に対する心（意識）の準備を周知させる。
- 高齢者の暮らしやすい町づくり。
- 東上線の安全性の確保。
- 駅前や駅中ビルの発展。
- 閉店してシャッターが閉じっぱなしの店、リフォーム費用の公費補助。
- まだまだ知らない所が多いようです。発信して下さい。
- 浦所街道の交通騒音がひどい。
- 安全・安心なまち。(防犯、道路整備、水道管整備)
- 道路整備※駅周り以外の通学路。
- デザイン性。富士見市だからというのはわかるがふわっぴーしか選択がないのか。時計のデザインなど、そこで少し景観のレベルが低くなっている気がする・・・。
- 有機農業、香害問題に対する取組み。

(3) 環境に配慮した行動について

問 6. 環境の問題を改善していくためには、生活の便利さや快適さなどを見つめなおすことも必要となりますが、あなたが日頃行っている、または関心がある環境保全に関する取組みについてお伺いします。次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

◆食品について

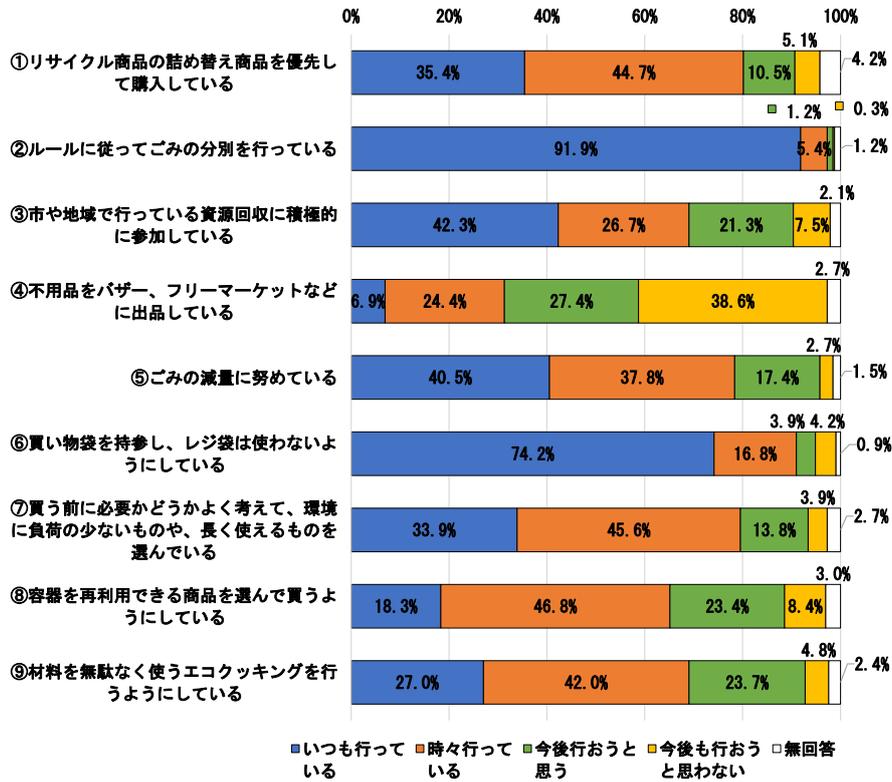
環境問題の改善のために日頃から行っている、または関心がある食品についての環境保全の取組項目では、「いつも行っている」と「時々行っている」を合わせた『行っている』では「②旬のものを買うようにしている」が90.1%と最も多く、次いで「④食品を買うときは原材料名を確認している」が81.3%となっている。



項目 (件数)	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①無農薬・減農薬のものを買うようにしている	50	175	62	35	11	333
②旬のものを買うようにしている	130	170	18	8	7	333
③食べ物は地元産の食材を選ぶようにしている	62	200	41	24	6	333
④食品を買うときは原材料名を確認している	119	152	35	19	8	333
項目 (構成比)	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①無農薬・減農薬のものを買うようにしている	15.0%	52.6%	18.6%	10.5%	3.3%	100.0%
②旬のものを買うようにしている	39.0%	51.1%	5.4%	2.4%	2.1%	100.0%
③食べ物は地元産の食材を選ぶようにしている	18.6%	60.1%	12.3%	7.2%	1.8%	100.0%
④食品を買うときは原材料名を確認している	35.7%	45.6%	10.5%	5.7%	2.4%	100.0%

◆家庭からのごみについて

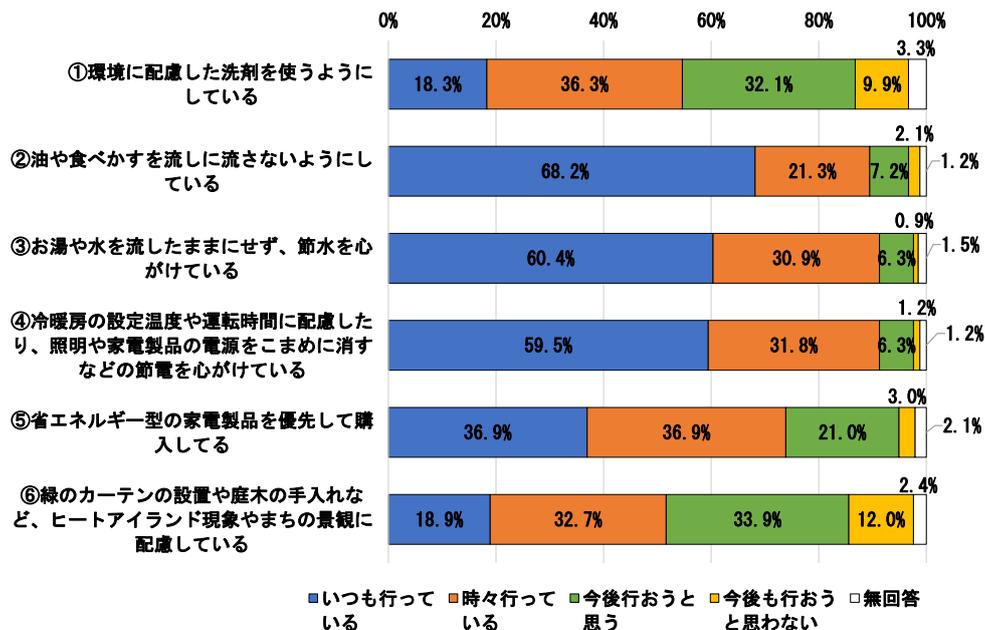
環境問題の改善のために日頃から行っている、または関心がある家庭からのごみについての環境保全の取組項目では、「いつも行っている」と「時々行っている」を合わせた『行っている』では「②ルールに従ってごみの分別を行っている」が 97.3%と最も多く、次いで「⑥買い物袋を持参し、レジ袋は使わないようにしている」が 91.0%となっている。



項目（件数）	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①リサイクル商品の詰め替え商品を優先して購入している	118	149	35	17	14	333
②ルールに従ってごみの分別を行っている	306	18	4	1	4	333
③市や地域で行っている資源回収に積極的に参加している	141	89	71	25	7	333
④不用品をバザー、フリーマーケットなどに出品している	23	81	91	128	9	332
⑤ごみの減量に努めている	135	126	58	9	5	333
⑥買い物袋を持参し、レジ袋は使わないようにしている	247	56	13	14	3	333
⑦買う前に必要かどうかよく考えて、環境に負担の少ないものや、長く使えるものを選んでている	113	152	46	13	9	333
⑧容器を再利用できる商品を選んで買うようにしている	61	156	78	28	10	333
⑨材料を無駄なく使うエコクッキングを行うようにしている	90	140	79	16	8	333
項目（構成比）	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①リサイクル商品の詰め替え商品を優先して購入している	35.4%	44.7%	10.5%	5.1%	4.2%	100.0%
②ルールに従ってごみの分別を行っている	91.9%	5.4%	1.2%	0.3%	1.2%	100.0%
③市や地域で行っている資源回収に積極的に参加している	42.3%	26.7%	21.3%	7.5%	2.1%	100.0%
④不用品をバザー、フリーマーケットなどに出品している	6.9%	24.4%	27.4%	38.6%	2.7%	100.0%
⑤ごみの減量に努めている	40.5%	37.8%	17.4%	2.7%	1.5%	100.0%
⑥買い物袋を持参し、レジ袋は使わないようにしている	74.2%	16.8%	3.9%	4.2%	0.9%	100.0%
⑦買う前に必要かどうかよく考えて、環境に負担の少ないものや、長く使えるものを選んでている	33.9%	45.6%	13.8%	3.9%	2.7%	100.0%
⑧容器を再利用できる商品を選んで買うようにしている	18.3%	46.8%	23.4%	8.4%	3.0%	100.0%
⑨材料を無駄なく使うエコクッキングを行うようにしている	27.0%	42.0%	23.7%	4.8%	2.4%	100.0%

◆環境にやさしいまちづくりについて

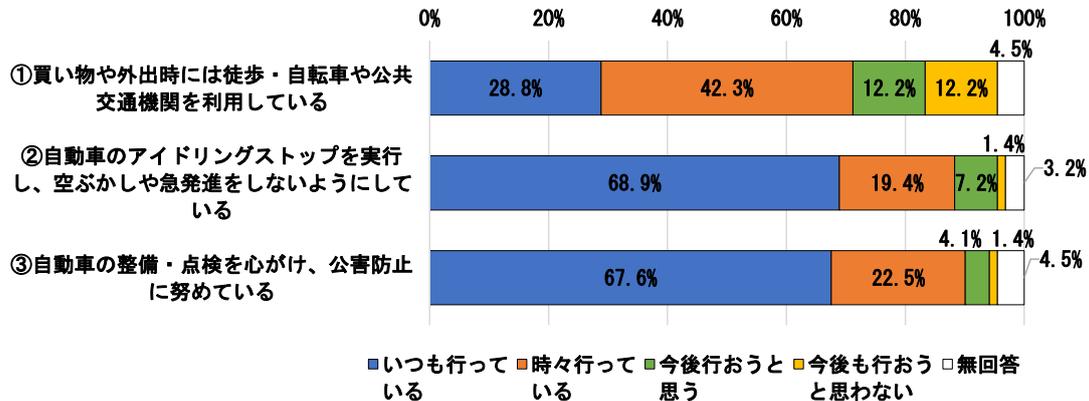
環境問題の改善のために日頃から行っている、または関心がある環境にやさしいまちづくりについての環境保全の取組項目では、「いつも行っている」と「時々行っている」を合わせた『行っている』では「③お湯や水を流したままにせず、節水を心がけている」と「④冷暖房の設定温度や運転時間に配慮したり、照明や家電製品の電源をこまめに消すなどの節電を心がけている」が91.3%と最も多く、次いで「②油や食べかすを流しに流さないようにしている」が89.5%となっている。



項目 (件数)	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①環境に配慮した洗剤を使うようにしている	61	121	107	33	11	333
②油や食べかすを流しに流さないようにしている	227	71	24	7	4	333
③お湯や水を流したままにせず、節水を心がけている	201	103	21	3	5	333
④冷暖房の設定温度や運転時間に配慮したり、照明や家電製品の電源をこまめに消すなどの節電を心がけている	198	106	21	4	4	333
⑤省エネルギー型の家電製品を優先して購入している	123	123	70	10	7	333
⑥緑のカーテンの設置や庭木の手入れなど、ヒートアイランド現象やまちの景観に配慮している	63	109	113	40	8	333
項目 (構成比)	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①環境に配慮した洗剤を使うようにしている	18.3%	36.3%	32.1%	9.9%	3.3%	100.0%
②油や食べかすを流しに流さないようにしている	68.2%	21.3%	7.2%	2.1%	1.2%	100.0%
③お湯や水を流したままにせず、節水を心がけている	60.4%	30.9%	6.3%	0.9%	1.5%	100.0%
④冷暖房の設定温度や運転時間に配慮したり、照明や家電製品の電源をこまめに消すなどの節電を心がけている	59.5%	31.8%	6.3%	1.2%	1.2%	100.0%
⑤省エネルギー型の家電製品を優先して購入している	36.9%	36.9%	21.0%	3.0%	2.1%	100.0%
⑥緑のカーテンの設置や庭木の手入れなど、ヒートアイランド現象やまちの景観に配慮している	18.9%	32.7%	33.9%	12.0%	2.4%	100.0%

◆車の利用について（車を所有している場合のみご回答ください）

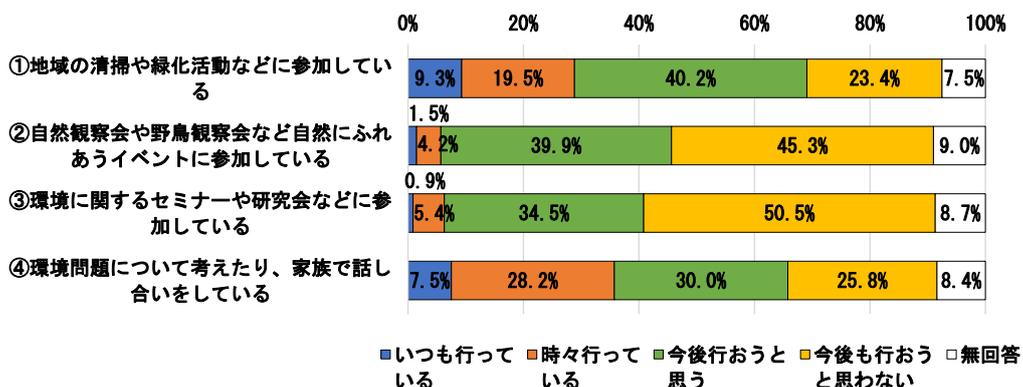
環境問題の改善のために日頃から行っている、または関心がある車の利用についての環境保全の取組項目では、「いつも行っている」と「時々行っている」を合わせた『行っている』では「③自動車の整備・点検を心がけ、公害防止に努めている」が90.1%と最も多く、次いで「②自動車のアイドリングストップを実行し、空ぶかしや急発進をしないようにしている」が88.3%となっている。



項目（件数）	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①買い物や外出時には徒歩・自転車や公共交通機関を利用している	64	94	27	27	10	222
②自動車のアイドリングストップを実行し、空ぶかしや急発進をしないようにしている	153	43	16	3	7	222
③自動車の整備・点検を心がけ、公害防止に努めている	150	50	9	3	10	222
項目（構成比）	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①買い物や外出時には徒歩・自転車や公共交通機関を利用している	28.8%	42.3%	12.2%	12.2%	4.5%	100.0%
②自動車のアイドリングストップを実行し、空ぶかしや急発進をしないようにしている	68.9%	19.4%	7.2%	1.4%	3.2%	100.0%
③自動車の整備・点検を心がけ、公害防止に努めている	67.6%	22.5%	4.1%	1.4%	4.5%	100.0%

◆環境に関する活動について

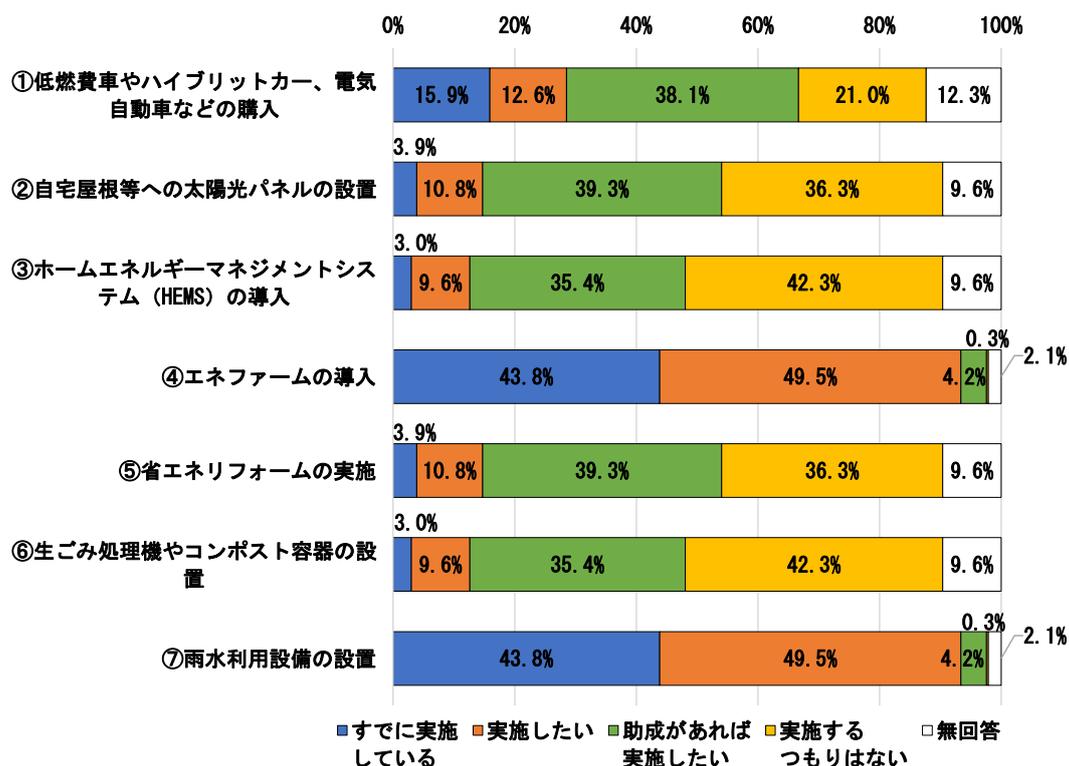
環境問題の改善のために日頃から行っている、または関心がある環境に関する活動についての環境保全の取組項目では、「いつも行っている」と「時々行っている」を合わせた『行っている』では「②環境問題について考えたり、家族で話し合いをしている」が35.7%と最も多く、次いで「①地域の清掃や緑化活動などに参加している」が28.8%となっている。



項目（件数）	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①地域の清掃や緑化活動などに参加している	31	65	134	78	25	333
②自然観察会や野鳥観察会など自然にふれあうイベントに参加している	5	14	133	151	30	333
③環境に関するセミナーや研究会などに参加している	3	18	115	168	29	333
④環境問題について考えたり、家族で話し合いをしている	25	94	100	86	28	333
項目（構成比）	いつも行っている	時々行っている	今後行おうと思う	今後も行おうと思わない	無回答	合計
①地域の清掃や緑化活動などに参加している	9.3%	19.5%	40.2%	23.4%	7.5%	100.0%
②自然観察会や野鳥観察会など自然にふれあうイベントに参加している	1.5%	4.2%	39.9%	45.3%	9.0%	100.0%
③環境に関するセミナーや研究会などに参加している	0.9%	5.4%	34.5%	50.5%	8.7%	100.0%
④環境問題について考えたり、家族で話し合いをしている	7.5%	28.2%	30.0%	25.8%	8.4%	100.0%

問7. 環境に配慮した生活についてお伺いします。
次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

環境に配慮した生活では、「すでに実施している」と回答した割合は「④エネファームの導入」と「⑦雨水利用設備の設置」が43.8%と最も多く、次いで「①低燃費車やハイブリットカー、電気自動車などの購入」が15.9%となっている。

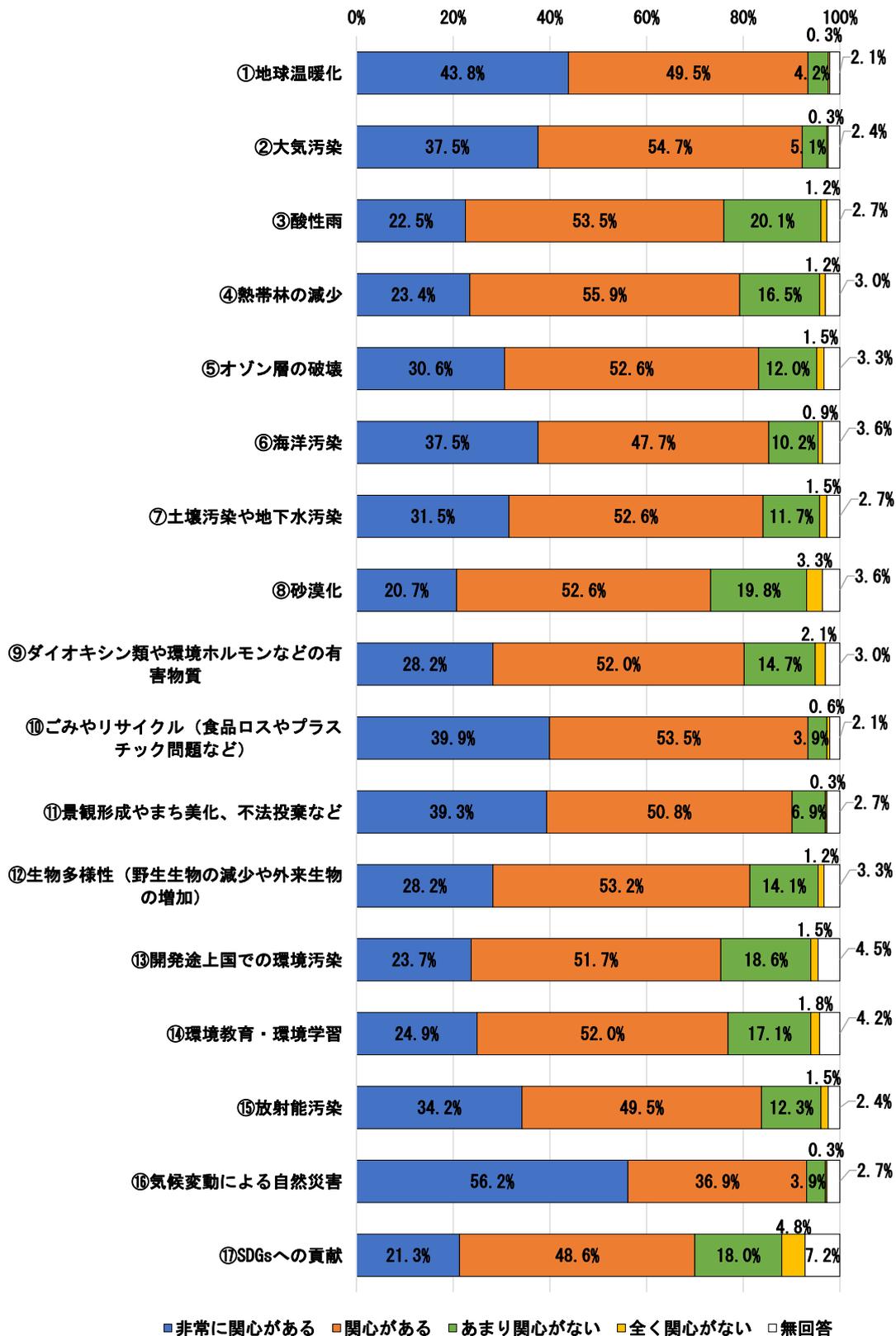


項目（件数）	すでに実施している	実施したい	助成があれば実施したい	実施するつもりはない	無回答	合計
①低燃費車やハイブリットカー、電気自動車などの購入	53	42	127	70	41	333
②自宅屋根等への太陽光パネルの設置	16	19	107	158	33	333
③ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）の導入	4	21	126	145	37	333
④エネファームの導入	13	25	129	128	38	333
⑤省エネルギーの実施	13	36	131	121	32	333
⑥生ごみ処理機やコンポスト容器の設置	10	32	118	141	32	333
⑦雨水利用設備の設置	146	165	14	1	7	333
項目（構成比）	すでに実施している	実施したい	助成があれば実施したい	実施するつもりはない	無回答	合計
①低燃費車やハイブリットカー、電気自動車などの購入	15.9%	12.6%	38.1%	21.0%	12.3%	100.0%
②自宅屋根等への太陽光パネルの設置	3.9%	10.8%	39.3%	36.3%	9.6%	100.0%
③ホームエネルギーマネジメントシステム（HEMS）の導入	3.0%	9.6%	35.4%	42.3%	9.6%	100.0%
④エネファームの導入	43.8%	49.5%	4.2%	0.3%	2.1%	100.0%
⑤省エネルギーの実施	3.9%	10.8%	39.3%	36.3%	9.6%	100.0%
⑥生ごみ処理機やコンポスト容器の設置	3.0%	9.6%	35.4%	42.3%	9.6%	100.0%
⑦雨水利用設備の設置	43.8%	49.5%	4.2%	0.3%	2.1%	100.0%

（4）環境に対する関心について

問 8. 地球環境問題をはじめとする様々な環境に対するあなたの関心の度合いを教えてください。次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

環境問題をはじめとする様々な環境に対する関心度合いについて、①～⑰の項目のうち「非常に関心がある」と「関心がある」を合わせた『関心がある』では「⑩ごみやリサイクル（食品ロスやプラスチック問題など）」が 94.3%、「①地球温暖化」が 93.3%と多く、次いで「⑩気候変動による自然災害」が 93.1%となっている。一方、「全く関心がない」と「あまり関心がない」を合わせた『関心がない』では「⑧砂漠化」が 23.1%と最も多く、次いで「⑰SDGs への貢献」が 22.8%となっている。



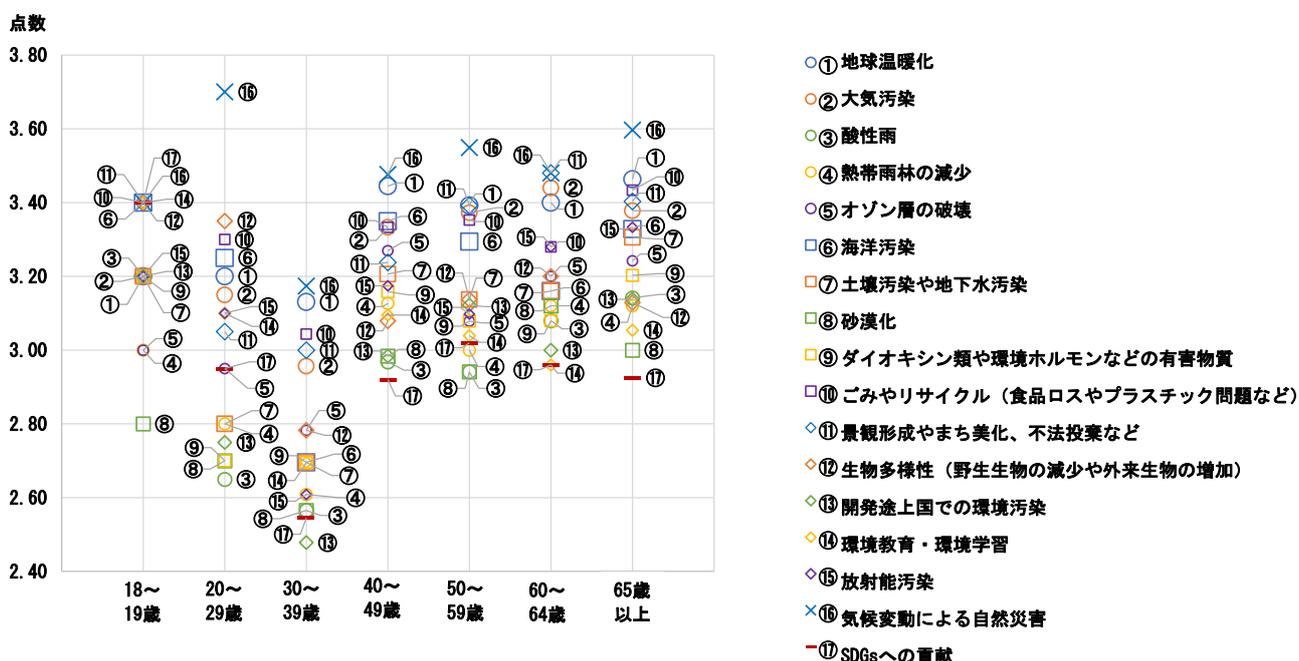
項目（件数）	非常に 関心 がある	関心 がある	あまり 関心 がない	全く 関心 がない	無 回 答	合 計
①地球温暖化	146	165	14	1	7	333
②大気汚染	125	182	17	1	8	333
③酸性雨	75	178	67	4	9	333
④熱帯林の減少	78	186	55	4	10	333
⑤オゾン層の破壊	102	175	40	5	11	333
⑥海洋汚染	125	159	34	3	12	333
⑦土壌汚染や地下水汚染	105	175	39	5	9	333
⑧砂漠化	69	175	66	11	12	333
⑨ダイオキシン類や環境ホルモ ンなどの有害物質	94	173	49	7	10	333
⑩ごみやリサイクル（食品ロス やプラスチック問題など）	133	178	13	2	7	333
⑪景観形成やまち美化、不法投 棄など	131	169	23	1	9	333
⑫生物多様性（野生生物の減少 や外来生物の増加）	94	177	47	4	11	333
⑬開発途上国での環境汚染	79	172	62	5	15	333
⑭環境教育・環境学習	83	173	57	6	14	333
⑮放射能汚染	114	165	41	5	8	333
⑯気候変動による自然災害	187	123	13	1	9	333
⑰SDGsへの貢献	71	162	60	16	24	333
項目（構成比）	非常に 関心 がある	関心 がある	あまり 関心 がない	全く 関心 がない	無 回 答	合 計
①地球温暖化	43.8%	49.5%	4.2%	0.3%	2.1%	100.0%
②大気汚染	37.5%	54.7%	5.1%	0.3%	2.4%	100.0%
③酸性雨	22.5%	53.5%	20.1%	1.2%	2.7%	100.0%
④熱帯林の減少	23.4%	55.9%	16.5%	1.2%	3.0%	100.0%
⑤オゾン層の破壊	30.6%	52.6%	12.0%	1.5%	3.3%	100.0%
⑥海洋汚染	37.5%	47.7%	10.2%	0.9%	3.6%	100.0%
⑦土壌汚染や地下水汚染	31.5%	52.6%	11.7%	1.5%	2.7%	100.0%
⑧砂漠化	20.7%	52.6%	19.8%	3.3%	3.6%	100.0%
⑨ダイオキシン類や環境ホルモ ンなどの有害物質	28.2%	52.0%	14.7%	2.1%	3.0%	100.0%
⑩ごみやリサイクル（食品ロス やプラスチック問題など）	39.9%	53.5%	3.9%	0.6%	2.1%	100.0%
⑪景観形成やまち美化、不法投 棄など	39.3%	50.8%	6.9%	0.3%	2.7%	100.0%
⑫生物多様性（野生生物の減少 や外来生物の増加）	28.2%	53.2%	14.1%	1.2%	3.3%	100.0%
⑬開発途上国での環境汚染	23.7%	51.7%	18.6%	1.5%	4.5%	100.0%
⑭環境教育・環境学習	24.9%	52.0%	17.1%	1.8%	4.2%	100.0%
⑮放射能汚染	34.2%	49.5%	12.3%	1.5%	2.4%	100.0%
⑯気候変動による自然災害	56.2%	36.9%	3.9%	0.3%	2.7%	100.0%
⑰SDGsへの貢献	21.3%	48.6%	18.0%	4.8%	7.2%	100.0%

《年齢別の関心度合》

年齢別の関心度合について、右に示す回答ごとに配分された点数（ウェイト）を各回答の割合に掛けて合算した加重平均で比較したところ、全体的に30～39歳で関心度合が低いことが見受けられた。

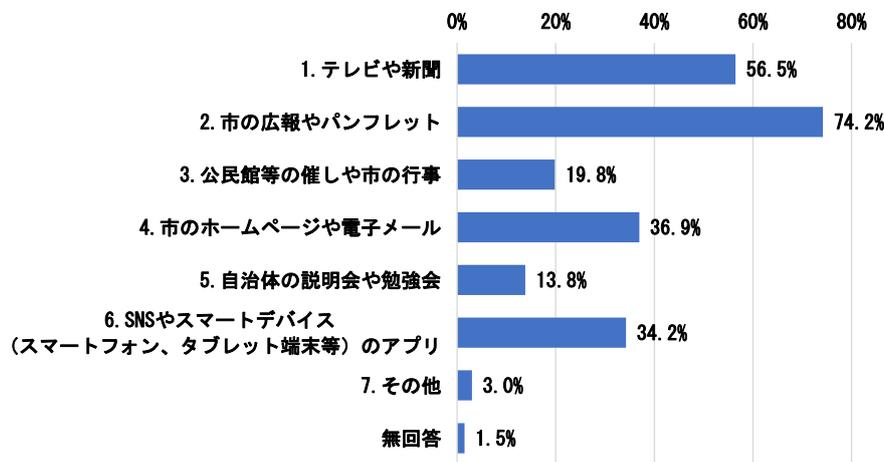
前掲に示した、『関心がある』の割合が高かった「⑩気候変動による自然災害」については、すべての年代で最も関心がある項目となっていた。一方、『関心がない』の割合が高かった「⑧砂漠化」及び「⑰SDGsへの関心」についてみると、「⑧砂漠化」についてはほとんどの年代で関心度合の低い1～3番目の項目となっていたが、60～69歳では6番目となっている。「⑰SDGsへの関心」については、30歳以上では関心度合の低い項目となっていたが、18歳～19歳及び20～29歳では低い位置とはなっておらず、差が出る結果となった。

加重平均
非常に関心がある：4点
関心がある：3点
あまり関心がない：2点
全く関心がない：1点



問9. 環境に関する情報を行政からお知らせする方法として、どのようなものがよいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

環境に関する情報を行政からお知らせするのによいと思う方法では、「2. 市の広報やパンフレット」が74.2%と最も多く、次いで「1. テレビや新聞」が56.5%、「4. 市のホームページや電子メール」が36.9%となっている。



項目	件数	構成比
1. テレビや新聞	188	56.5%
2. 市の広報やパンフレット	247	74.2%
3. 公民館等の催しや市の行事	66	19.8%
4. 市のホームページや電子メール	123	36.9%
5. 自治体の説明会や勉強会	46	13.8%
6. SNSやスマートデバイス (スマートフォン、タブレット端末等) のアプリ	114	34.2%
7. その他	10	3.0%
無回答	5	1.5%
回答者数	333	—
回答数合計	799	—

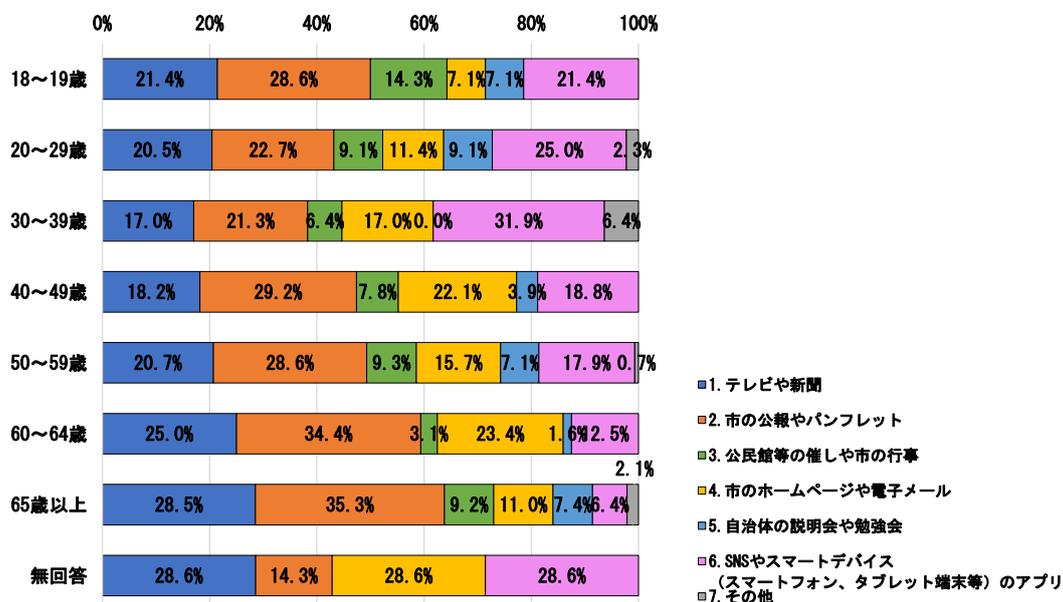
※「6. SNS やスマートデバイス (スマートフォン、タブレット端末等) のアプリ」に関して「子供達には良いと思う。」との記述があった。

【その他の記述】

- YouTube 等の動画配信サイト。
- 公共の掲示板。
- 保育所、認定こども園、幼稚園、小中学校、高校、TJUP 加盟校、協定を結んでいる大学など。
- 真実を伝えて下さい。
- 本を購入し勉強している。
- テレビの情報等。
- ・行政のお知らせを見る方法や、ツールの認知が低いので、その方法を認知させる方法から考えるべきだと思う。
- ・富士見市の YouTube アカウントをつくって、そこに up するとか、「災害マップ歩いてみた」とか「富士見市ほたる見に行ってみた」とか up すれば年齢とわず分かりやすいのでは？
- 楽しみながら学べるワークショップなどの開催。

《年齢別の結果》

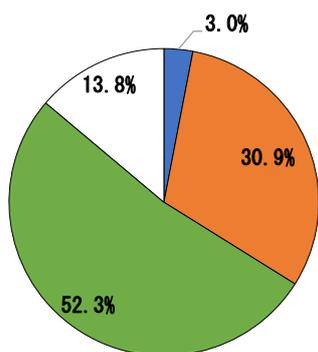
年齢別にみると、39歳以下の年代では、「6. SNS やスマートデバイス（スマートフォン、タブレット端末等）のアプリ」の割合が高くなっており、「1. テレビや新聞」及び「2. 市の広報やパンフレット」は40歳以上年代が上がるにつれて割合が高くなっている。



(5) 環境施策について

問 10. 富士見市では平成 15 年から「環境基本計画」を策定していますが、あなたは、ご存知ですか。次の中からあてはまるものを 1 つ選び、その番号に○をつけてください。

環境基本計画の認知度について、「3. 知らない」が 52.3%と最も多くなっている。

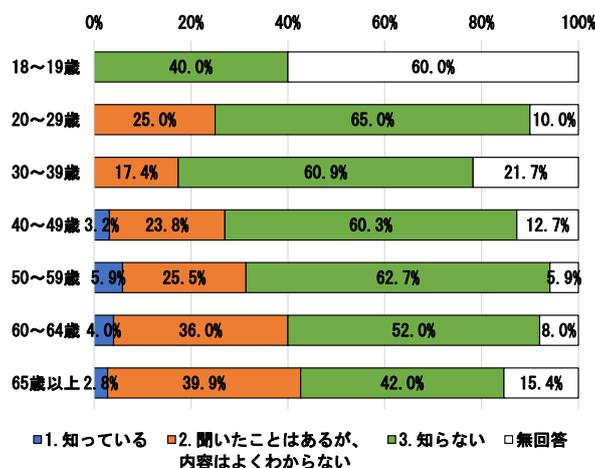


- 1. 知っている
- 2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない
- 3. 知らない
- 無回答

項目	件数	構成比
1. 知っている	10	3.0%
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない	103	30.9%
3. 知らない	174	52.3%
無回答	46	13.8%
合計	333	100.0%

《年齢別の結果》

年齢別にみると、39歳までの回答者で「知っている」と回答した方がいなかった。40歳以上も、64歳までの回答者では「知らない」と回答した割合が5割以上を占めている。

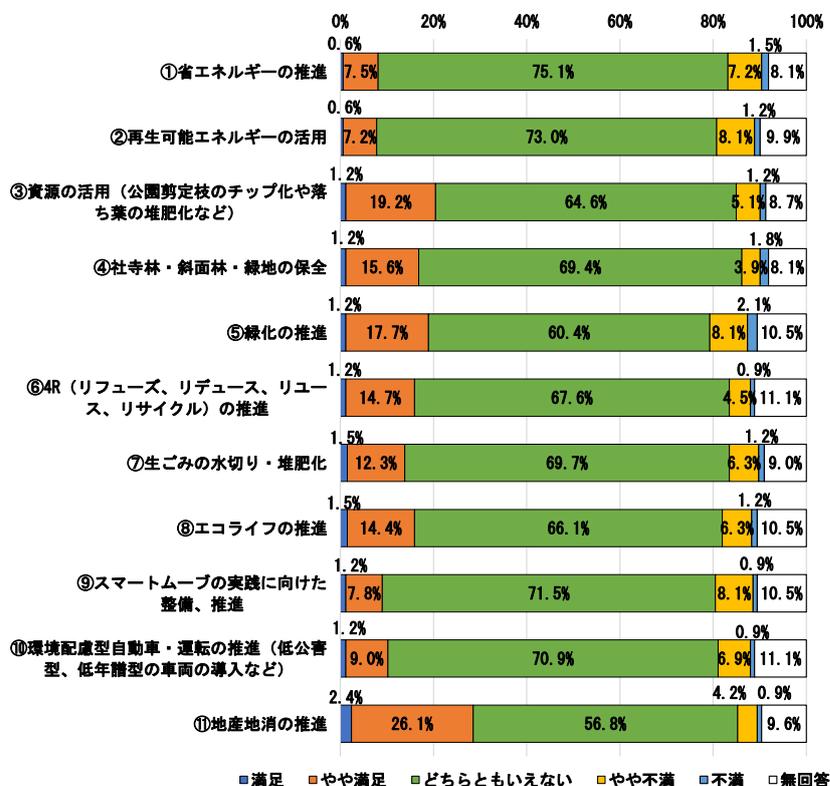


問 11. 環境基本計画では、市民・事業者・行政が一体となって、人と自然の調和した社会を築くことを目指しています。そこで、市が実施している次の取組みについて、満足度からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。また、その取組みについて、今後の重要度からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

◆地球温暖化対策について

【満足度】

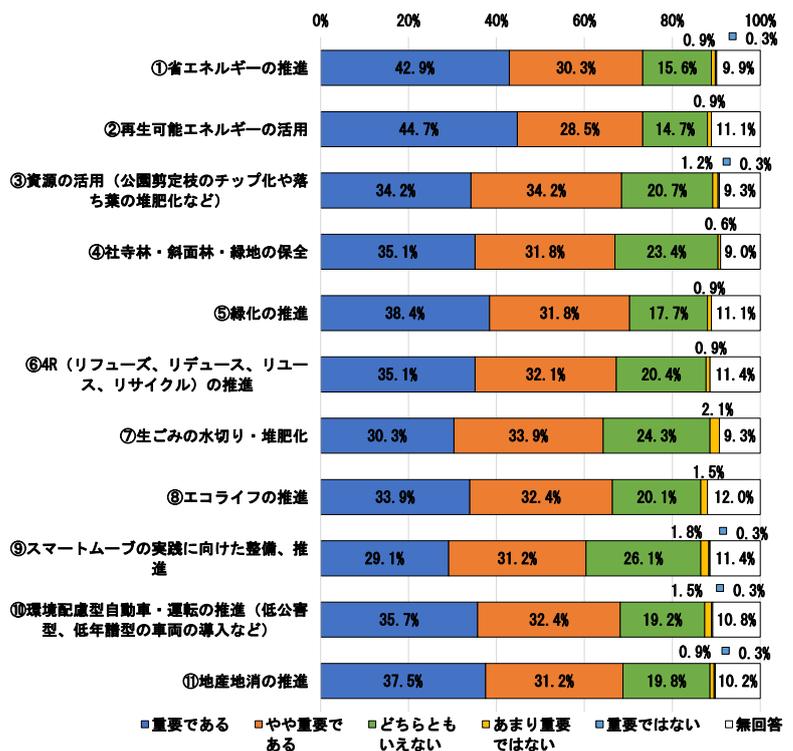
地球温暖化対策に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では「⑪地産地消の推進」が28.5%と最も多く、次いで「③資源の活用(公園剪定枝のチップ化や落ち葉の堆肥化など)」が20.4%となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では「⑤緑化の推進」が10.2%と最も多く、次いで「②再生可能エネルギーの活用」が9.3%となっている。



項目 (件数)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
①省エネルギーの推進	2	25	250	24	5	27	333
②再生可能エネルギーの活用	2	24	243	27	4	33	333
③資源の活用 (公園剪定枝のチップ化や落ち葉の堆肥化など)	4	64	215	17	4	29	333
④社寺林・斜面林・緑地の保全	4	52	231	13	6	27	333
⑤緑化の推進	4	59	201	27	7	35	333
⑥4R (リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル) の推進	4	49	225	15	3	37	333
⑦生ごみの水切り・堆肥化	5	41	232	21	4	30	333
⑧エコライフの推進	5	48	220	21	4	35	333
⑨スマートムーブの実践に向けた整備、推進	4	26	238	27	3	35	333
⑩環境配慮型自動車・運転の推進 (低公害型、低年譜型の車両の導入など)	4	30	236	23	3	37	333
⑪地産地消の推進	8	87	189	14	3	32	333
項目 (構成比)	満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
①省エネルギーの推進	0.6%	7.5%	75.1%	7.2%	1.5%	8.1%	100.0%
②再生可能エネルギーの活用	0.6%	7.2%	73.0%	8.1%	1.2%	9.9%	100.0%
③資源の活用 (公園剪定枝のチップ化や落ち葉の堆肥化など)	1.2%	19.2%	64.6%	5.1%	1.2%	8.7%	100.0%
④社寺林・斜面林・緑地の保全	1.2%	15.6%	69.4%	3.9%	1.8%	8.1%	100.0%
⑤緑化の推進	1.2%	17.7%	60.4%	8.1%	2.1%	10.5%	100.0%
⑥4R (リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル) の推進	1.2%	14.7%	67.6%	4.5%	0.9%	11.1%	100.0%
⑦生ごみの水切り・堆肥化	1.5%	12.3%	69.7%	6.3%	1.2%	9.0%	100.0%
⑧エコライフの推進	1.5%	14.4%	66.1%	6.3%	1.2%	10.5%	100.0%
⑨スマートムーブの実践に向けた整備、推進	1.2%	7.8%	71.5%	8.1%	0.9%	10.5%	100.0%
⑩環境配慮型自動車・運転の推進 (低公害型、低年譜型の車両の導入など)	1.2%	9.0%	70.9%	6.9%	0.9%	11.1%	100.0%
⑪地産地消の推進	2.4%	26.1%	56.8%	4.2%	0.9%	9.6%	100.0%

【重要度】

地球温暖化対策に対する重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』では、「①省エネルギーの推進」と「②再生可能エネルギーの活用」が73.2%と最も高く、次いで「⑤緑化の推進」が70.2%となっている。一方、「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた『重要ではない』では「⑦生ごみの水切り・堆肥化」と「⑨スマートムーブの実践に向けた整備、推進」が2.1%と最も多く、次いで「⑩環境配慮型自動車・運転の推進 (低公害型、低年譜型の車両の導入など)」が1.8%となっている。

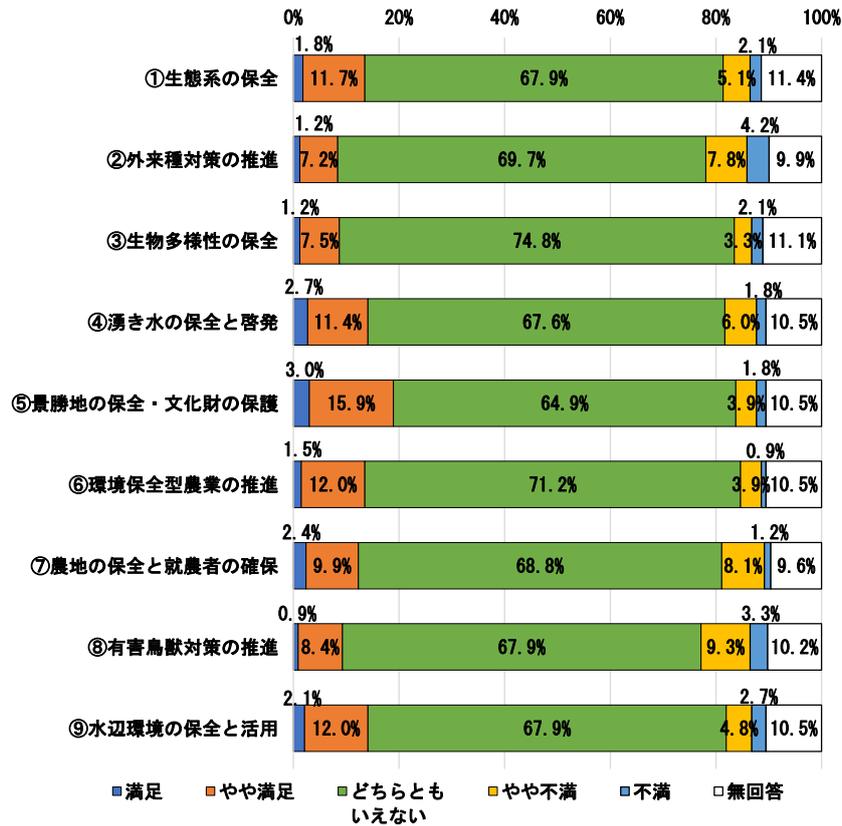


項目（件数）	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①省エネルギーの推進	143	101	52	3	1	33	333
②再生可能エネルギーの活用	149	95	49	3	0	37	333
③資源の活用（公園剪定枝のチップ化や落ち葉の堆肥化など）	114	114	69	4	1	31	333
④社寺林・斜面林・緑地の保全	117	106	78	2	0	30	333
⑤緑化の推進	128	106	59	3	0	37	333
⑥4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の推進	117	107	68	3	0	38	333
⑦生ごみの水切り・堆肥化	101	113	81	7	0	31	333
⑧エコライフの推進	113	108	67	5	0	40	333
⑨スマートムーブの実践に向けた整備、推進	97	104	87	6	1	38	333
⑩環境配慮型自動車・運転の推進（低公害型、低年譜型の車両の導入など）	119	108	64	5	1	36	333
⑪地産地消の推進	125	104	66	3	1	34	333
項目（構成比）	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①省エネルギーの推進	42.9%	30.3%	15.6%	0.9%	0.3%	9.9%	100.0%
②再生可能エネルギーの活用	44.7%	28.5%	14.7%	0.9%	0.0%	11.1%	100.0%
③資源の活用（公園剪定枝のチップ化や落ち葉の堆肥化など）	34.2%	34.2%	20.7%	1.2%	0.3%	9.3%	100.0%
④社寺林・斜面林・緑地の保全	35.1%	31.8%	23.4%	0.6%	0.0%	9.0%	100.0%
⑤緑化の推進	38.4%	31.8%	17.7%	0.9%	0.0%	11.1%	100.0%
⑥4R（リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル）の推進	35.1%	32.1%	20.4%	0.9%	0.0%	11.4%	100.0%
⑦生ごみの水切り・堆肥化	30.3%	33.9%	24.3%	2.1%	0.0%	9.3%	100.0%
⑧エコライフの推進	33.9%	32.4%	20.1%	1.5%	0.0%	12.0%	100.0%
⑨スマートムーブの実践に向けた整備、推進	29.1%	31.2%	26.1%	1.8%	0.3%	11.4%	100.0%
⑩環境配慮型自動車・運転の推進（低公害型、低年譜型の車両の導入など）	35.7%	32.4%	19.2%	1.5%	0.3%	10.8%	100.0%
⑪地産地消の推進	37.5%	31.2%	19.8%	0.9%	0.3%	10.2%	100.0%

◆自然環境について

【満足度】

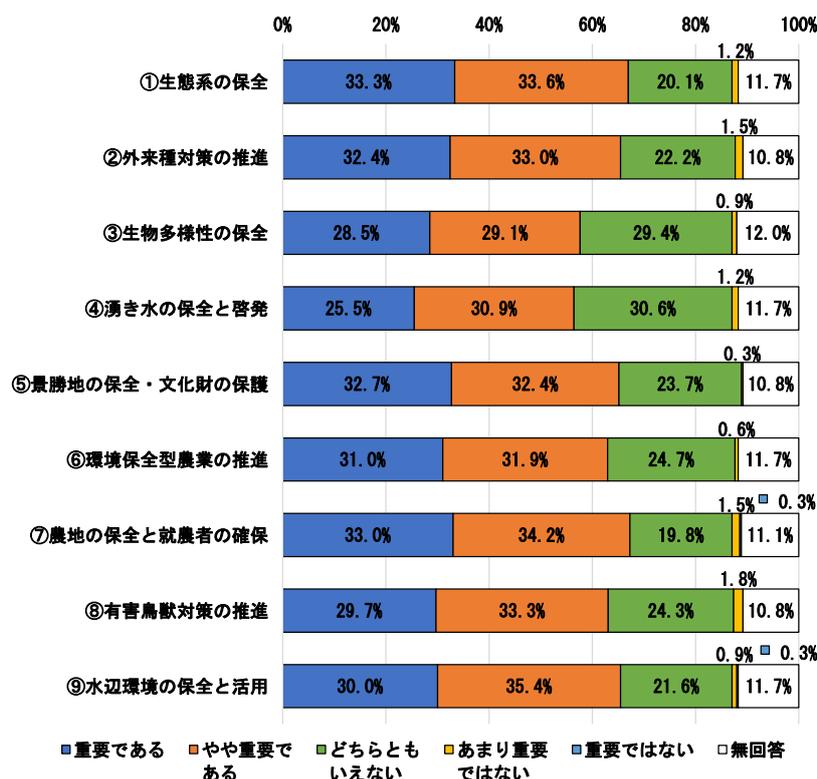
自然環境に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では「⑤景勝地の保全・文化財の保護」が18.9%と最も多く、次いで「④湧き水の保全と啓発」と「⑨水辺環境の保全と活用」が14.1%となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では「⑧有害鳥獣対策の推進」が12.6%と最も多く、次いで「②外来種対策の推進」が12.0%となっている。



項目 (件数)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①生態系の保全	6	39	226	17	7	38	333
②外来種対策の推進	4	24	232	26	14	33	333
③生物多様性の保全	4	25	249	11	7	37	333
④湧き水の保全と啓発	9	38	225	20	6	35	333
⑤景勝地の保全・文化財の保護	10	53	216	13	6	35	333
⑥環境保全型農業の推進	5	40	237	13	3	35	333
⑦農地の保全と就農者の確保	8	33	229	27	4	32	333
⑧有害鳥獣対策の推進	3	28	226	31	11	34	333
⑨水辺環境の保全と活用	7	40	226	16	9	35	333
項目 (構成比)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①生態系の保全	1.8%	11.7%	67.9%	5.1%	2.1%	11.4%	100.0%
②外来種対策の推進	1.2%	7.2%	69.7%	7.8%	4.2%	9.9%	100.0%
③生物多様性の保全	1.2%	7.5%	74.8%	3.3%	2.1%	11.1%	100.0%
④湧き水の保全と啓発	2.7%	11.4%	67.6%	6.0%	1.8%	10.5%	100.0%
⑤景勝地の保全・文化財の保護	3.0%	15.9%	64.9%	3.9%	1.8%	10.5%	100.0%
⑥環境保全型農業の推進	1.5%	12.0%	71.2%	3.9%	0.9%	10.5%	100.0%
⑦農地の保全と就農者の確保	2.4%	9.9%	68.8%	8.1%	1.2%	9.6%	100.0%
⑧有害鳥獣対策の推進	0.9%	8.4%	67.9%	9.3%	3.3%	10.2%	100.0%
⑨水辺環境の保全と活用	2.1%	12.0%	67.9%	4.8%	2.7%	10.5%	100.0%

【重要度】

自然環境に対する重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』では、「⑦農地の保全と就農者の確保」が67.2%と最も高く、次いで「①生態系の保全」が66.9%となっている。一方、「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた『重要ではない』では「⑦農地の保全と就農者の確保」と「⑧有害鳥獣対策の推進」が1.8%と最も多く、次いで「②外来種対策の推進」が1.5%となっている。

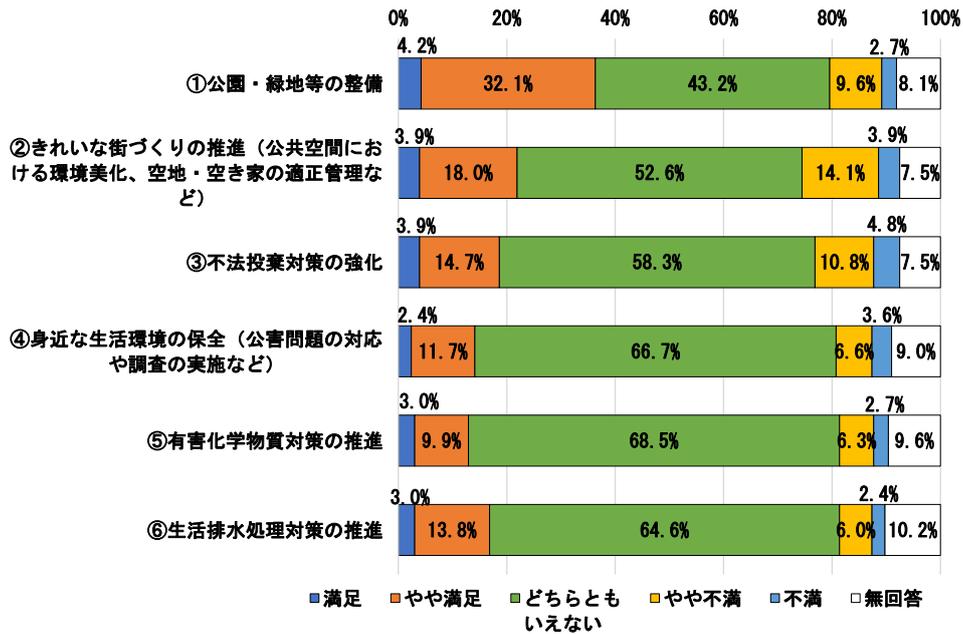


項目 (件数)	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①生態系の保全	111	112	67	4	0	39	333
②外来種対策の推進	108	110	74	5	0	36	333
③生物多様性の保全	95	97	98	3	0	40	333
④湧き水の保全と啓発	85	103	102	4	0	39	333
⑤景勝地の保全・文化財の保護	109	108	79	1	0	36	333
⑥環境保全型農業の推進	103	106	82	2	0	39	332
⑦農地の保全と就農者の確保	110	114	66	5	1	37	333
⑧有害鳥獣対策の推進	99	111	81	6	0	36	333
⑨水辺環境の保全と活用	100	118	72	3	1	39	333
項目 (構成比)	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①生態系の保全	33.3%	33.6%	20.1%	1.2%	0.0%	11.7%	100.0%
②外来種対策の推進	32.4%	33.0%	22.2%	1.5%	0.0%	10.8%	100.0%
③生物多様性の保全	28.5%	29.1%	29.4%	0.9%	0.0%	12.0%	100.0%
④湧き水の保全と啓発	25.5%	30.9%	30.6%	1.2%	0.0%	11.7%	100.0%
⑤景勝地の保全・文化財の保護	32.7%	32.4%	23.7%	0.3%	0.0%	10.8%	100.0%
⑥環境保全型農業の推進	31.0%	31.9%	24.7%	0.6%	0.0%	11.7%	100.0%
⑦農地の保全と就農者の確保	33.0%	34.2%	19.8%	1.5%	0.3%	11.1%	100.0%
⑧有害鳥獣対策の推進	29.7%	33.3%	24.3%	1.8%	0.0%	10.8%	100.0%
⑨水辺環境の保全と活用	30.0%	35.4%	21.6%	0.9%	0.3%	11.7%	100.0%

◆生活環境について

【満足度】

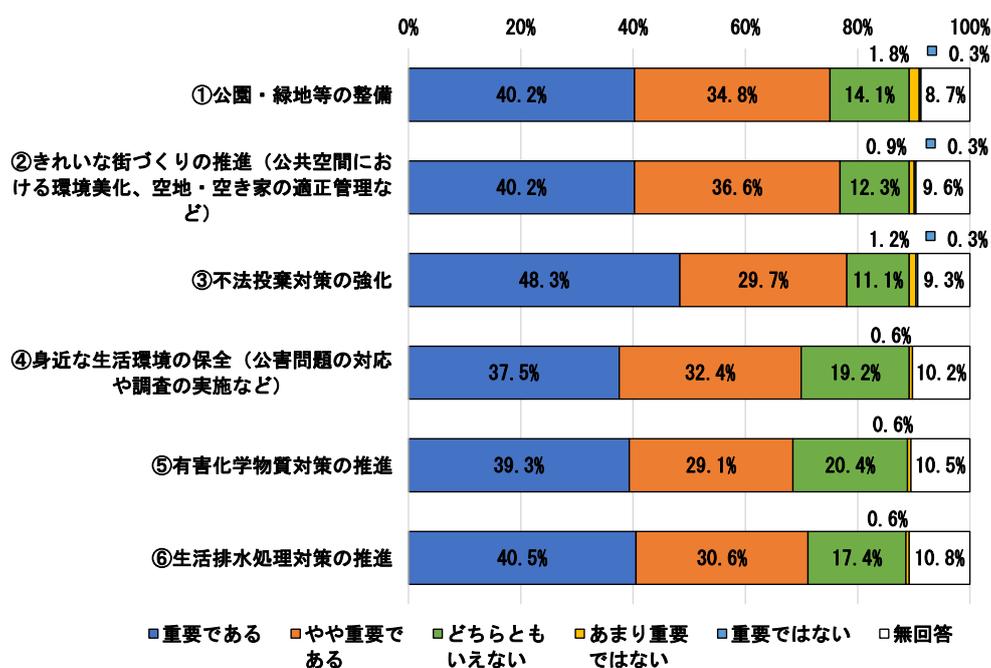
生活環境に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では「①公園・緑地等の整備」が36.3%と最も多く、次いで「②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）」が21.9%となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では「②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）」が18.0%と最も多く、次いで「③不法投棄対策の強化」が15.6%となっている。



項目（件数）	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①公園・緑地等の整備	14	107	144	32	9	27	333
②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）	13	60	175	47	13	25	333
③不法投棄対策の強化	13	49	194	36	16	25	333
④身近な生活環境の保全（公害問題の対応や調査の実施など）	8	39	222	22	12	30	333
⑤有害化学物質対策の推進	10	33	228	21	9	32	333
⑥生活排水処理対策の推進	10	46	215	20	8	34	333
項目（構成比）	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①公園・緑地等の整備	4.2%	32.1%	43.2%	9.6%	2.7%	8.1%	100.0%
②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）	3.9%	18.0%	52.6%	14.1%	3.9%	7.5%	100.0%
③不法投棄対策の強化	3.9%	14.7%	58.3%	10.8%	4.8%	7.5%	100.0%
④身近な生活環境の保全（公害問題の対応や調査の実施など）	2.4%	11.7%	66.7%	6.6%	3.6%	9.0%	100.0%
⑤有害化学物質対策の推進	3.0%	9.9%	68.5%	6.3%	2.7%	9.6%	100.0%
⑥生活排水処理対策の推進	3.0%	13.8%	64.6%	6.0%	2.4%	10.2%	100.0%

【重要度】

生活環境に対する重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』では、「③不法投棄対策の強化」が78.0%と最も高く、次いで「②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）」が76.8%となっている。一方、「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた『重要ではない』では「①公園・緑地等の整備」が2.1%と最も多く、次いで「③不法投棄対策の強化」が1.5%となっている。

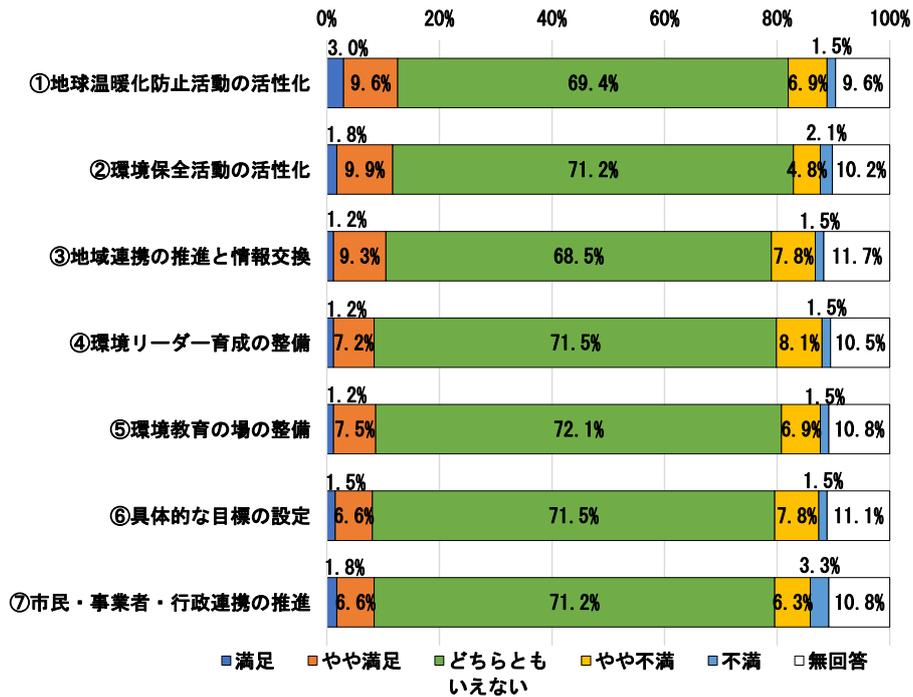


項目（件数）	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①公園・緑地等の整備	134	116	47	6	1	29	333
②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）	134	122	41	3	1	32	333
③不法投棄対策の強化	161	99	37	4	1	31	333
④身近な生活環境の保全（公害問題の対応や調査の実施など）	125	108	64	2	0	34	333
⑤有害化学物質対策の推進	131	97	68	2	0	35	333
⑥生活排水処理対策の推進	135	102	58	2	0	36	333
項目（構成比）	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①公園・緑地等の整備	40.2%	34.8%	14.1%	1.8%	0.3%	8.7%	100.0%
②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）	40.2%	36.6%	12.3%	0.9%	0.3%	9.6%	100.0%
③不法投棄対策の強化	48.3%	29.7%	11.1%	1.2%	0.3%	9.3%	100.0%
④身近な生活環境の保全（公害問題の対応や調査の実施など）	37.5%	32.4%	19.2%	0.6%	0.0%	10.2%	100.0%
⑤有害化学物質対策の推進	39.3%	29.1%	20.4%	0.6%	0.0%	10.5%	100.0%
⑥生活排水処理対策の推進	40.5%	30.6%	17.4%	0.6%	0.0%	10.8%	100.0%

◆環境教育・環境保全活動について

【満足度】

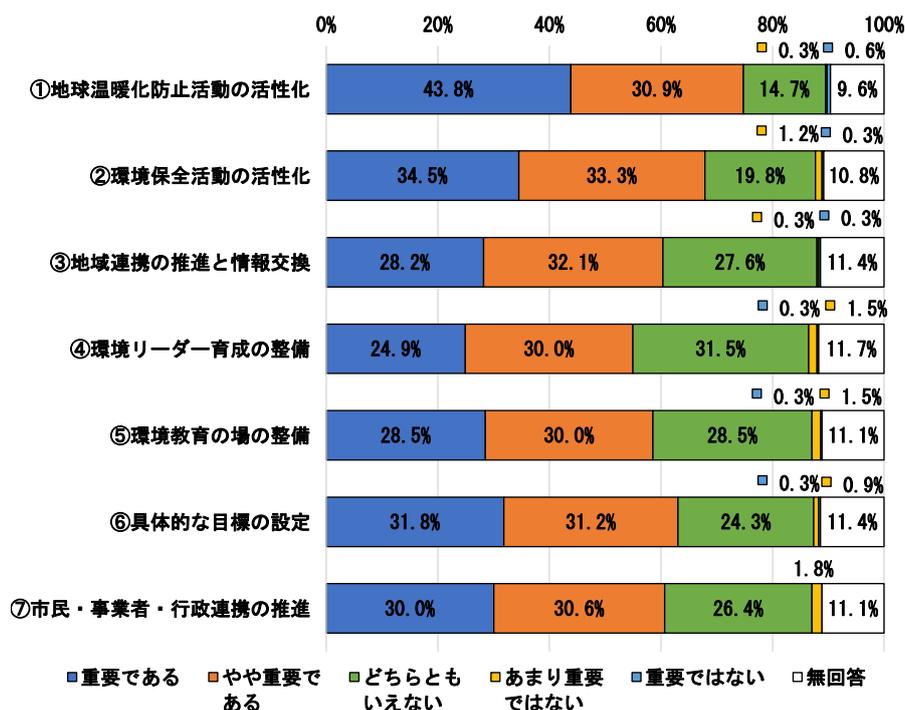
生活環境に対する満足度について、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』では「①地球温暖化防止活動の活性化」が12.6%と最も多く、次いで「②環境保全活動の活性化」が11.7%となっている。一方、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では「④環境リーダー育成の整備」と「⑦市民・事業者・行政連携の推進」が9.6%と最も多く、次いで「③地域連携の推進と情報交換」が9.3%となっている。



項目 (件数)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①地球温暖化防止活動の活性化	10	32	231	23	5	32	333
②環境保全活動の活性化	6	33	237	16	7	34	333
③地域連携の推進と情報交換	4	31	228	26	5	39	333
④環境リーダー育成の整備	4	24	238	27	5	35	333
⑤環境教育の場の整備	4	25	240	23	5	36	333
⑥具体的な目標の設定	5	22	238	26	5	37	333
⑦市民・事業者・行政連携の推進	6	22	237	21	11	36	333
項目 (構成比)	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答	合計
①地球温暖化防止活動の活性化	3.0%	9.6%	69.4%	6.9%	1.5%	9.6%	100.0%
②環境保全活動の活性化	1.8%	9.9%	71.2%	4.8%	2.1%	10.2%	100.0%
③地域連携の推進と情報交換	1.2%	9.3%	68.5%	7.8%	1.5%	11.7%	100.0%
④環境リーダー育成の整備	1.2%	7.2%	71.5%	8.1%	1.5%	10.5%	100.0%
⑤環境教育の場の整備	1.2%	7.5%	72.1%	6.9%	1.5%	10.8%	100.0%
⑥具体的な目標の設定	1.5%	6.6%	71.5%	7.8%	1.5%	11.1%	100.0%
⑦市民・事業者・行政連携の推進	1.8%	6.6%	71.2%	6.3%	3.3%	10.8%	100.0%

【重要度】

生活環境に対する重要度について、「重要である」と「やや重要である」を合わせた『重要である』では、「①地球温暖化防止活動の活性化」が74.7%と最も高く、次いで「②環境保全活動の活性化」が67.8%となっている。一方、「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた『重要ではない』では「④環境リーダー育成の整備」と「⑤環境教育の場の整備」と「⑦市民・事業者・行政連携の推進」が1.8%と最も多く、次いで「②環境保全活動の活性化」が1.5%となっている。



項目 (件数)	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①地球温暖化防止活動の活性化	146	103	49	1	2	32	333
②環境保全活動の活性化	115	111	66	4	1	36	333
③地域連携の推進と情報交換	94	107	92	1	1	38	333
④環境リーダー育成の整備	83	100	105	5	1	39	333
⑤環境教育の場の整備	95	100	95	5	1	37	333
⑥具体的な目標の設定	106	104	81	3	1	38	333
⑦市民・事業者・行政連携の推進	100	102	88	6	0	37	333
項目 (構成比)	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない	無回答	合計
①地球温暖化防止活動の活性化	43.8%	30.9%	14.7%	0.3%	0.6%	9.6%	100.0%
②環境保全活動の活性化	34.5%	33.3%	19.8%	1.2%	0.3%	10.8%	100.0%
③地域連携の推進と情報交換	28.2%	32.1%	27.6%	0.3%	0.3%	11.4%	100.0%
④環境リーダー育成の整備	24.9%	30.0%	31.5%	1.5%	0.3%	11.7%	100.0%
⑤環境教育の場の整備	28.5%	30.0%	28.5%	1.5%	0.3%	11.1%	100.0%
⑥具体的な目標の設定	31.8%	31.2%	24.3%	0.9%	0.3%	11.4%	100.0%
⑦市民・事業者・行政連携の推進	30.0%	30.6%	26.4%	1.8%	0.0%	11.1%	100.0%

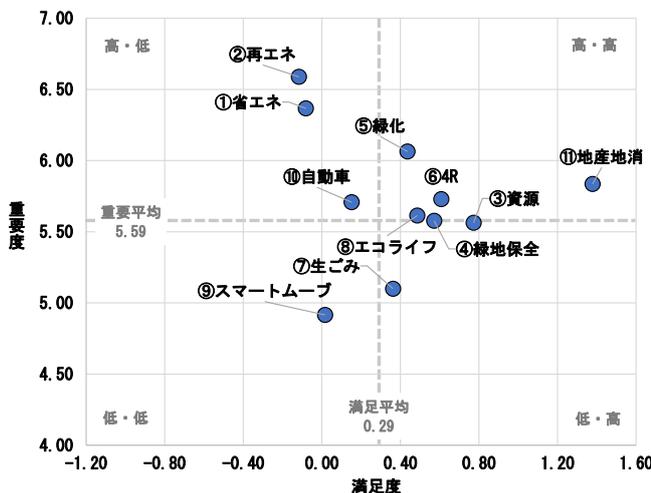
※「市が実施している取組みが分かりませんので答えられません」との記述があった。

《満足度と重要度の加重平均》

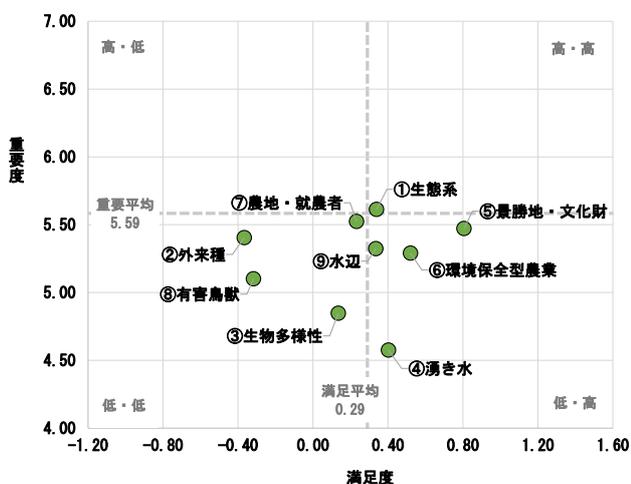
「地球温暖化対策について」、「自然環境について」、「生活環境について」及び「環境教育・環境保全活動について」の各項目の重要度と満足度について、右に示す回答ごとに配分された点数（ウェイト）を各回答の割合に掛けて合算した加重平均で比較したところ、特に市の課題と考えられる「重要度が高く満足度が低い」項目は、「省エネルギーの推進」、「再生可能エネルギーの活用」、「環境配慮型自動車・運転の推進（低公害型、低燃費型の車両の導入など）」、「きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）」、「不法投棄対策の強化」、「身近な生活環境の保全（公害問題の対応や調査の実施など）」、「有害化学物質対策の推進」及び「環境保全活動の活性化」となっている。

全体としては、重要度の平均点数に対して満足度の平均点数が低い結果となっている。

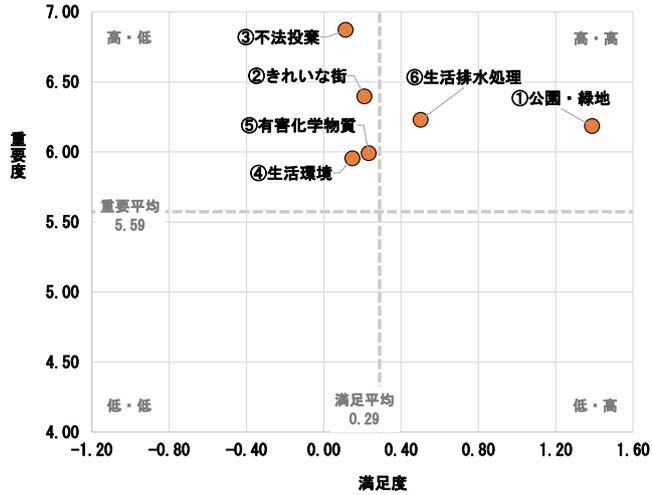
加重平均
満足・重要：10点
やや満足・やや重要：5点
どちらともいえない：0点
やや不満・あまり重要でない：-5点
不満：重要でない：-10点



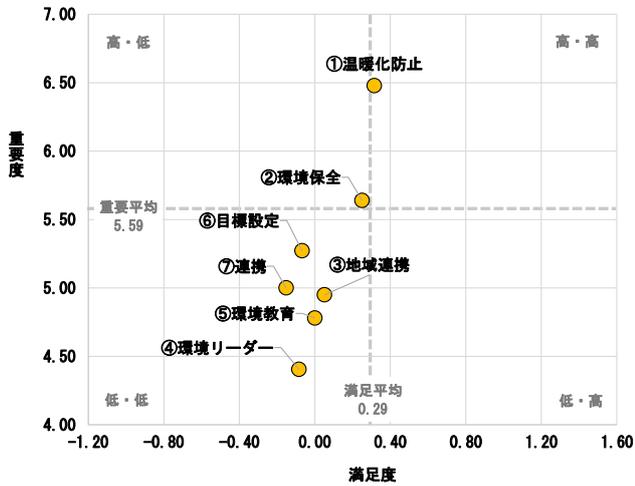
項目	グラフ符号	満足	重要	満足・重要
①省エネルギーの推進	①省エネ	-0.08	6.37	低・高
②再生可能エネルギーの活用	②再エネ	-0.12	6.59	低・高
③資源の活用（公園指定木のチップ化や落ち葉の堆肥化など）	③資源	0.77	5.56	高・低
④社寺林・斜面林・緑地の保全	④緑地保全	0.57	5.58	高・低
⑤緑化の推進	⑤緑化	0.44	6.06	高・高
⑥4R（リデュース、リデュース、リユース、リサイクル）の推進	⑥4R	0.61	5.73	高・高
⑦生ごみの水切り・堆肥化	⑦生ごみ	0.36	5.10	高・低
⑧エコライフの推進	⑧エコライフ	0.49	5.61	高・高
⑨スマートムーブの実践に向けた整備、推進	⑨スマートムーブ	0.02	4.92	低・低
⑩環境配慮型自動車・運転の推進（低公害型、低燃費型の車両の導入など）	⑩自動車	0.15	5.71	低・高
⑪地産地消の推進	⑪地産地消	1.38	5.84	高・高
問11全体の平均点		0.29	5.59	—



項目	グラフ符号	満足	重要	満足・重要
①生態系の保全	①生態系	0.34	5.61	高・高
②外来種対策の推進	②外来種	-0.37	5.40	低・低
③生物多様性の保全	③生物多様性	0.14	4.85	低・低
④湧き水の保全と啓発	④湧き水	0.40	4.57	高・低
⑤景勝地の保全・文化財の保護	⑤景勝地・文化財	0.81	5.47	高・低
⑥環境保全型農業の推進	⑥環境保全型農業	0.52	5.29	高・低
⑦農地の保全と就農者の確保	⑦農地・就農者	0.23	5.52	低・低
⑧有害鳥獣対策の推進	⑧有害鳥獣	-0.32	5.10	低・低
⑨水辺環境の保全と活用	⑨水辺	0.34	5.32	高・低
問11全体の平均点		0.29	5.59	—



項目	グラフ符号	満足	重要	満足・重要
①公園・緑地等の整備	①公園・緑地	1.39	6.18	高・高
②きれいな街づくりの推進（公共空間における環境美化、空地・空き家の適正管理など）	②きれいな街	0.21	6.40	低・高
③不法投棄対策の強化	③不法投棄	0.11	6.87	低・高
④身近な生活環境の保全（公害問題の対応や調査の実施など）	④生活環境	0.15	5.95	低・高
⑤有害化学物質対策の推進	⑤有害化学物質	0.23	5.99	低・高
⑥生活排水処理対策の推進	⑥生活排水処理	0.50	6.23	高・高
問11全体の平均点		0.29	5.59	—

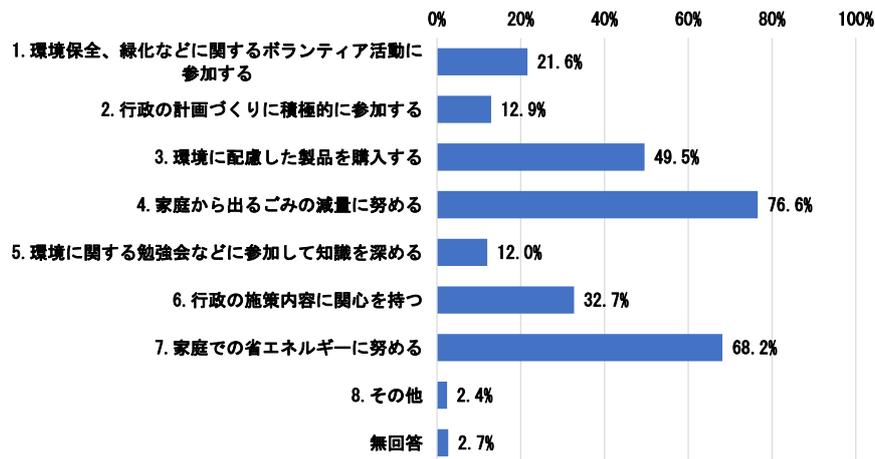


項目	グラフ符号	満足	重要	満足・重要
①地球温暖化防止活動の活性化	①温暖化防止	0.32	6.48	高・高
②環境保全活動の活性化	②環境保全	0.25	5.64	低・高
③地域連携の推進と情報交換	③地域連携	0.05	4.95	低・低
④環境リーダー育成の整備	④環境リーダー	-0.08	4.40	低・低
⑤環境教育の場の整備	⑤環境教育	0.00	4.78	低・低
⑥具体的な目標の設定	⑥目標設定	-0.07	5.27	低・低
⑦市民・事業者・行政連携の推進	⑦連携	-0.15	5.00	低・低
問11全体の平均点		0.29	5.59	—

問 12. 環境をよりよくしていくために、市民・事業者・行政それぞれが、今後行った方がよいと思うことは何ですか。重要と思われるものをそれぞれ3つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。

【市民が行った方がよいこと】(1～8のうち3つまで選んでください)

市民が行った方がよいことでは、「4. 家庭から出るごみの減量に努める」が76.6%と最も多く、次いで「7. 家庭での省エネルギーに努める」が68.2%、「3. 環境に配慮した製品を購入する」が49.5%となっている。



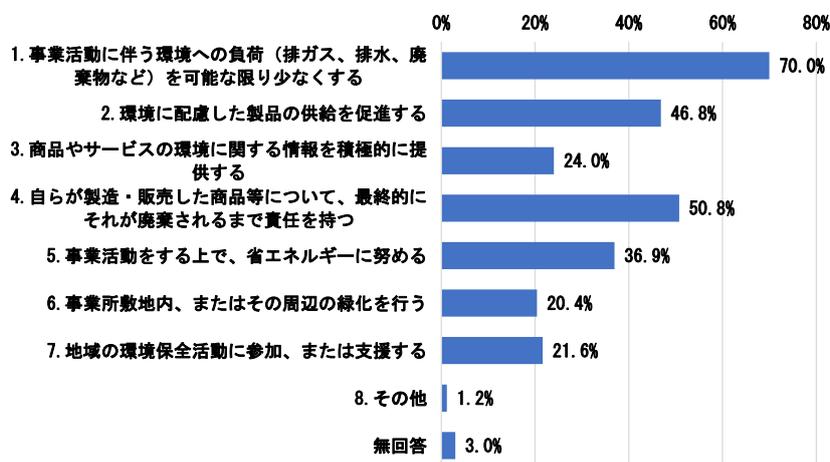
項目	件数	構成比
1. 環境保全、緑化などに関するボランティア活動に参加する	72	21.6%
2. 行政の計画づくりに積極的に参加する	43	12.9%
3. 環境に配慮した製品を購入する	165	49.5%
4. 家庭から出るごみの減量に努める	255	76.6%
5. 環境に関する勉強会などに参加して知識を深める	40	12.0%
6. 行政の施策内容に関心を持つ	109	32.7%
7. 家庭での省エネルギーに努める	227	68.2%
8. その他	8	2.4%
無回答	9	2.7%
回答者数	333	—
回答数合計	928	—

<その他の記述>

- 身近な人に対し、啓蒙活動を行う。
- ・参加の仕方すら分からない。
 - ・ボランティア活動の行事等（行事がある事すら知らない）を行う時や募集の積極的なアピール。
- 各自興味あるもの1つ決めて、実行していく。興味がないと続かない。
- 分からない。
- 行政は計画を実施する前に多くの市民の声を聞いてほしい。
- ボランティアや勉強会には参加出来ないが、家庭内でできることは協力したい。広報等で情報を提供していただけたらありがたいです。
- 学校での教育。
- 目の前の利益だけでなく生産の現場や裏側に意識を向けること。

【事業者が行った方がよいこと】(1～8のうち3つまで選んでください)

事業者が行った方がよいことでは、「1. 事業活動に伴う環境への負荷（排ガス、排水、廃棄物など）を可能な限り少なくする」が70.0%と最も多く、次いで「4. 自らが製造・販売した商品等について、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ」が50.8%、「2. 環境に配慮した製品の供給を促進する」が46.8%となっている。



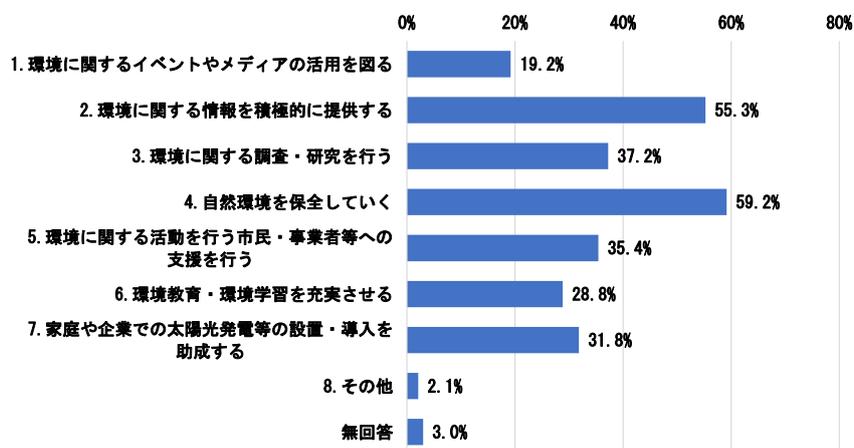
項目	件数	構成比
1. 事業活動に伴う環境への負荷（排ガス、排水、廃棄物など）を可能な限り少なくする	233	70.0%
2. 環境に配慮した製品の供給を促進する	156	46.8%
3. 商品やサービスの環境に関する情報を積極的に提供する	80	24.0%
4. 自らが製造・販売した商品等について、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ	169	50.8%
5. 事業活動をする上で、省エネルギーに努める	123	36.9%
6. 事業所敷地内、またはその周辺の緑化を行う	68	20.4%
7. 地域の環境保全活動に参加、または支援する	72	21.6%
8. その他	4	1.2%
無回答	10	3.0%
回答者数	333	—
回答数合計	915	—

<その他の記述>

- 分からない。
- 安さや量の多さではなく質を大切にすること。

【行政が行った方がよいこと】（1～8のうち3つまで選んでください）

行政が行った方がよいことでは、「4. 自然環境を保全していく」が59.2%と最も多く、次いで「2. 環境に関する情報を積極的に提供する」が55.3%、「3. 環境に関する調査・研究を行う」が37.2%となっている。



項目	件数	構成比
1. 環境に関するイベントやメディアの活用を図る	64	19.2%
2. 環境に関する情報を積極的に提供する	184	55.3%
3. 環境に関する調査・研究を行う	124	37.2%
4. 自然環境を保全していく	197	59.2%
5. 環境に関する活動を行う市民・事業者等への支援を行う	118	35.4%
6. 環境教育・環境学習を充実させる	96	28.8%
7. 家庭や企業での太陽光発電等の設置・導入を助成する	106	31.8%
8. その他	7	2.1%
無回答	10	3.0%
回答者数	333	—
回答数合計	906	—

<その他の記述>

- 費用・人件費・課題の優先順位等あるでしょうから、それらの最も良い段取りを組み立ててほしい。
- 共同で使えるコンポストを身近な場所に置き、資源へ変わることを直接実感できる事業（公園やごみステーションなど）
- 分からない
- ・他の市町村で効果のあった事をあてはまるスタイルで富士見市にもとり入れるべき。良い事はどんどん可能なかぎり導入するべき。
- ・緑化は良い事だが多くの家の生垣がきちんと手入れされておらず道路にはみ出したりしている事が多いので行政や町会でチェック指導してほしい。特に通学路は重点的にしてほしい。木が伸びて街燈がかくれている所もあるので年に1回はチェック指導が必要だと思う。

- ・ごみ袋を有料化した方がいいと思う。ごみ処理に多額の税金が使われていることをゴミを捨てる度に実感した方がいいと思うので。他市では有料化後ゴミが減ったと聞いた事があります。

■ 第三者による行政調査。

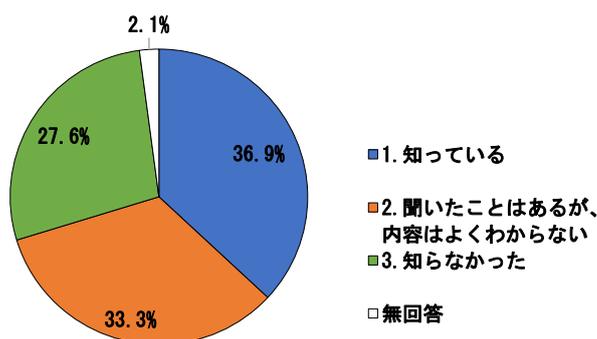
■ ・環境保全型農業の推進。

- ・食の生産者と消費者をつなぐこと。

(6) SDGsについて

問 13. SDGs について、次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

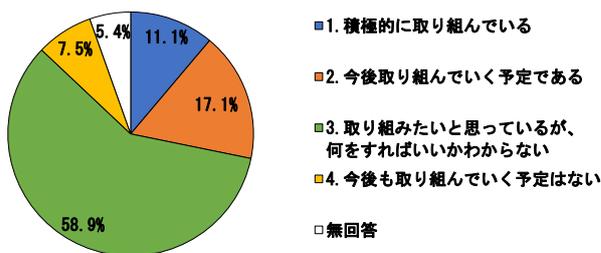
SDGs の認知度について、「知っている」が 36.9%と最も多くなっている。



項目	件数	構成比
1. 知っている	123	36.9%
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない	111	33.3%
3. 知らなかった	92	27.6%
無回答	7	2.1%
合計	333	100.0%

問 14. SDGs の取組み意識についてお伺いします。あてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

SDGs の取組み意識について、「取り組みたいと思っているが、何をすればいいかわからない」が 58.9%と最も多く、次いで「今後取り組んでいく予定である」が 17.1%となっている。



項目	件数	構成比
1. 積極的に取り組んでいる	37	11.1%
2. 今後取り組んでいく予定である	57	17.1%
3. 取り組みたいと思っているが、何をすればいいかわからない	196	58.9%
4. 今後取り組んでいく予定はない	25	7.5%
無回答	18	5.4%
合計	333	100.0%

◆このアンケートや今後策定する富士見市の環境基本計画、その他富士見市の環境に関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

■ ・問 11 については、一般市民としてはどう答えていいのかわからない。どれも大事な事とは思いますが、行政からのアピールもあまり感じる事もなく過ごしています。もっと市としての取り組みをアピールしても良いのでは・・・。

・4Rなどは家庭でもできるだけのことをしています。

・小さな事でも気軽に市民が出来るようリサイクルポスト、フードドライブ等、市役所に設置してみても如何でしょう。又、そういう取り組みをしている事を周知してほしいと思います。富士見

市は他市に比べ分かりにくいです。

■空き家が多い（ボロボロ）。

■日々、環境行政ご苦労様です。

小生、環境 ISO 認証企業に勤めています。環境問題取り組みは範囲が非常に広く、民間企業でも計画の PDCA を回す活動に大変苦慮しています。

小生、恥ずかしながら地域会社で環境活動の関りが薄く、その為、アンケートの意図に対して正しく回答ができたか自身がありません。その点、ご考慮いただき一読をお願い致します。

■幸い、富士見市では汚染問題などは耳にした事がなく、自然環境を保護しつつ、利便性・安全性を上げ発展していくそのバランスが問題になっていると思います。個人的に今の状態に概ね満足しておりますが、昔、水辺の小生物をずっと見続けた川はフェンスによって降りられなくなっていたり、クワガタやカブトムシを捕った林は整備された公園になっていたりと、子供たちは自然に触れることはできるのかと心配になります。不足分を補う何かがあったら良いなと思っています。

■・夏や冬にエコライフの取り組みが学校を通して配布され家族で取り組んでいる。

子どもがいるので富士見市の環境がより良いものになることを望んでいるが市としての取り組みが伝わってこない。もっと情報発信に興味を持てる形で発信してほしい。

・ごみ拾いや環境保全活動はコロナ禍で中止になっていますか？自治体のは参加しますが、市として開催しているものあまり伝わっていません。家族で取り組めるよう、子どもの未来のため協力してくれる人はたくさんいると思うので学校を通しておたより配布やHPで「今日やります！」のリマインドも欲しい（忘れてしまうため）。

・駅前改装も楽しみ。

・富士見台中の生徒がいつも3列4列で歩いているので自転車が通りにくい。事故になりそう。歩道整備しても横並びになると意味がない。

・毎朝落ち葉そうじをしてくれている人ありがとう。

・道路の白線消えかかっているところ直してほしい。

・坂道が多く、見通しの悪いところが多い。スピード出さないように注意喚起が欲しい！

・よりよい富士見市の為に。どうかよろしくおねがいします。

■私自身の知見が足りず、具体的な案を出すことはできませんが活動は応援しております。頑張ってください！

■富士見市に住み約40年たちます。道もきれいになり、住み良い町だと思いますが、緑が少ない、駅に行く道に街路樹が少なすぎる。

■マンションやアパートばかりだったので、もっと環境の事考えるなら、緑植えるとかが良いなと思いました。古くなっているアパートとかも市からなんか言えばいいのかなと思いました。（太陽光パネルをつけさせるとか、老朽化してそうな建物をリフォームさせるとか？）

■・環境問題に関心があっても、今の技術ではガソリン車の方が費用がかからなかったり、太陽光パネルを取り付ける方が家の維持費がかかったりと、なかなか実践できないことも多くある気がします。

・本当に環境に良いことをしようと思ったら、意識だけでなく、負担の少ない実現のしかたを考えないといけないと思います。

- ・今は小さなことしかできませんが、より住み良く、環境にやさしいまちづくりを維持できるとうれいです。
- 私は、高齢（83 歳）ですので、あまり役に立たないと思いますので、今後、もっと若い方にアンケートを実施された方が良いでないでしょうか？何卒よろしくお願い申し上げます。
- 高齢の為頭では良いと思っても体がついてゆかない。
- ・公共の福祉に反する個人企業の活動を制限すべきであるが、残念ながら行政の限界もあり、個人が司法を使うことは難しく、個人が泣き寝入りしている。
 - ・安心、安全な街作りに関し啓発活動を強化してほしい。（街の美化を含め）
 - ・国が県が市町村が取り組むべきことは異なる。市町村にはより個人の生活に、コミュニティレベルにそった取り組みをすべきである。
- ・「残せる自然は徹底して残し、管理・整備してほしい。林森、湧水地等を軽く整備し、公園化して残してほしい。
 - ・夜の星空がキレイに見える場所等を造ってほしい。
 - ・自然地帯と住宅地等をきっちり分けて残してほしい。
 - ・国道面等、交通量が多い場所に隣接している施設等の出入口の植木の撤去、整備を行い、見通しを良くする。又はミラーの設置。（危ない）
- 問 11 については良くわからず回答できない。
- ・アンケートによって市への関心が深まるきっかけになって良かった。
 - ・Google フォームを利用したアンケートにしてほしい。（手がき+ポストに行くのが手間）QR コードをハガキにのせておください。印刷する紙もへり環境にも良いのでは？
- 貴重な市民の血税で予算執行していることを念頭に、絵に描いた餅にならぬようしっかり計画達成するよう望む。
- ・行動範囲が狭いので今住んでいる地域の状況です。10 年前と比べて、住宅は増えてきましたが、あまり環境は変わっていないイメージです。転勤で居住して 30 年です。
 - ・富士見市は自然もあり都内に近く住みやすい環境だと思います。しかし、我が家は 3 年前に年末の留守中に“ドロボウ”が入り被害を受けました。自然の環境も大切ですが、安心安全な街づくりの対策も必要だと思います。
- 近所の植木、樹木が道路にはみ出し通行に支障をきたす為、再三、市に連絡しましたが「持ち主に連絡する」との回答のみで放置に近い状態が続いています。3 月～10 月（現在まで）この樹木の件も環境問題（身近かな）と思います。大きな問題（地球規模の環境）も大事ですが身近な小さな問題（私的には大きな問題）を一つ一つ解決してこそ地球規模の問題が解決できるのではと考えます。再考を希望します。
- <びん沼の件について>

びん沼を守る会のアンケート結果を拝読致しました。恥ずかしながら、この件を知らなかったの
で、驚きました。

ある程度のことは賛成ですが、ゴルフ場とはいかがなものでしょうか。建設業者にお金が出るだけで、皆がゴルフに興じる訳ではないかと存じます。ゴルフをする方はゴルフ場でお金を使えば良い。

他にお金を使って頂きたい。

市役所の皆様も、市民にはわからぬご苦勞をされていることと思います。

よく知りもしないで、耳障りな事を書いて申し訳ございません。私自身も日々努力したいと存じます。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

- このアンケートを契機に富士見市の環境施策に興味を持つことができました。2030年までのSDGsのゴールを考えると、その時代に社会で活躍するだろう世代の子どもたちとその保護者への情報提供や環境を子供たちが自分たちの手で守ろうとする居住地への愛着も含めて、理解と行動を促せるムーブメントがあるといいと思いました。そのためには、生活と環境の密着性を実感できる（自分がこうしたら、こんな良い影響があった）仕組みが地域にいくつもあつたら、生活者が主体的に意識できるのではないかと思います。10, 20, 30代の単身者もエシカルやロハスなど興味ある人やその専門性がある、都内でその意識に触れている人などいると思うため、身近に環境に配慮したことが、すぐに効果へと変わるようなことをしていただきたいと思いました。
- 近年、新世帯が増えて、ごみの集積所も各地域に増えていますが、新しい住宅地に新設された、自分たちの集積場に出さないで朝、夕、別の集積場所へ車に積んでルールに関係なく置いていく人がいます。新しく増設された集積所に市の方から表示板等で自分たちの集積所に置くように指導してもらえないでしょうか。
- ・市内の公園がそんなにきれいに保たれている気がしない。芝生にしたいのか、短い雑草にしたいのか中途半端。
 - ・交通の安全性というより、西口に市内のバスがないので年とつたら住みづらいだらうなと感じている。西交流センター、つるせ台公園、上沢公園、あたりと駅を中継地点にして市役所や増進センタールートあればいいのになど。
 - ・収集ごみの分別は徹底されていると思う。緑の保全については西口に住んでいるとあまり感じない。結構住宅密集地なので、災害時避難所足りなくて荒れそうだなと心配。
 - ・空き家が数件隣り合っている所は市が借り上げるか買い取るかして、ベンチと緑だけの小さな公園とかあちこちあるといいなど。
- ・最近、害獣（カラス等）が以前より増えています。ネット等は配布されているのですが、そのスキを見てゴミをあさっていることがよくあります。現在のゴミネットなど状態は、ある程度の予防にはなっているとは思いますが、ゴミ以外で、数が増えている事による、フン害も増えているので、害獣駆除に対する個人の対策をアナウンスして頂けるとうれしいです。
 - ・外来雑草の「ナガミヒナゲシ」の注意喚起を広報誌・ホームページにして欲しい。
- ・年とってから気がついた。道路って平らじゃないんだな。右や左にかたむいたり、まん中がもりあがっていたり、歩きづらい。
 - ・関沢のベルクができて、便利でありがたいが、店へ入る前の行く道がせまくて。お互いに気づかってゆずりあっているのは、美しいが。
- ・生活環境の改善にもっと積極的に取り組んでほしい。例えば、
 - ①道路の拡張・整備、信号機などの改善
 - ②狭い住宅地における植物、自転車など家具・家財の道路へのはみ出しに対する改善指導

- ・びん沼公園について、パークゴルフ場など作らずに自然環境を保護してほしい。
- ・鶴瀬駅から出発するバス、タクシーはすべて、電気自動車にしてほしい。市民や訪れる方の富士見市の見かたや意識が変わると思う。
 - ・レンタル自転車も検討してもらいたい。
 - ・富士見市の水道水の安全性が気になります。地下、井戸水の混合。安全な水である事を数値化し公表してほしい。
- ・アンケートはWeb化しましょう。回答者+集計者の手間がなくなります。
- ゴミを家庭での個別回収にすべき。
 - ①有料袋を販売→有料袋に企業よりスポンサーをつどい広告料をとる。
 - ②ゴミ袋の有料化によりゴミの減少→リサイクルの推進。
 - ③何より個別の玄関前に回収することで不法。
 - ハイキの減少。ゴミ集積所のそうじ当番がなくなる。
 - そうじ当番はゴミ回収後にネットなどしまわなくてはならず共働の家庭では出勤後に片づけるためムズカシイ。
 - ゴミの回収がAM8:00すぎ、会社員はこの時間出勤しているので個別回収にしてほしい。
 - ④ゴミの回収は小回りのきく軽トラなど利用。
 - 2人1組で1人を障害者にするなどして障害者雇用を確保。
- ★前に住んでいた東京都狛江市で実施済。
 - 視察に行かれてはいかがでしょうか。
- 行政として何をしているのかもっと積極的に発信する必要があります。コロナ化で大変でしょうが、市民を巻き込んで活動してみても？地域活動ができなくてヒマしてるかもしれませんよ？
- ◎富士見市が、人に、自然環境にやさしい街であってほしい。何より誇れる場所であってほしい。
 - ・びん沼の自然環境を多大な税金を使い、壊すことは、市の環境基本計画に反するものではないでしょうか。多くの市民が首をかしげています。
 - ・南畑地区の通学路が歩車道分離されておらず、幅員も狭く非常に危険である。通学路点検を行い、すみやかな整備を望む。
- この手の計画は抽象的な言葉が多く、では具体的に何をどうするか、になると…頑張ってください。
- ・子供たちが気軽にボール遊び出来る場所がなさすぎます。公園がダメなら小学校の校庭を解放するなど。子供たちは思いつきで行動するため、事前に体育館や運動場の予約を取るなどは難しいです。
 - ・市の問題ではないかもしれませんが、東上線の踏切り事故が多すぎます。
 - ・地産地消をもっと推進して欲しいです。富士見市が日本の国内自給率を上げる！くらいの気持ちで頑張ってください。
- ⇨相反する意見ではありますが…
 - ・コストコを誘致して欲しいです。
 - ・子育て世代にとって買い物が便利！
 - ・求人も増える！市の税収も上がる？

直接意見を書けるアンケートいいと思います。

■特になし

■・通学路に関して

以前より整備された感じはしますが、未だに結構なスピードで走ってる車が出て、通学してる子供や足の悪そうな方を見ると心配になります。(横断歩道なのに、止まるどころか歩行される前に通り過ぎようとスピード上げる車がいる)

・水辺に関して

富士見市は子どもが水辺で遊べる環境が少ないように感じます。朝霞の方の公園や都市の公園の方があるので、夏の暑い時の外出に困ります。気温上昇が続く今、水遊び場を作って頂きたいです。(川遊びできる場所、もしくは公園内に)

・公園に関して

谷津幼稚園の向かい側にある公園、もう少し整備して貰えると利用しやすいです。木や草が茂っているのは良い事ですが、せっかく公園があるのに遊ばせにくいです。

■歩道がせまい。小さな子供の横を車が通っているのをみると、見ているこっちがひやっとする。

■・立ち木の伐採剪定の事業が荒っぽくなるで素人のような変な仕事で景観を壊している。

- ・公園等に喫煙所を設置してほしい。そうすれば吸い殻が少なくなり周辺がきれいになると感じる。
- ・共産党の宣伝カーが非常にうるさいので選挙期間以外は禁止させて欲しい大変迷惑である。
- ・富士見江川のゴミが目立つ。
- ・山崎公園の植物の手入れが年々悪化している。(しょうぶ紫陽化等)

■環境問題が現状どこまで深刻化しているのか、不明瞭な方が多いんだと思いますので、市で推奨する活動等は広報やSNS、町に掲載する看板等で教えてほしいです。拝見次第、少しずつ普段の生活に取り入れていこうと思います。

■個人として何から手を付けて良いかわからない。時間もかかるし、費用もかかると思う。なので市で、こうして行うので協力を！！となれば行動しやすくなると思うので発信しつづけて下されば(目に付くポスターなど)と思います。

■作られた自然でなく、びん沼公園のように昔からある自然を大切にしたい。

■舗道の整備をよろしくお願いします。ガードレールの設置、排水口のふたのガタガタ等古いふたの取り替え、道路との接地面のなめらかさ(段差の解消)。

■このアンケート様式はエコなのか？

- ・紙代、印刷代、運搬費を掛けてこの内容のうすいアンケートが意味があるのか？
- ・以上のことを考えるべきでは？
- ・最後にこのアンケートに税金はいくら、掛けたのかをアンケート結果に記載してほしい。

■近未来の状況を考えると一人一人が環境を意識する事、今している事は続け、出来る事は始めていこうと思うのが第一歩なのかと思いました。

■・目標をたてたら達成率、進捗率が見える化して公表。

- ・アンケートに答えを記入したが、○をつけづらい。設問の内容にピンとこない。回答したい答えが選択肢にない。
- ・市役所に行くと無駄と思われる印刷物が山のよう。

足元から是正すべき点が多いのでは？

- ・高齢化と少子化に伴い、空家が多くなっています。
不審火の心配や、ゴミ捨て場になっている所もあり、何とかならないかと思っています。
行政の立ち入りが出来ない事は承知していますが、あまりにひどく傷んでいる場合には、積極的な対応をしていただければと念じております。
- 資源回収カゴは当番が入れ前日に出して居ますが皆んな高齢になったので大変な思いをしています。
三芳町は業者がカゴごと持って行き回収当日置いていくとの事です。富士見市もそうして頂くと助かります。宜しくお願いします。
- 防災（災害）についての設問がない。
- 緑を増やして、気持ちの良い、ずっと住んでいたいと思える場所にしてください。
- ・農業への支援を行い、農地が減っていくことのないようにお願いしたい。
 - ・いまだに歩きタバコ、タバコのポイ捨てが絶えない。
小さな子を抱える親たちは子どもをのびのびと遊ばせることも出来ない。
規制の強化をお願いしたい。
 - ・信号の見直しを行い、いつも渋滞している道路の解消につとめてほしい。
- ・P.4からP.5につづきとなっているところについて、項目をP.5にもあると前のページを見ないで済むのでつけてほしい。(P7とP8も同様)
 - ・上沢1丁目のセブンイレブンの前の道の車のスピードオーバーが気になるので、注意してほしい。
- ・交通の便を良くしてほしい。
 - ・災害時の知らせを速やかに情報を伝えてほしい。
- 道路が出来るのは良いが、草だらけで歩きにくい所があり、整備できていない。
- ・道、歩道の整備をして欲しい。駅周辺だけきれいになっている。
 - ・アンケートが長い。
- P.2の間で住宅がふえ、人口がふえているのに、車も多いのに公園がない出来ない。道路がせまい、ので今に合った環境にしてほしい。
- 予算の都合もあるとは思いますが太陽光発電などの助成を増やしてほしい。ただ例えば太陽光発電はHEMSや電気自動車との連携で効率はかなり変わってくるので、単発ではなく総合的な戦略の上でやっていくべき。配布もインターネット申請限定で良いと思う。Webサイトに入力すると太陽光発電と相性の良いシステムを自動計算してポイントが増し、申請者が自然と効率の良い組み合わせをする感じが良い。
- 一番の肝心な事が抜けている。最後のSDGsを市は推進しているのか？まったくの理解にくるしむアンケートだった！！
- 水子地域に在住している者ですが・・・
36年程前にこの地に越して来ましたがその頃は畑や田んぼに囲まれ緑豊かでとても心が安らぎました。ところが今は農業離れ・後継者問題等で宅地化され、アツという間に「ニュー・タウン」になってしまいました。市内のどこを見ても同様で、まあ、それはそれでにぎやかで良いとは思いま

すが長年この地で暮らして来た者にとっては少々がっかり・・・というのが正直な気持ちです。ところで、このアンケート調査は「第2次富士見市地球温暖化対策実行計画」の策定のためだと思いますが・・・私はこれまでも、例えば「富士見市障がい者支援計画」づくりのためのアンケート調査等に協力をして参りました。そして、立派な「計画」は作っていただきましたが、その中で何一つも実行・実現されたものは無いと感じています。「計画」は実行するために作るもので、単なる「ポーズ」に終わらせてはほしくないです。ぜひ市民の声に耳を傾け、吸い上げ、繁栄されるような実効性のあるものにしてほしいと願っています。そして、いつも「富士見市民で良かった」と思っていたいです。

■排気ガス対策で自転車の推奨などは良いと思う。ですが、現段階で自転車に乗っている方のマナーが悪い。朝の通勤時はかなりスピードを出して居る人が多く、歩行者すれすれになっている人もいる、車が安全運転でも自転車のマナーが悪いため事故になりそうな所は周りで何回かみかけたことがある。なので自転車推奨するのであれば、自転車マナー対策を取り組むよう検討していただきたい。

■市の取り組みを市内の事業者や学校教育の場でPR または取り組みへの参画を依頼する、などされたいと思います。

■新河岸川や江川などの市内河川に、ビニール袋などのゴミが目立ちます。市民にゴミの不法投棄に対する関心を高めてもらうために地域住民が定期的に清掃活動を行うほか、学校教育においても校外学習などを積極的に行い実情を知る機会とする。

■今後の富士見市の環境を良くしていく為には、単に環境面だけではなく、自然に環境が取り込んでいける様に、環境面と安らぎと活気のある都市型の街づくりが必要と考えます。

高齢化社会に突入している今日、高齢者を含め、若者もいつ迄も住みたくある活気のある緑と遊びごころ場（例えば、ららぽーと富士見以外に、これに準じた、時代のセンスに富む買い物場やグルメ店街や子供達も自然と親しめる公園や釣り場等の遊び場や、既存の公的施設を含め、更に若年層が楽しめる魅力のある MUSEUM 等の施設と場所の環境づくり）も必要と考えます。更に今直ちに実施してもらいたいのは、今後若者達も積極的に富士見市に足を運ばせるためにも、先ずは、東武鉄道とも連携して、富士見市の玄関口である鶴瀬駅の駅舎の改築であると考えます。今の現状の古寂れた鶴瀬駅の駅舎（東上沿線の駅舎としては、1 番魅力のない古寂れた駅舎といえる）では、駅の名前を言うのも恥ずかしいくらいで、やはり、誰もが乗降したくなる様な魅力的な駅舎にすべきだと考えます。結論から言えば、綺麗な鶴瀬駅舎の玄関口を降りたら、目の前に、緑と整備されたセンスのある魅力的な商店街の街並みが広がり、合間には、グリーンベルト地域や誰もが期待できるグルメ街や地産地消が展開される場や子供達の自然の遊び場等が展開されていけたら、誰もが自然とより綺麗な街づくりの環境に誘導され、路上の紙屑一つでも拾って帰りたくなるようになるのではないかと考えます。

■・富士見市に住んで40年以上になりました。すっかり変わりました。子供も孫も富士見市で生まれ、子供は育ちました。他市に嫁いだ子は小学校はなくなり、緑豊かな公園もなくなり、駅前もずいぶん変わったネと言って実家に帰るのもわからなくなりそうだったと言います。故里の（カブト虫のいる氷川さん、諏訪さん、谷津の森他）ありがたきかなと思いたいので変わってほしくないです。

- ・湧水は富士見市の宝。みずほ台の池にはコイがいましたが、ホタルが飛ぶようになったら大勢の小さい子達に見せてあげたい。他に利用方法はなんでしょう
- ・近所は戸建 33 アパート 3。戸建 33 の内お一人様 11 戸、70 代~90 代 33 の半分強
移動手段足が痛むがまだ自転車。足が痛むが歩きだけ。カート？に寄りかかってなんとか歩く。
買物近くが精一杯という状況になってきました。
- ・80 代以下の年代の家庭 9 軒でゴミカゴ、ネット当番を一週間交代でまわしています。最近、スプレー缶穴あけなくてもいいんだよという人も出てきました。又、ネパール出身の若者も 4~6 人？いて、エッと思うこともあります。気がついた時は入れなおしたりしています。
- ・環境問題は世界的にとりくまないといけない大きな問題だと思います。世界的な異常気象我が国も 1 年を通して災害にあっています。私の人生の中で大きな災害は、今日のようにはなかったように思います。毎年多くの人の命が亡くなっている事に恐怖を覚えています。
人間があまり便利な物を次々と発明し、必要ない物まで作って使用する、その罰を受けているような気が致します。
- ・個人が良く考えてゴミ出しにも決められた場所、ルールを守って出してくれれば良いのですが、私のクリニックのゴミ置き場は、進路ぎわにあるので、他の班の人（いつも同じ人々）ですが、曜日かまわず、大きな袋に何もかも中身が入ったまま出しにくるのは困っています。本人はほとぼりさめると又くり返す。この様な人は環境の事など何も考えていない。
- 富士見市に転入して 1 番感じた事はみずほ台、つるせの 1 部はきれいだが歩道がせまい。道路の路面のほそろがでこぼこ。歩道を自転車で通る時（車道はせまくて通れないので）横断歩道も自転車のはまりこみそうなミゾがありとても危険だと思いました。
また新しそうな家の所がセットバックされておらず通学路なのに道幅がせまい所があり見とおしが悪く危険。横断歩道を渡ろうと待っていてもまず止まってくれない。全部が富士見市民ではないと思いますが、色々な部分で意識が低い。
公園の木が育ちすぎ、公民館等の太陽光率が悪い。災害時を想定して小学校中学校の屋上も太陽光発電を推進してほしい。
- テレビ CM で洗たく洗剤や柔軟剤ばかり流れ化学物質過敏症の私にはとても耐えがたいにおいです・・・これからそのような人間が増えていくと思われます。
海外ではあたり前のように、使用していない、または国で危険物指定されているものを日本では OK となっていて悲しい現実です。
自分の赤ちゃんや孫に安心して使えるものを大人にも使うべきです。これが今起きている自然災害につながっている原因の 1 つだと思います。人間が自ら地球を汚し、自然災害を引き起こしている。国民 1 人 1 人の意識のレベルアップを切に願うばかりです。
- 富士見市内の柳瀬川の治水洪水防止
ゲリラ豪雨
台風
大雨対策をきちんとやってほしい。
川の氾濫が起きてからでは遅い！
10 月から 11 月が台風シーズンである。

川底をもっと深くほるか？

ていぼうを今よりも高くするか？

時間的なゆとりは無い！

今のうちから、早く工事をしてほしい！

- とくに意見などございませんが、このように市民の声をきいてくれるのは良いことだと思います。パブリックコメントを募集していても、それにこたえるのは少々面倒ですが、アンケート形式なら、意見を表明しやすいです。
- ・自宅の回りは見渡しても、屋敷林などがかなり無くなった。大きな木があれば枝おろしなど管理に手間やお金がかかる。落葉に苦情を言われたり、カラスが巣をつくりおそいかかったり、フン害に毛虫などなど、自然や生き物との共存が難しい環境になっているように思う。しかし、木がなければ、木陰もなく、紅葉もない。行政が公園などの緑地を管理するしかないのか、それも手が回らなくなっているように思うのは私だけか・・・。
- ・市道の舗装が元々のアスファルトの上に舗装をしているので路肩には側溝との段差がある。ここを自転車や車イスで通るのは非常に危ない。車道は車がスピードを出しているけどはみ出すしかない。なんでこんな舗装になっているのか、計画している人達には、是非、車イスや杖、自転車で路肩を体験してほしい。
- 地球環境問題は、あまりにも大きな問題で有。個々の生活でのちょっとした注意や、集団での大きな力。協同作業での環境保全。世界を相手の取り組みなど。
独居老人には難しすぎて、アンケートにも苦慮しております。
以前田舎暮らしでしたので、人の暖かさとか温もりとか、人間相手のホッとした事が安心できていたのかもしれない。それと、自然環境が良かったア～～。
富士見市もせつかく緑のある公園があるのにもったいない。人が集まれない？(コロナのせい！?)
でも、もっと細部まで手を加え、きれいで、楽しめる場所がもっと多く有ってほしい。「こんな所がありますよ」とか今は「ここがおすすめですよ」とか、紹介又は発信してほしい。深入りしたい富士見市へ隅々まで行き届いた、環境で有ますように！！
- ・緑をなるべく多く残して欲しい。
 - ・子供が安全に遊べる場所を多く作って欲しい。
- 計画を策定しても、市民に伝わらなくては何にもなりません。もっと広くアピールする方法を考えてください。
- ・犬、猫の殺処分を止めてほしい、犬や猫も生きています、心もあるんです。
 - ・ブリーダー、販売店への厳しいチェックをする指導をしてほしい。
 - ・買う人にもただ可愛いだけでなく、最後まで飼えるのか(保護犬、保護猫)にしない為にちゃんと教育してほしい。
 - ・保護犬にしない為に、セラピードックを育てる。セラピードックを育てる人の育成や場所を確保して犬にセラピードックとして活躍の場を作してほしい。犬と人との触れ合いの場所を作してほしい。犬と人との触れ合いの場所を作してほしい。
 - ・教育の場でも動物の命の大切さを教えてほしい。今、ほしい物は、すぐ簡単に手に入る時代です。反対に人間の心が狂っている。人を殺したり、子供や動物との虐待したり、私には信じられない。

心が痛みます。

多勢の人に、優しい心を持ってほしいです。

- 子育て世代が過ごしやすい町づくり・環境にこれから期待します。

若い世代に向けた情報発信もいろいろ考えてもらいたいと思います。

頑張ってください。

- 住みやすく、よりよい環境作りを目指すため、私達一人一人が協力をし、環境に対しての意識付けを行っていく必要があると思う。

- 関沢2丁目地区に公園を整備してほしい。

- 富士山が見えたり、志木ニュータウンがマンション等から見えるので小さい時から、富士見市は気に入っています。

- ・本アンケートの問答設定が難しすぎる。もっと問題の出し方に工夫を感じたい。

市の意図は分かるので、もう少し優しい調子で問いかければ良かったかも。

- ・本件とはずれるかも知れませんが、幼稚園、保育園のある付近道路には禁煙シールを貼って欲しい。針ヶ谷地内でも、保育園と人の集まる施設（撮影所）が近接している場所があり、喫煙の煙が幼児の方に流れている。

- アンケートの設問数が多く、答えるのが大変でした。

又、自分（回答者）は世帯主ではないため、回答に困る設問もあったように感じます。

インターネット上から答えられるようにする等、回答しやすいシステムづくりをして頂けると、若年層はありがたいかと思えます。

（頑張って最後まで回答したのでQUOカード等ください！！）

- ・自然環境の豊かな地域で生活しているので、気持ちは利便性に傾きます。又、不法投キ（田んぼへのポイ捨て等）には困ってます。何かより良い方策を実施していただきたい。

路肩の劣化による畑へのアスファルト片の崩落にも困ってます。

下水道整ビについては、受益者負担金が高額過ぎて大変でした。

今後、個々の家庭が接続した時に、5～10年又はそれ以上に渡り、減額措置等で、負担緩和願いたい。

- ・5段階評価、3段階評価、すべて選択、3つ選択等、統一性が無い気がする。

- 富士見市で生まれ、市内に嫁いで40数年、子供の頃と比べると、ずいぶん環境が変わってきています。住宅が建てられ、道路が整備され、都市化の波が押し寄せています。生活様式も様変わりしました。良い点と、悪い点があると思います。

南畑地域は調整区域とかで、家が建てられないので、住宅地が少なく静かで良いのですが、浦和所沢線や富士見川越道路などが近くにあるので、もう少し開発されても良いかと思えます。義父が「都会に近いなか」と良く言っていましたが、コロナが富士見でも大変な人数になってくると改めて、東京に近いのだな実感しました。代々農業を営んでいますので、この地で生きていくしかないの、良い点、悪い点を考えて、まあまあかなと思っています。しかし、次の代の人が、水田で、稲を作っていけるようになる（ならないと思いますが？）といいのですが・・・この水田の景色も消えていくのでしょうかネ！

- ・新河岸川のサイクリングコースを散歩しながら、ポイ捨てゴミを拾っているが減らない、ポイ捨て

て禁止の立て看板等設置をして欲しい。

- ・ゴミ収集について、基本ルールに対する周知が不足している。

収集場所設置に対する基本事項等。

- ・有害動物対策等（ハクビシン・カラス等）を強化して欲しい。
- ・文化財について、説明看板の設置が一部しかない。
- ・大部分の市道について、歩道の設置がされていない。
- ・バス通りでも人が歩くと危険なところがある。（歩道が狭いのが原因の一つとされている）

- ・環境はおおむね満足している。住み良さなども満足。

・他の市町と比べ特性がない。

- 富士見市の公報は環境基本計画を含めて、まだまだ一部の興味のある人々の間だけに周知されているにとどまっています。もう少し自然と目や耳に入ってくるような方法、手段を検討して欲しいと思います。皆があたりまえのように知っている状態にすることを目指していただけるとうれしいです。

- ・横断歩道の幅が狭くなったが歩行者の安全地帯が減っているのではないか。

・自転車や、歩きスマホなど、交通ルールを知らない人が多すぎて困る。

・なぜ、鶴瀬駅前の道路だけきれいなのか？

・三芳町が羨ましいと周辺の人たちが言っている。自分もそう思う。

・みずほ台の駅周辺の開発は進める気はないのか？

・税金の使い方を考えてほしい。不公平があるのではないか。

- ・鶴瀬駅開発していますが、駅前にファミリーレストランや飲食店（コーヒー店）等をつくって欲しい。ららぽーとがある駅にしては、さびれている。

・鶴瀬は昔から住んでいる人が多く高齢者がとても多いのに、歩いて買い物し、座る所が無く、大変そうな人を良く見かけます。途中にベンチを設置すると良いと思う。

・市内のバスの時刻が少なすぎ。

・高齢者のバスが無料だったのに、お金をかけて写真付きのカードをつかったのに金額を取るようになり、出かけなくなった人が多い。バスの便を増やしたり駅前でお茶できる場所が必要に思う。

・自転車に乗っていると本当に道が悪い所が多いと感じます（ベルク付近）。

- ・ふじみ野駅周辺のムクドリ対策を強化していただきたい。

市でも対策していただいているようですが、根本的な解決には至らず、毎年辛い。

・2年くらい前から、カメムシが急に増えたように思います。

市で解決（対策）できることはないかもしれませんが、何かできることがあればお願いしたいです。数匹ではなく大量発生で安心してベランダに洗たくものを干すことができず、困っています。

・このアンケートについて

項目や選択肢を適切かどうか見直してほしい。問7は賃貸住宅では実施できない。

- 富士見環境センターで粗大ゴミを出した後、出口は、国道 254 バイパス側の門から出るとの事ですが、勝瀬中側に出る事は出来ないのでしょうか？

- ・私たちに癒しをもたらし、生物多様性を守ってくれる自然をこれ以上失うことがないように努力をする必要があると思います。目にみえる形ではっきりと遊ぶものだとわかる遊具なども子どもたちのためにはなるとは思います。自然の中で子どもたちが遊び、大地や植物を感じながら様々な発見をすることは、とても大切で、そうした場を守っていくことも私たち大人の責任だと考えます。日本中で失われつつある里山や林といった昔ながらの自然の維持や復活を望みます。
- ・また、綺麗な自然景観、空気の綺麗さ、生き物が活々と暮らすことのできる水辺環境を目指していくためにも、有機農業の推進や支援に力を入れていくことが大切だと考えます。慣行農業を否定する訳ではありませんが、自然・人にしっかりと考えを向けることのでき、人と人とのつながりを生みだしていくきっかけにもなる有機農業の推進は市の財産にもなっていくものだと思います。子どもたちの健康のために給食に地元の有機野菜を取り組む例は日本各地で存在し、韓国のソウル市などでも実施されていることを考えると、より住みたいと思え、より魅力のある市にしていくためにも意味のあることだと思います。

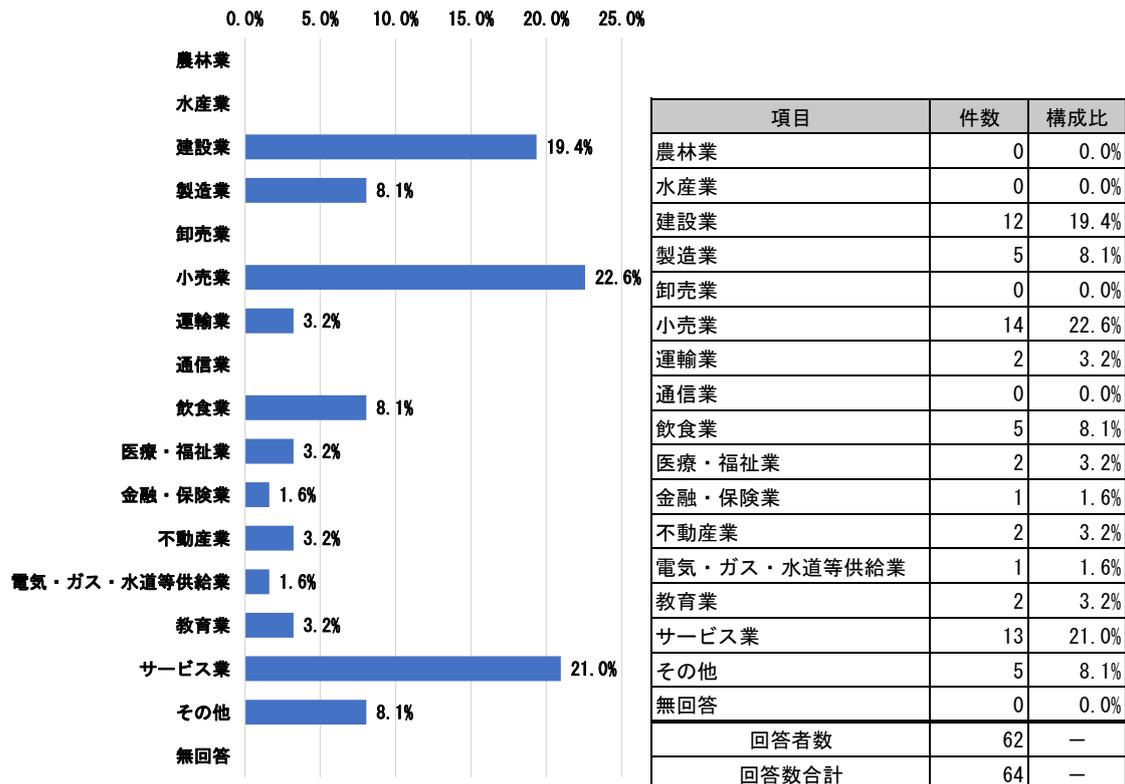
2.3. 事業所を対象としたアンケート集計結果

(1) 貴事業所について

問1. それぞれの項目ごとにあてはまるものを選び、その番号に○をつけてください。
また、⑥・⑦についてはあてはまるものの数も記入してください。

問1-①業種

業種では、「小売業」が22.6%と最も多く、次いで「サービス業」が21.0%、「建設業」が19.4%となっている。

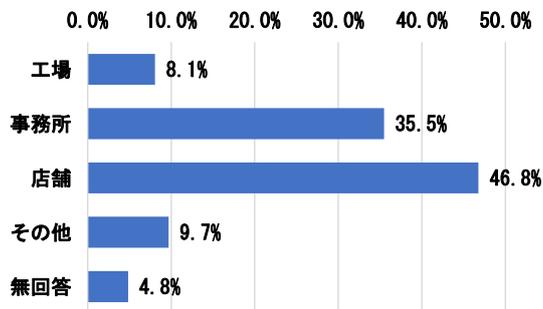


<その他の記述内容>

- ハンドメイド
- 賃貸業
- 不動産賃貸業
- 情報

問1-②事業形態

事業形態では、「店舗」が46.8%と最も多く、次いで「事務所」が35.5%、「工場」が8.1%となっている。



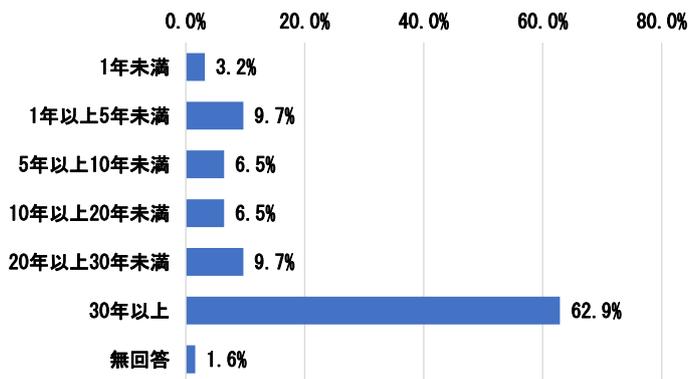
項目	件数	構成比
工場	5	8.1%
事務所	22	35.5%
店舗	29	46.8%
その他	6	9.7%
無回答	3	4.8%
回答者数	62	—
回答数合計	65	—

<その他の記述内容>

- 測量作業
- 学校
- 自宅
- 現場

問1-③富士見市在所年数

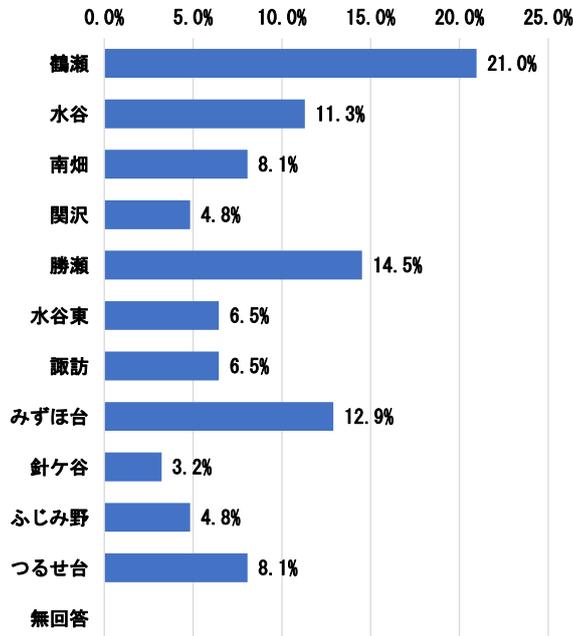
在所年数では、「30年以上」が62.9%と最も多く、次いで「1年以上5年未満」と「20年以上30年未満」がともに9.7%となっている。



項目	件数	構成比
1年未満	2	3.2%
1年以上5年未満	6	9.7%
5年以上10年未満	4	6.5%
10年以上20年未満	4	6.5%
20年以上30年未満	6	9.7%
30年以上	39	62.9%
無回答	1	1.6%
合計	62	100.0%

問1-④所在地（小学校区単位）

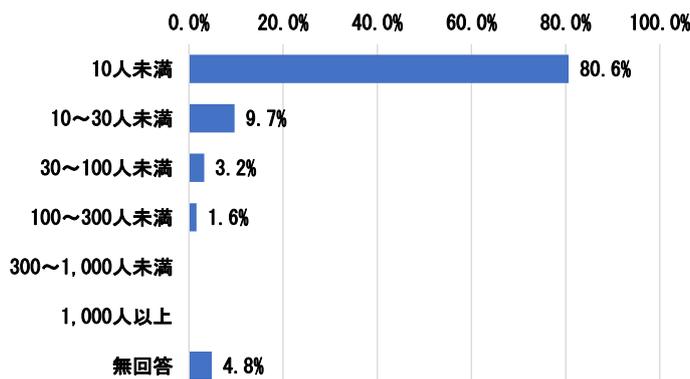
所在地では、「鶴瀬」が21.0%と最も多く、次いで「勝瀬」が14.5%、「みずほ台」が12.9%となっている。



項目	件数	構成比
鶴瀬	13	21.0%
水谷	7	11.3%
南畑	5	8.1%
関沢	3	4.8%
勝瀬	9	14.5%
水谷東	4	6.5%
諏訪	4	6.5%
みずほ台	8	12.9%
針ヶ谷	2	3.2%
ふじみ野	3	4.8%
つるせ台	5	8.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	62	—
回答数合計	63	—

問1-⑤従業員数（パート・アルバイトなどを含む）

従業員数では、「10人未満」が80.6%と最も多く、次いで「10～30人未満」が9.7%、「30～100人未満」が3.2%となっている。

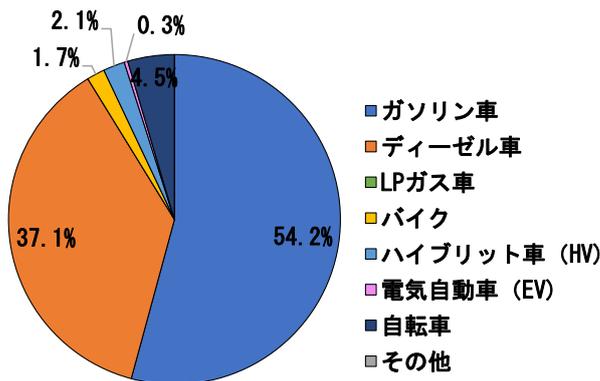


項目	件数	構成比
10人未満	50	80.6%
10～30人未満	6	9.7%
30～100人未満	2	3.2%
100～300人未満	1	1.6%
300～1,000人未満	0	0.0%
1,000人以上	0	0.0%
無回答	3	4.8%
合計	62	100.0%

問1-⑥車両保有台数（事業・営業・作業用）

車両の保有の有無については、回答事業所の中では「ガソリン車」の保有割合が72.6%と最も多く、次いで「ディーゼル車」が19.4%、「自転車」が17.7%となっている。その保有台数をみると、「ガソリン車」は54.2%、「ディーゼル車」は37.1%、「自転車」は4.5%を占めている。

項目	件数	構成比
ガソリン車	45	72.6%
ディーゼル車	12	19.4%
LPガス車	0	0.0%
バイク	4	6.5%
ハイブリット車 (HV)	6	9.7%
電気自動車 (EV)	1	1.6%
自転車	11	17.7%
その他	0	0.0%
無回答・所有なし	6	9.7%
回答者数	62	—
回答数合計	85	—



項目	台数	割合
ガソリン車	155	54.2%
ディーゼル車	106	37.1%
LPガス車	0	0.0%
バイク	5	1.7%
ハイブリット車 (HV)	6	2.1%
電気自動車 (EV)	1	0.3%
自転車	13	4.5%
その他	0	0.0%
合計	286	100.0%

<その他の記述内容>

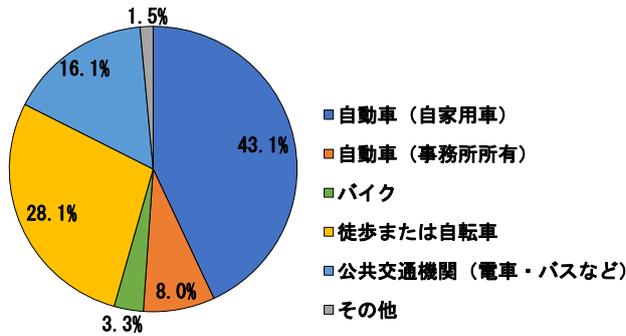
■店舗付き住宅

問1-⑦従業員の通勤手段

通勤手段では、「自動車(自家用車)」を通勤手段としている従業員がいる事業所が43.5%と最も多く、次いで「徒歩または自転車」が41.9%、「公共交通機関(電車・バスなど)」が19.4%となっている。

回答事業所の従業員数の割合では、「自動車(自家用車)」は43.1%、次いで「徒歩または自転車」は28.1%、「公共交通機関(電車・バスなど)」は16.1%を占めている。

項目	件数	構成比
自動車(自家用車)	27	43.5%
自動車(事務所所有)	8	12.9%
バイク	7	11.3%
徒歩または自転車	26	41.9%
公共交通機関(電車・バスなど)	12	19.4%
その他	4	6.5%
無回答	13	21.0%
回答者数	62	—
回答数合計	97	—



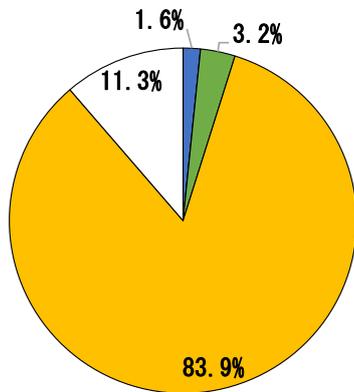
項目	人数	割合
自動車(自家用車)	118	43.1%
自動車(事務所所有)	22	8.0%
バイク	9	3.3%
徒歩または自転車	77	28.1%
公共交通機関(電車・バスなど)	44	16.1%
その他	4	1.5%
合計	274	100.0%

<その他の記述内容>

- 通勤なし
- なし
- 自営業

問1-⑧ISO14001の認証取得

ISO14001の認証取得では、「予定なし」が83.9%と最も多くなっている。

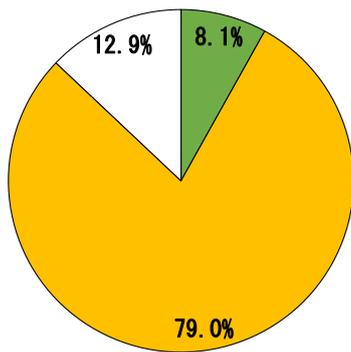


- 済み
- 予定
- 検討中
- 予定なし
- 無回答

項目	人数	構成比
済み	1	1.6%
予定	0	0.0%
検討中	2	3.2%
予定なし	52	83.9%
無回答	7	11.3%
合計	62	100.0%

問1-⑨エコアクション21の認証・登録

エコアクション21の認証・登録では、「予定なし」が79.0%と最も多くなっている。

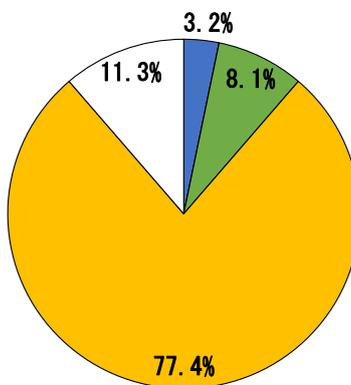


- 済み
- 予定
- 検討中
- 予定なし
- 無回答

項目	人数	構成比
済み	0	0.0%
予定	0	0.0%
検討中	5	8.1%
予定なし	49	79.0%
無回答	8	12.9%
合計	62	100.0%

問1-⑩温室効果ガス排出量の把握

温室効果ガス排出量の把握では、「予定なし」が77.4%と最も多くなっている。

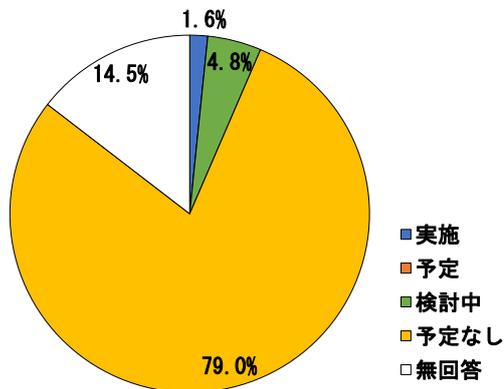


- 実施
- 予定
- 検討中
- 予定なし
- 無回答

項目	人数	構成比
実施	2	3.2%
予定	0	0.0%
検討中	5	8.1%
予定なし	48	77.4%
無回答	7	11.3%
合計	62	100.0%

問1-⑪環境報告書の作成・公表

環境報告書の作成・公表では、「予定なし」が79.0%と最も多くなっている。



項目	人数	構成比
実施	1	1.6%
予定	0	0.0%
検討中	3	4.8%
予定なし	49	79.0%
無回答	9	14.5%
合計	62	100.0%

問1-⑫その他、環境に関する認証取得や登録内容

環境に関する認証取得や登録内容では、「あり」と回答した事業所数は0件であった。

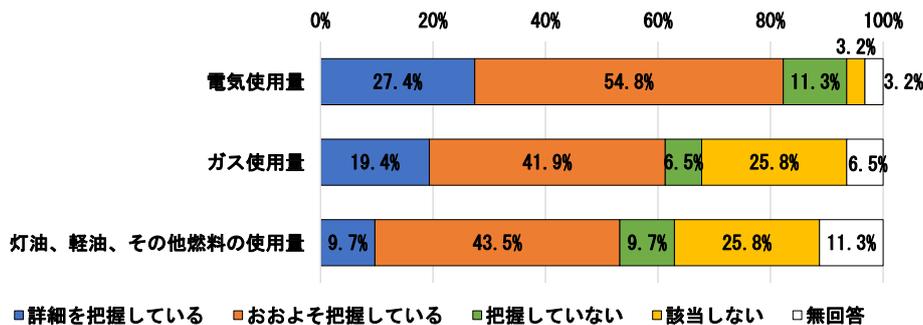
項目	人数	構成比
あり	0	0.0%
なし	43	69.4%
無回答	19	30.6%
合計	62	100.0%

問2. 以下の数値の把握状況についてお伺いします。
次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

【エネルギー使用量】

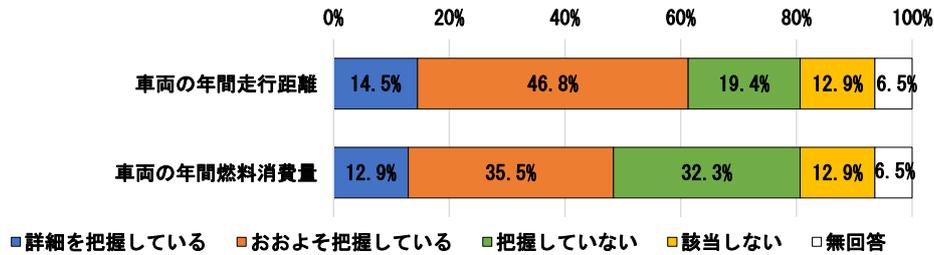
エネルギー使用量について、すべての項目で最も多かった回答は「詳細を把握している」と「おおよそ把握している」を合わせた『把握している』で、「電気使用量」では82.2%、「ガス使用量」では61.3%、「灯油、軽油、その他燃料の使用量」では53.2%となっている。

一方、『把握していない』と回答した割合が最も多かったのは「電気使用量」で、11.3%となっている。



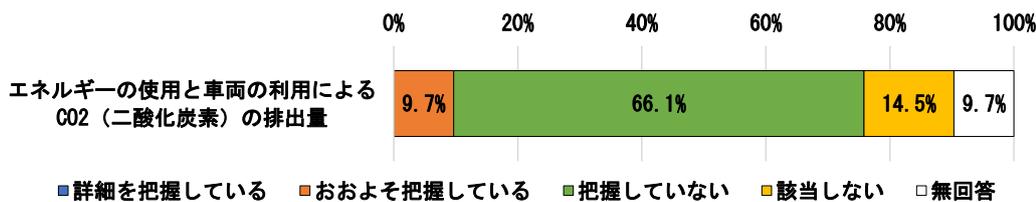
【車両の利用】

車両の利用について、2つの項目で最も多かった回答は「詳細を把握している」と「おおよそ把握している」を合わせた『把握している』で、「車両の年間走行距離」では61.3%、「車両の年間燃料消費量」では48.4%となっている。一方、「把握していない」と回答した割合が多かったのは「車両の年間燃料消費量」で32.3%となっている。



【エネルギーの使用と車両の利用によるCO₂（二酸化炭素）の排出量】

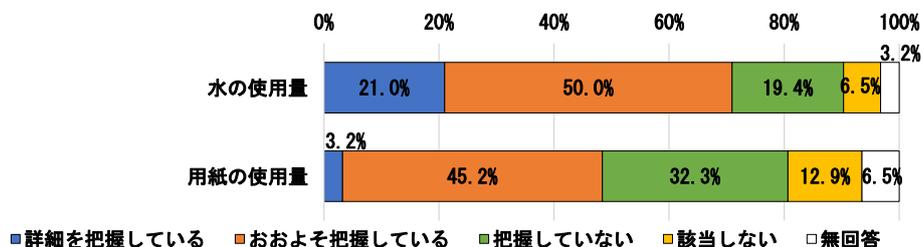
CO₂（二酸化炭素）の排出量について、最も多かった回答は『把握していない』で、66.1%となっている。



【資源の使用量】

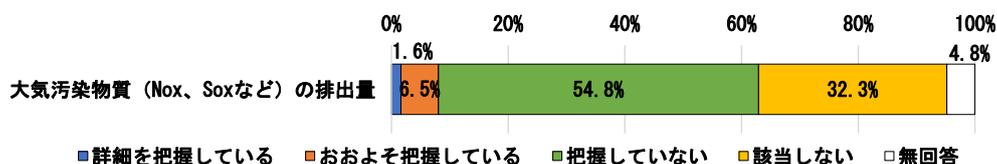
資源の使用量について、2つの項目で最も多かった回答は「詳細を把握している」と「おおよそ把握している」を合わせた『把握している』で、「水の使用量」では71.0%、「用紙の使用量」では48.4%となっている。

一方、『把握していない』と回答した割合が多かったのは「用紙の使用量」で、32.3%となっている。



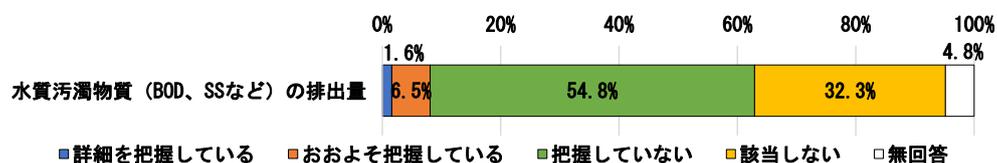
【大気汚染物質（NOx、SOx など）の排出量】

大気汚染物質（NOx、SOx など）の排出量について、最も多かった回答は『把握していない』で 54.8% となっている。



【水質汚濁物質（BOD、SS など）の排出量】

水質汚濁物質（BOD、SS など）の排出量について、最も多かった回答は『把握していない』で 54.8% となっている。

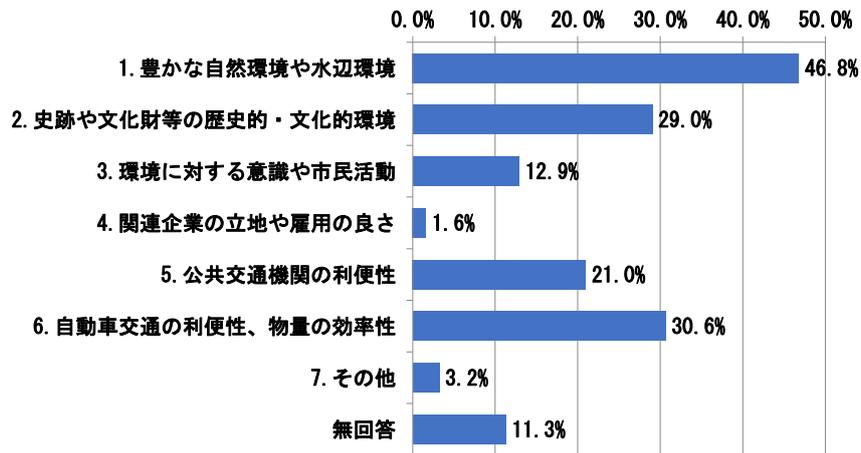


項目		詳細を把握している	おおよそ把握している	把握していない	該当しない	無回答	合計
エネルギー使用量	電気使用量	17	34	7	2	2	62
	ガス使用量	12	26	4	16	4	62
	灯油、軽油、その他燃料の使用量	6	27	6	16	7	62
車両の利用	車両の年間走行距離	9	29	12	8	4	62
	車両の年間燃料消費量	8	22	20	8	4	62
エネルギーの使用と車両の利用によるCO ₂ （二酸化炭素）の排出量		0	6	41	9	6	62
資源の使用量	水の使用量	13	31	12	4	2	62
	用紙の使用量	2	28	20	8	4	62
大気汚染物質（Nox、Soxなど）の排出量		1	4	34	20	3	62
水質汚濁物質（BOD、SSなど）の排出量		1	4	34	20	3	62

(2) 富士見市の環境の魅力について

問3. 貴事業所として、富士見市の環境について特に魅力を感じることはどんなことですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

富士見市の環境で魅力と覚ることについで項目では、「1. 豊かな自然環境や水辺環境」が46.8%と最も多く、次いで「6. 自動車交通の利便性、物量の効率性」が30.6%、「2. 史跡や文化財等の歴史的・文化的環境」が29.0%となっている。



項目	件数	構成比
1. 豊かな自然環境や水辺環境	29	46.8%
2. 史跡や文化財等の歴史的・文化的環境	18	29.0%
3. 環境に対する意識や市民活動	8	12.9%
4. 関連企業の立地や雇用の良さ	1	1.6%
5. 公共交通機関の利便性	13	21.0%
6. 自動車交通の利便性、物量の効率性	19	30.6%
7. その他	2	3.2%
無回答	7	11.3%
回答者数	62	—
回答数合計	97	—

<その他の記述内容>

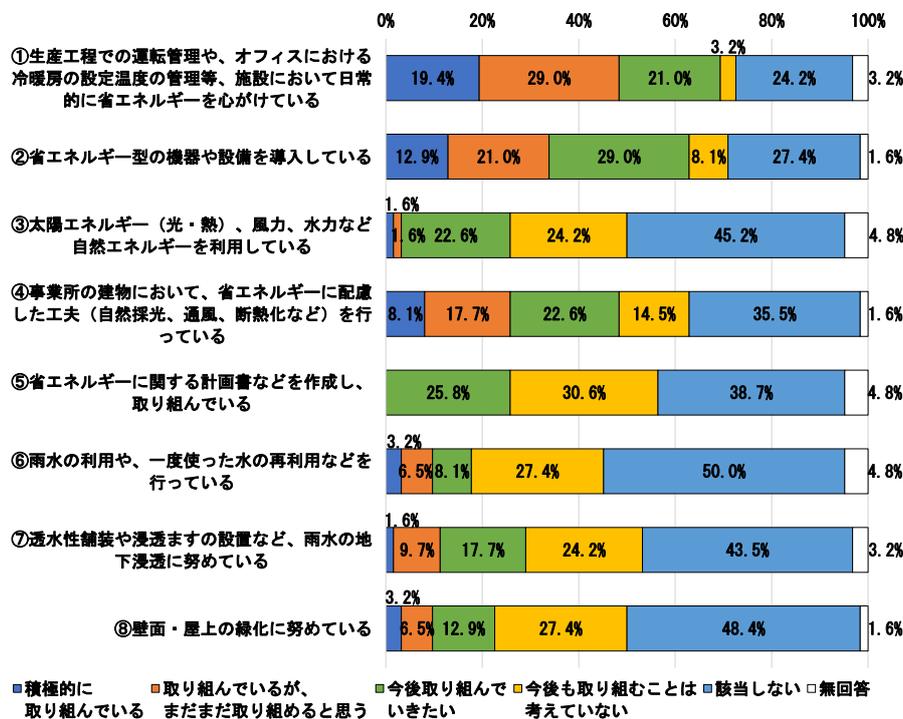
- 災害が少ない
- 特になし (2件)

(3) 環境保全への取組み状況について

問 4. 貴事業所での環境保全への取組みについてお伺いします。次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

◆エネルギーなどについて

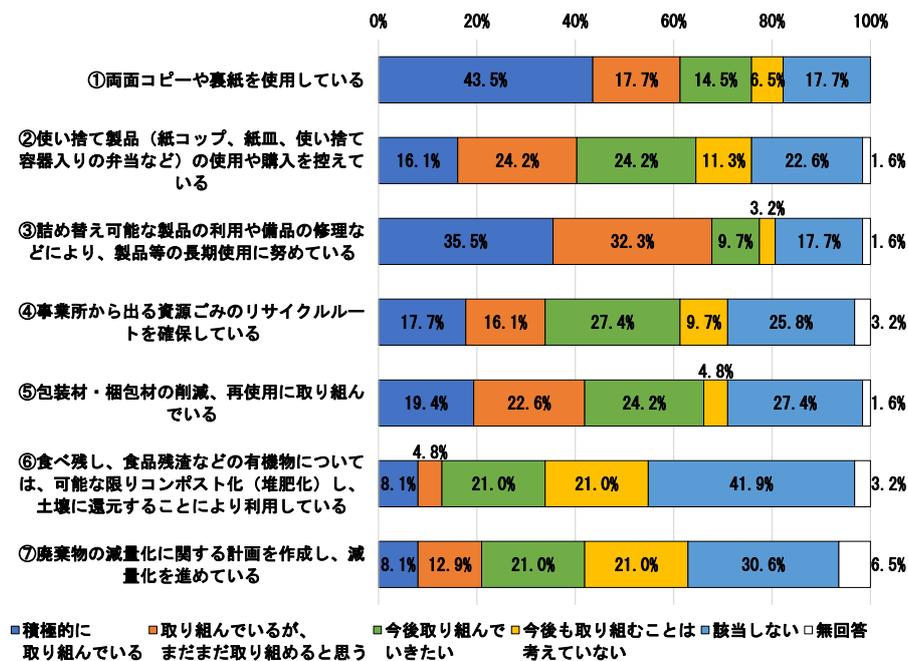
エネルギーなどについて、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「①生産工程での運転管理や、オフィスにおける冷暖房の設定温度の管理等、施設において日常的に省エネルギーを心がけている」が48.4%と最も多く、次いで「省エネルギー型の機器や設備を導入している」が33.9%、「④事業所の建物において、省エネルギーに配慮した工夫（自然採光、通風、断熱化など）を行っている」が25.8%となっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、 まだまだ取り組めると 思う	今後取り組んで いきたい	今後取り組むことは 考えていない	該当しない	無回答	合計
①生産工程での運転管理や、オフィスにおける冷暖房の設定温度の管理等、施設において日常的に省エネルギーを心がけている	12	18	13		2	15	62
②省エネルギー型の機器や設備を導入している	8	13	18		5	17	62
③太陽エネルギー(光・熱)、風力、水力など自然エネルギーを利用している	1	1	14		15	28	62
④事業所の建物において、省エネルギーに配慮した工夫(自然採光、通風、断熱化など)を行っている	5	11	14		9	22	62
⑤省エネルギーに関する計画書などを作成し、取り組んでいる	0	0	16		19	24	62
⑥雨水の利用や、一度使った水の再利用などを行っている	2	4	5		17	31	62
⑦透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透に努めている	1	6	11		15	27	62
⑧壁面・屋上の緑化に努めている	2	4	8		17	30	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、 まだまだ取り組めると 思う	今後取り組んで いきたい	今後取り組むことは 考えていない	該当しない	無回答	合計
①生産工程での運転管理や、オフィスにおける冷暖房の設定温度の管理等、施設において日常的に省エネルギーを心がけている	19.4%	29.0%	21.0%	3.2%	24.2%	3.2%	100.0%
②省エネルギー型の機器や設備を導入している	12.9%	21.0%	29.0%	8.1%	27.4%	1.6%	100.0%
③太陽エネルギー(光・熱)、風力、水力など自然エネルギーを利用している	1.6%	1.6%	22.6%	24.2%	45.2%	4.8%	100.0%
④事業所の建物において、省エネルギーに配慮した工夫(自然採光、通風、断熱化など)を行っている	8.1%	17.7%	22.6%	14.5%	35.5%	1.6%	100.0%
⑤省エネルギーに関する計画書などを作成し、取り組んでいる	0.0%	0.0%	25.8%	30.6%	38.7%	4.8%	100.0%
⑥雨水の利用や、一度使った水の再利用などを行っている	3.2%	6.5%	8.1%	27.4%	50.0%	4.8%	100.0%
⑦透水性舗装や浸透ますの設置など、雨水の地下浸透に努めている	1.6%	9.7%	17.7%	24.2%	43.5%	3.2%	100.0%
⑧壁面・屋上の緑化に努めている	3.2%	6.5%	12.9%	27.4%	48.4%	1.6%	100.0%

◆廃棄物について

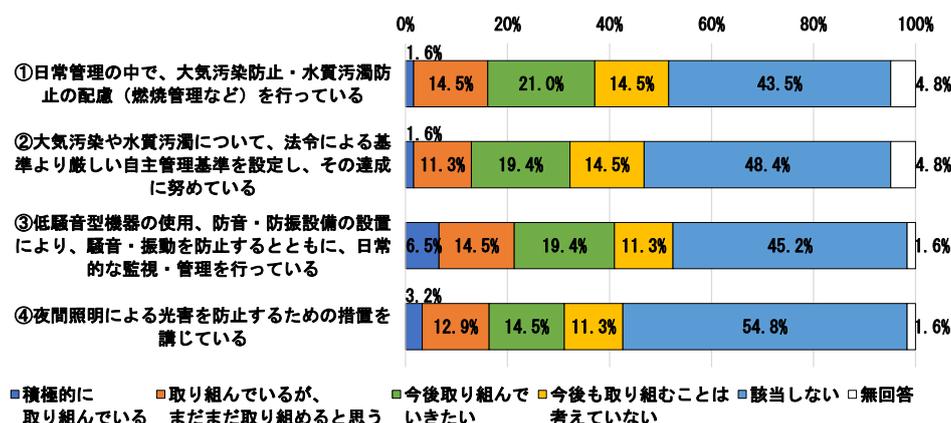
廃棄物について、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「③詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用に努めている」が67.8%と最も多く、次いで「①両面コピーや裏紙を使用している」が61.2%、「⑤包装材・梱包材の削減、再使用に取り組んでいる」が42.0%となっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①両面コピーや裏紙を使用している	27	11	9	4	11	0	62
②使い捨て製品（紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当など）の使用や購入を控えている	10	15	15	7	14	1	62
③詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用に努めている	22	20	6	2	11	1	62
④事業所から出る資源ごみのリサイクルルートを確保している	11	10	17	6	16	2	62
⑤包装材・梱包材の削減、再使用に取り組んでいる	12	14	15	3	17	1	62
⑥食べ残し、食品残渣などの有機物については、可能な限りコンポスト化（堆肥化）し、土壌に還元することにより利用している	5	3	13	13	26	2	62
⑦廃棄物の減量化に関する計画を作成し、減量化を進めている	5	8	13	13	19	4	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①両面コピーや裏紙を使用している	43.5%	17.7%	14.5%	6.5%	17.7%	0.0%	100.0%
②使い捨て製品（紙コップ、紙皿、使い捨て容器入りの弁当など）の使用や購入を控えている	16.1%	24.2%	24.2%	11.3%	22.6%	1.6%	100.0%
③詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品等の長期使用に努めている	35.5%	32.3%	9.7%	3.2%	17.7%	1.6%	100.0%
④事業所から出る資源ごみのリサイクルルートを確保している	17.7%	16.1%	27.4%	9.7%	25.8%	3.2%	100.0%
⑤包装材・梱包材の削減、再使用に取り組んでいる	19.4%	22.6%	24.2%	4.8%	27.4%	1.6%	100.0%
⑥食べ残し、食品残渣などの有機物については、可能な限りコンポスト化（堆肥化）し、土壌に還元することにより利用している	8.1%	4.8%	21.0%	21.0%	41.9%	3.2%	100.0%
⑦廃棄物の減量化に関する計画を作成し、減量化を進めている	8.1%	12.9%	21.0%	21.0%	30.6%	6.5%	100.0%

◆大気汚染・水質汚濁など公害防止について

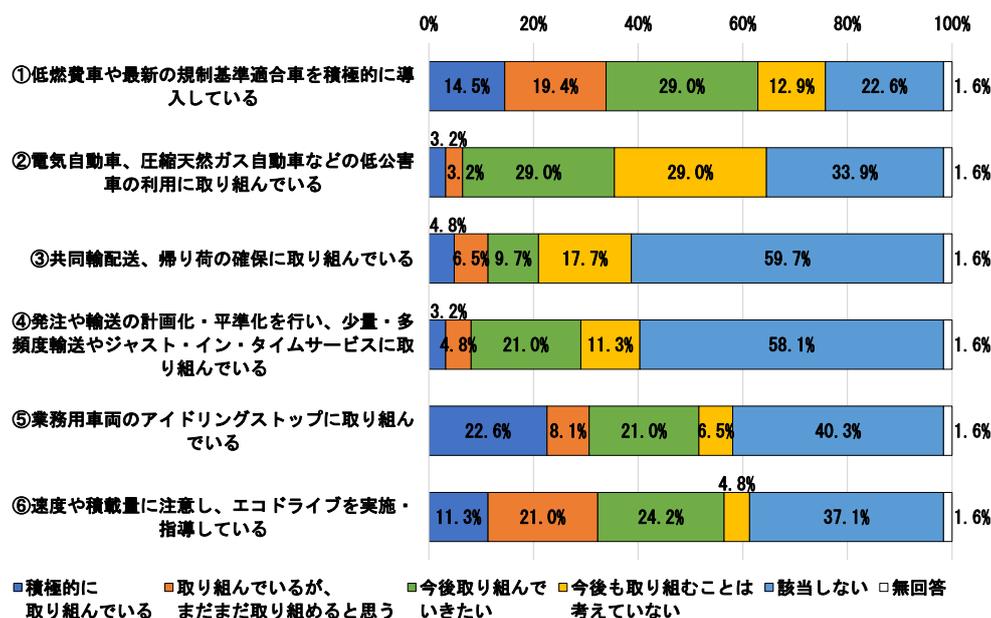
廃棄物について、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「③低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置により、騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視・管理を行っている」が21.0%と最も多く、次いで「①日常管理の中で、大気汚染防止・水質汚濁防止の配慮（燃焼管理など）を行っている」と「④夜間照明による光害を防止するための措置を講じている」がともに16.1%となっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①日常管理の中で、大気汚染防止・水質汚濁防止の配慮（燃焼管理など）を行っている	1	9	13	9	27	3	62
②大気汚染や水質汚濁について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている	1	7	12	9	30	3	62
③低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置により、騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視・管理を行っている	4	9	12	7	28	1	62
④夜間照明による光害を防止するための措置を講じている	2	8	9	7	34	1	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①日常管理の中で、大気汚染防止・水質汚濁防止の配慮（燃焼管理など）を行っている	1.6%	14.5%	21.0%	14.5%	43.5%	4.8%	100.0%
②大気汚染や水質汚濁について、法令による基準より厳しい自主管理基準を設定し、その達成に努めている	1.6%	11.3%	19.4%	14.5%	48.4%	4.8%	100.0%
③低騒音型機器の使用、防音・防振設備の設置により、騒音・振動を防止するとともに、日常的な監視・管理を行っている	6.5%	14.5%	19.4%	11.3%	45.2%	1.6%	98.4%
④夜間照明による光害を防止するための措置を講じている	3.2%	12.9%	14.5%	11.3%	54.8%	1.6%	98.4%

◆自動車の利用について

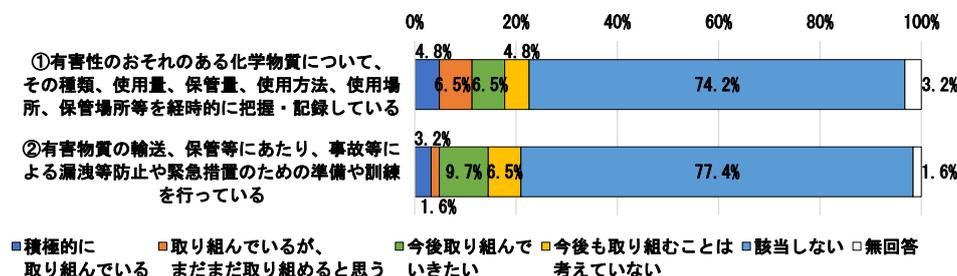
自動車の利用について、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「①低燃費車や最新の規制基準適合車を積極的に導入している」が33.9%と最も多く、次いで「⑥速度や積載量に注意し、エコドライブを実施・指導している」が32.3%、「業務用車両のアイドリングストップに取り組んでいる」が30.7%となっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①低燃費車や最新の規制基準適合車を積極的に導入している	9	12	18	8	14	1	62
②電気自動車、圧縮天然ガス自動車などの低公害車の利用に取り組んでいる	2	2	18	18	21	1	62
③共同輸配送、荷り荷の確保に取り組んでいる	3	4	6	11	37	1	62
④発注や輸送の計画化・平準化を行い、少量・多頻度輸送やジャスト・イン・タイムサービスに取り組んでいる	2	3	13	7	36	1	62
⑤業務用車両のアイドリングストップに取り組んでいる	14	5	13	4	25	1	62
⑥速度や積載量に注意し、エコドライブを実施・指導している	7	13	15	3	23	1	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①低燃費車や最新の規制基準適合車を積極的に導入している	14.5%	19.4%	29.0%	12.9%	22.6%	1.6%	100.0%
②電気自動車、圧縮天然ガス自動車などの低公害車の利用に取り組んでいる	3.2%	3.2%	29.0%	29.0%	33.9%	1.6%	100.0%
③共同輸配送、荷り荷の確保に取り組んでいる	4.8%	6.5%	9.7%	17.7%	59.7%	1.6%	100.0%
④発注や輸送の計画化・平準化を行い、少量・多頻度輸送やジャスト・イン・タイムサービスに取り組んでいる	3.2%	4.8%	21.0%	11.3%	58.1%	1.6%	100.0%
⑤業務用車両のアイドリングストップに取り組んでいる	22.6%	8.1%	21.0%	6.5%	40.3%	1.6%	100.0%
⑥速度や積載量に注意し、エコドライブを実施・指導している	11.3%	21.0%	24.2%	4.8%	37.1%	1.6%	100.0%

◆化学物質対策について

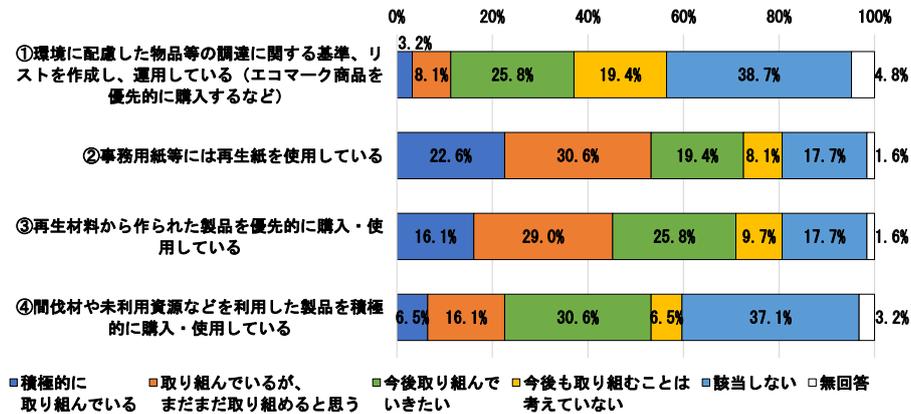
化学物質対策について、2つの項目とも70%以上が『該当しない』となっているが、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「①有害性のおそれのある化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握・記録している」が11.3%と多くなっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①有害性のおそれのある化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握・記録している	3	4	4	3	46	2	62
②有害物質の輸送、保管等にあたり、事故等による漏洩等防止や緊急措置のための準備や訓練を行っている	2	1	6	4	48	1	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後も取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①有害性のおそれのある化学物質について、その種類、使用量、保管量、使用方法、使用場所、保管場所等を経時的に把握・記録している	4.8%	6.5%	6.5%	4.8%	74.2%	3.2%	100.0%
②有害物質の輸送、保管等にあたり、事故等による漏洩等防止や緊急措置のための準備や訓練を行っている	3.2%	1.6%	9.7%	6.5%	77.4%	1.6%	100.0%

◆グリーン購入について

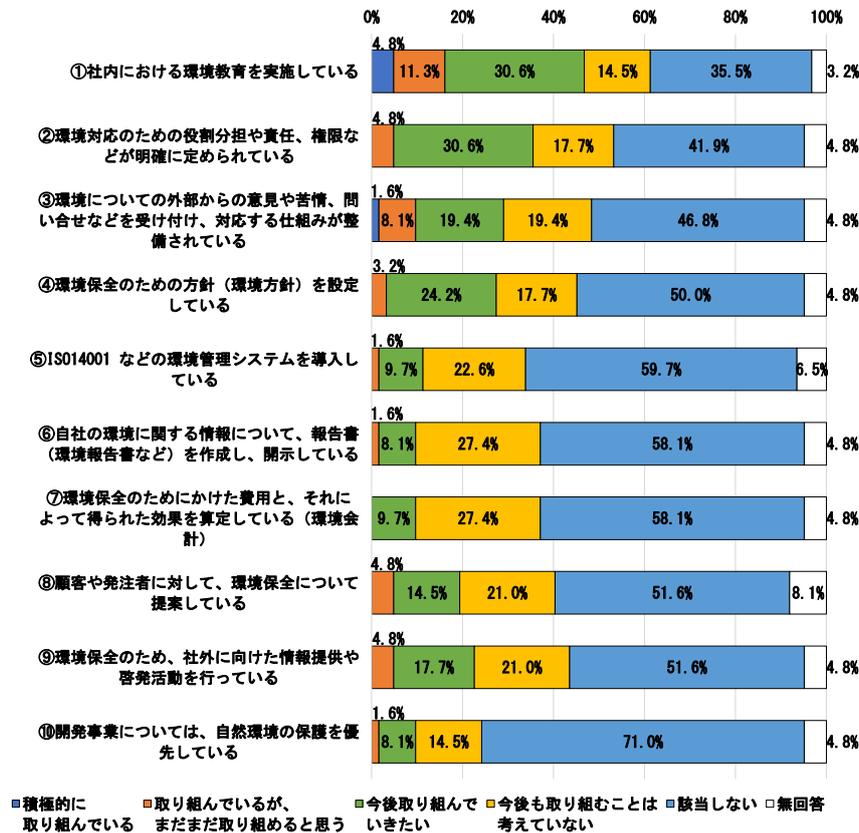
グリーン購入について、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「②事務用紙等には再生紙を使用している」が53.2%と最も多く、次いで「③再生材料から作られた製品を優先的に購入・使用している」が45.1%、「④間伐材や未利用資源などを利用した製品を積極的に購入・使用している」が22.6%となっている。



項目（件数）	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①環境に配慮した物品等の調達に関する基準、リストを作成し、運用している（エコマーク商品を優先的に購入するなど）	2	5	16	12	24	3	62
②事務用紙等には再生紙を使用している	14	19	12	5	11	1	62
③再生材料から作られた製品を優先的に購入・使用している	10	18	16	6	11	1	62
④間伐材や未利用資源などを利用した製品を積極的に購入・使用している	4	10	19	4	23	2	62
項目（構成比）	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①環境に配慮した物品等の調達に関する基準、リストを作成し、運用している（エコマーク商品を優先的に購入するなど）	3.2%	8.1%	25.8%	19.4%	38.7%	4.8%	100.0%
②事務用紙等には再生紙を使用している	22.6%	30.6%	19.4%	8.1%	17.7%	1.6%	100.0%
③再生材料から作られた製品を優先的に購入・使用している	16.1%	29.0%	25.8%	9.7%	17.7%	1.6%	100.0%
④間伐材や未利用資源などを利用した製品を積極的に購入・使用している	6.5%	16.1%	30.6%	6.5%	37.1%	3.2%	100.0%

◆環境保全のための体制・情報提供などについて

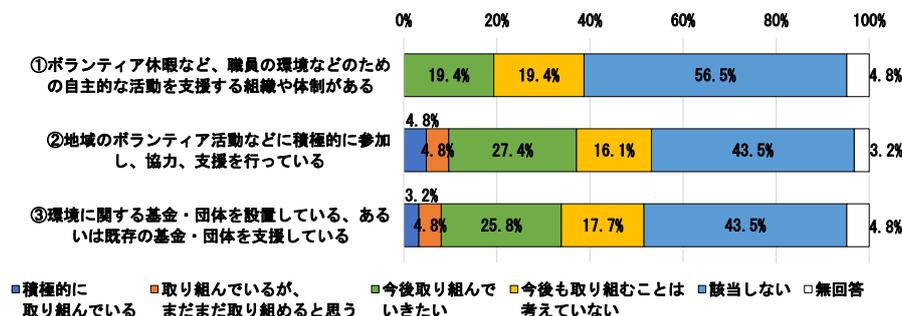
環境保全のための体制・情報提供などについて、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「①社内における環境教育を実施している」が16.1%と最も多く、次いで「③環境についての外部からの意見や苦情、問い合わせなどを受け付け、対応する仕組みが整備されている」が9.7%となっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると 思う	今後取り組んで いきたい	今後取り組むことは 考えていない	該当しない	無回答	合計
①社内における環境教育を実施している	3	7	19	9	22	2	62
②環境対応のための役割分担や責任、権限などが明確に定められている	0	3	19	11	26	3	62
③環境についての外部からの意見や苦情、問い合わせなどを受け付け、対応する仕組みが整備されている	1	5	12	12	29	3	62
④環境保全のための方針（環境方針）を設定している	0	2	15	11	31	3	62
⑤ISO14001などの環境管理システムを導入している	0	1	6	14	37	4	62
⑥自社の環境に関する情報について、報告書（環境報告書など）を作成し、開示している	0	1	5	17	36	3	62
⑦環境保全のためにかけた費用と、それによって得られた効果を算定している（環境会計）	0	0	6	17	36	3	62
⑧顧客や発注者に対して、環境保全について提案している	0	3	9	13	32	5	62
⑨環境保全のため、社外に向けた情報提供や啓発活動を行っている	0	3	11	13	32	3	62
⑩開発事業については、自然環境の保護を優先している	0	1	5	9	44	3	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると 思う	今後取り組んで いきたい	今後取り組むことは 考えていない	該当しない	無回答	合計
①社内における環境教育を実施している	4.8%	11.3%	30.6%	14.5%	35.5%	3.2%	100.0%
②環境対応のための役割分担や責任、権限などが明確に定められている	0.0%	4.8%	30.6%	17.7%	41.9%	4.8%	100.0%
③環境についての外部からの意見や苦情、問い合わせなどを受け付け、対応する仕組みが整備されている	1.6%	8.1%	19.4%	19.4%	46.8%	4.8%	100.0%
④環境保全のための方針（環境方針）を設定している	0.0%	3.2%	24.2%	17.7%	50.0%	4.8%	100.0%
⑤ISO14001などの環境管理システムを導入している	0.0%	1.6%	9.7%	22.6%	59.7%	6.5%	100.0%
⑥自社の環境に関する情報について、報告書（環境報告書など）を作成し、開示している	0.0%	1.6%	8.1%	27.4%	58.1%	4.8%	100.0%
⑦環境保全のためにかけた費用と、それによって得られた効果を算定している（環境会計）	0.0%	0.0%	9.7%	27.4%	58.1%	4.8%	100.0%
⑧顧客や発注者に対して、環境保全について提案している	0.0%	4.8%	14.5%	21.0%	51.6%	8.1%	100.0%
⑨環境保全のため、社外に向けた情報提供や啓発活動を行っている	0.0%	4.8%	17.7%	21.0%	51.6%	4.8%	100.0%
⑩開発事業については、自然環境の保護を優先している	0.0%	1.6%	8.1%	14.5%	71.0%	4.8%	100.0%

◆社外での環境保全活動の推進について

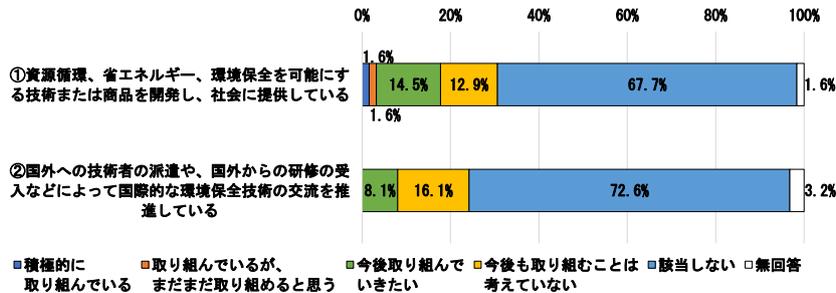
社外での環境保全活動の推進について、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「②地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力、支援を行っている」が9.6%と最も多く、次いで「環境に関する基金、団体を設置している。あるいは既存の基金・団体を支援している」が8.0%となっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①ボランティア休暇など、職員の環境などのための自主的な活動を支援する組織や体制がある	0	0	12	12	35	3	62
②地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力、支援を行っている	3	3	17	10	27	2	62
③環境に関する基金・団体を設置している、あるいは既存の基金・団体を支援している	2	3	16	11	27	3	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①ボランティア休暇など、職員の環境などのための自主的な活動を支援する組織や体制がある	0.0%	0.0%	19.4%	19.4%	56.5%	4.8%	100.0%
②地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力、支援を行っている	4.8%	4.8%	27.4%	16.1%	43.5%	3.2%	100.0%
③環境に関する基金・団体を設置している、あるいは既存の基金・団体を支援している	3.2%	4.8%	25.8%	17.7%	43.5%	4.8%	100.0%

◆エコビジネス、技術開発について

エコビジネス、技術開発について、2つの項目において『該当しない』が最も多く、70%近くを占めているが、「積極的に取り組んでいる」と「取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う」を合わせた『取り組んでいる』では、「資源循環、省エネルギー、環境保全を可能にする技術または商品を開発し、社会に提供している」が3.2%と多くなっている。



項目 (件数)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①資源循環、省エネルギー、環境保全を可能にする技術または商品を開発し、社会に提供している	1	1	9	8	42	1	62
②国外への技術者の派遣や、国外からの研修の受入などによって国際的な環境保全技術の交流を推進している	0	0	5	10	45	2	62
項目 (構成比)	積極的に取り組んでいる	取り組んでいるが、まだまだ取り組めると思う	今後取り組んでいきたい	今後取り組むことは考えていない	該当しない	無回答	合計
①資源循環、省エネルギー、環境保全を可能にする技術または商品を開発し、社会に提供している	1.6%	1.6%	14.5%	12.9%	67.7%	1.6%	100.0%
②国外への技術者の派遣や、国外からの研修の受入などによって国際的な環境保全技術の交流を推進している	0.0%	0.0%	8.1%	16.1%	72.6%	3.2%	100.0%

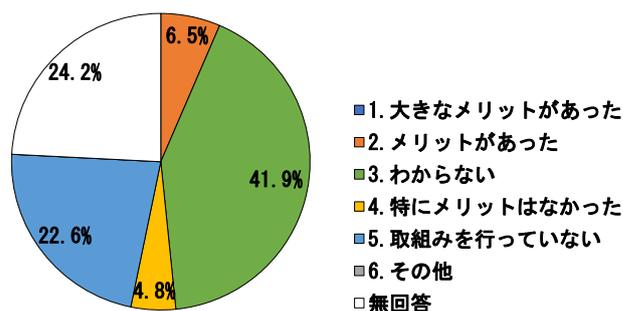
問 5. 問 4 のほか、環境に配慮した取組みを行っていましたが、お書きください。

<記述内容>

- ごみの分別。
- レジ袋を使用していた方には、リサイクルバックを買入れして頂き何度も使用して頂いております。
- ①ポリ袋廃止にともない来所（来局）する方々1人に1個エコバックを無償提供し、次回来局時にもエコバック持参をお願いし実施している。
- ②なるべく公共交通を利用することを職員にすすめている。可能な限り自動車通勤を避けるようにすすめている（徒歩や自転車）。

問 6. 問 4 の項目などの「環境保全への取組み」を行ったことにより、貴事業所にメリットはありましたか。
次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

「環境保全への取組みを行ってことによるメリットについて、「わからない」が 41.9%と最も多く、次いで「取組みを行っていない」が 22.6%、「メリットがあった」が 6.5%となっている。



項目	件数	構成比
1. 大きなメリットがあった	0	0.0%
2. メリットがあった	4	6.5%
3. わからない	26	41.9%
4. 特にメリットはなかった	3	4.8%
5. 取組みを行っていない	14	22.6%
6. その他	0	0.0%
無回答	15	24.2%
合計	62	100.0%

<その他の記述内容>

(なし)

問7. 問6において、「1. 大きなメリットがあった」、「2. メリットがあった」に○をされた方にお伺いします。それは、どのようなメリットでしたか。
次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

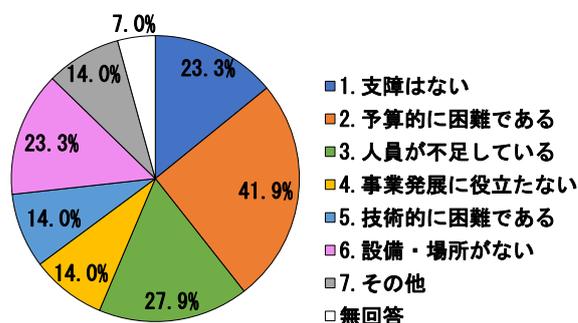
問6で「1. 大きなメリットがあった」、「2. メリットがあった」と回答した方で、どのようなメリットがあったかという項目では、回答者4件のうち、すべてが「5. コストの削減につながった」と回答している。

項目	件数
1. 地域的・社会的な貢献ができた	0
2. 売上向上・生産性向上につながった	0
3. 事業所のイメージアップや宣伝につながった	1
4. 新しい事業の展開や商談が成立した	0
5. コストの削減につながった	4
6. 事業所内の活性化につながった	0
7. 地域住民との交流の機会が増えた、または交流が深まった	0
8. その他	0
無回答	0
回答者数	4

<その他の記述内容>
(なし)

問8. 貴事業所が環境に配慮した取組みを実行していくうえで、支障はありますか。支障となる原因としてあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

環境に配慮した取組みを実行していくうえで、支障となる原因についての項目では、「2. 予算的に困難である」が41.9%と最も多く、次いで「3. 人員が不足している」が27.9%、「1. 支障はない」と「6. 設備・場所がない」がともに23.3%となっている。



項目	件数	構成比
1. 支障はない	10	23.3%
2. 予算的に困難である	18	41.9%
3. 人員が不足している	12	27.9%
4. 事業発展に役立たない	6	14.0%
5. 技術的に困難である	6	14.0%
6. 設備・場所がない	10	23.3%
7. その他	6	14.0%
無回答	3	7.0%
回答者数	43	—

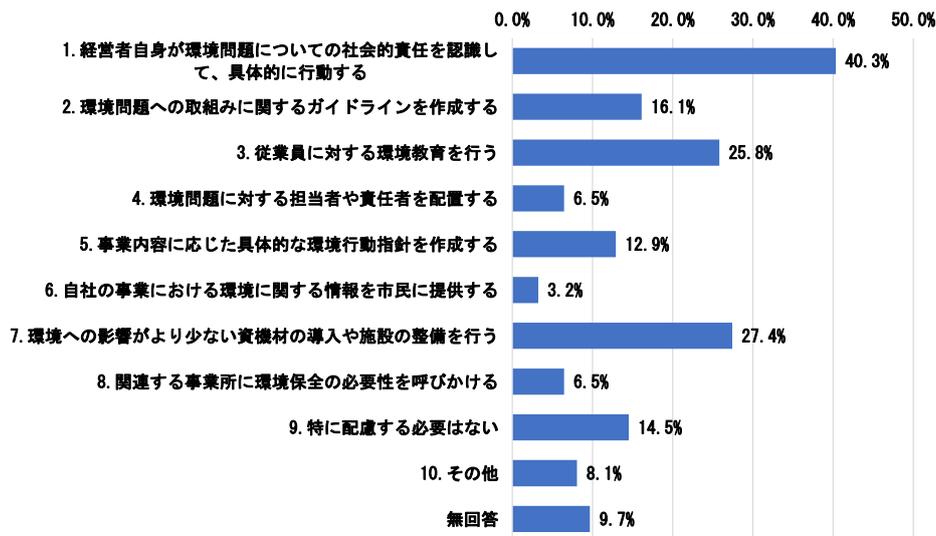
<その他の記述内容>

- 個人飲食業で染まない。
- 人員が分散しており、統一的取組ができない。
- 取組みを数値化するのがむずかしい。
- 個人事業でもうすぐ廃業予定。今後も何も無い。
- お金を払って頂く事により、お客様になって頂かないとむり？
- そもそも環境に負荷をかける設備などが無い、一人事務所なので。

(4) 今後、環境保全を進めていく上で配慮することについて

問9. 貴事業所では、今後どのようなことに配慮して環境保全を進めていくことが望ましいとお考えですか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

今後、環境保全を進めていく中で配慮すべきと考える項目では、「1. 経営者自身が環境問題についての社会的責任を認識して、具体的に行動する」が40.3%と最も多く、次いで「7. 環境への影響がより少ない資機材の導入や施設の整備を行う」が27.4%、「3. 従業員に対する環境教育を行う」が25.8%となっている。



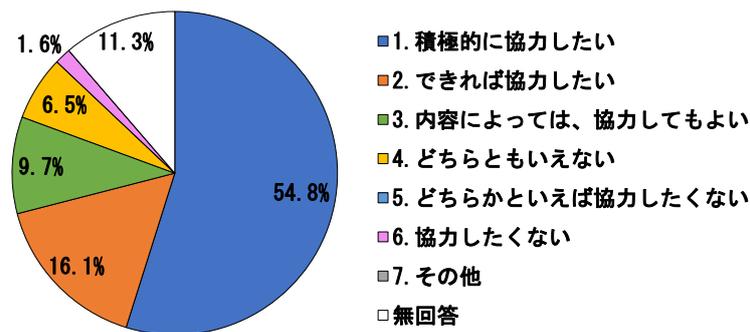
項目	件数	構成比
1. 経営者自身が環境問題についての社会的責任を認識して、具体的に行動する	25	40.3%
2. 環境問題への取組みに関するガイドラインを作成する	10	16.1%
3. 従業員に対する環境教育を行う	16	25.8%
4. 環境問題に対する担当者や責任者を配置する	4	6.5%
5. 事業内容に応じた具体的な環境行動指針を作成する	8	12.9%
6. 自社の事業における環境に関する情報を市民に提供する	2	3.2%
7. 環境への影響がより少ない資機材の導入や施設の整備を行う	17	27.4%
8. 関連する事業所に環境保全の必要性を呼びかける	4	6.5%
9. 特に配慮する必要はない	9	14.5%
10. その他	5	8.1%
無回答	6	9.7%
回答者数	62	—
回答数合計	106	—

<その他の記述内容>

- 食べ残しを少なくするように工夫する。
- 産業廃棄物の処理を徹底している。
- 仕事に使う材料はつめ替を考えて実行しております。

問 10. 富士見市のよりよい環境づくりのための施策への協力について、どのようにお考えですか。次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

富士見市の環境づくりの施策への協力について、「1. 積極的に協力したい」が54.8%と最も多く、次いで「できれば協力したい」が16.1%、「内容によっては、協力してもよい」が9.7%となっている。



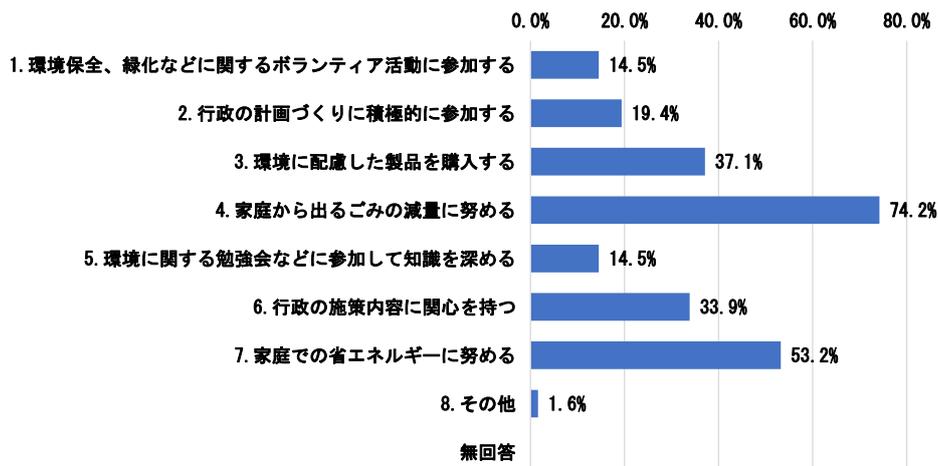
項目	件数	構成比
1. 積極的に協力したい	34	54.8%
2. できれば協力したい	10	16.1%
3. 内容によっては、協力してもよい	6	9.7%
4. どちらともいえない	4	6.5%
5. どちらかといえば協力したくない	0	0.0%
6. 協力したくない	1	1.6%
7. その他	0	0.0%
無回答	7	11.3%
合計	62	100.0%

(5) 環境施策について

問 11. 環境をよりよくしていくために、市民・事業者・行政それぞれが、今後行った方がよいと思うことは何ですか。重要と思われるものをそれぞれ3つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。

【市民が行った方がよいこと】(1~8のうち3つまで選んでください)

市民が行った方がよいことでは、「4. 家庭から出るごみの減量に努める」が74.2%と最も多く、「7. 家庭での省エネルギーに努める」が53.2%、「3. 環境に配慮した製品を購入する」が37.1%となっている。



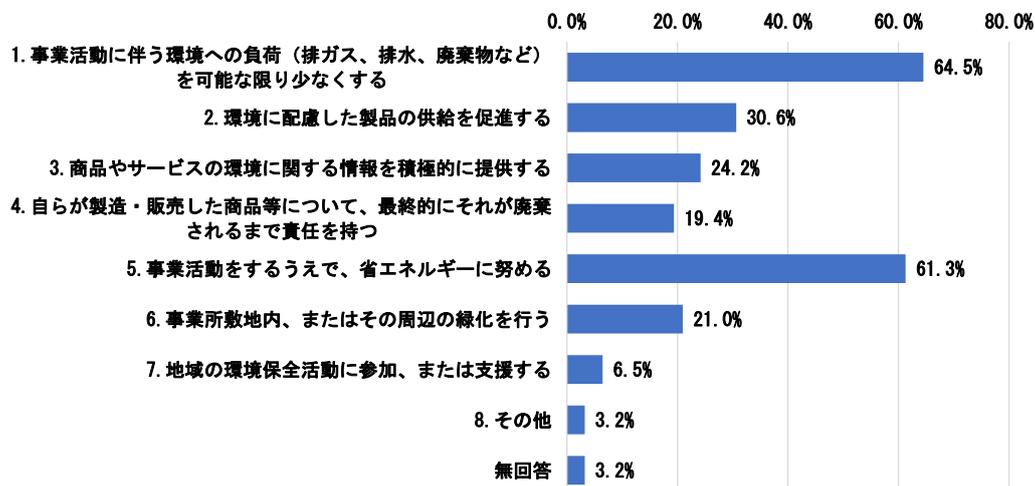
項目	件数	構成比
1. 環境保全、緑化などに関するボランティア活動に参加する	9	14.5%
2. 行政の計画づくりに積極的に参加する	12	19.4%
3. 環境に配慮した製品を購入する	23	37.1%
4. 家庭から出るごみの減量に努める	46	74.2%
5. 環境に関する勉強会などに参加して知識を深める	9	14.5%
6. 行政の施策内容に関心を持つ	21	33.9%
7. 家庭での省エネルギーに努める	33	53.2%
8. その他	1	1.6%
無回答	0	0.0%
回答者数	62	—
回答数合計	154	—

<その他の記述内容>

(なし)

【事業者が行った方がよいこと】(1~8のうち3つまで選んでください)

事業者が行った方がよいことでは、「1. 事業活動に伴う環境への負荷（排ガス、排水、廃棄物など）を可能な限り少なくする」が64.5%と最も多く、「5. 事業活動をするうえで、省エネルギーに努める」が61.3%、「2. 環境に配慮した製品の供給を促進する」が30.6%となっている。



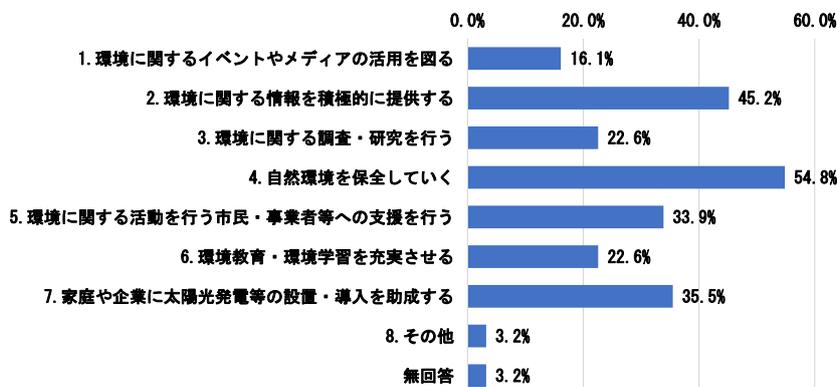
項目	件数	構成比
1. 事業活動に伴う環境への負荷（排ガス、排水、廃棄物など）を可能な限り少なくする	40	64.5%
2. 環境に配慮した製品の供給を促進する	19	30.6%
3. 商品やサービスの環境に関する情報を積極的に提供する	15	24.2%
4. 自らが製造・販売した商品等について、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ	12	19.4%
5. 事業活動をするうえで、省エネルギーに努める	38	61.3%
6. 事業所敷地内、またはその周辺の緑化を行う	13	21.0%
7. 地域の環境保全活動に参加、または支援する	4	6.5%
8. その他	2	3.2%
無回答	2	3.2%
回答者数	62	—
回答数合計	145	—

<その他の記述内容>

(なし)

【行政が行った方がよいこと】（1～8のうち3つまで選んでください）

行政が行った方がよいことでは、「4. 自然環境を保全していく」が 54.8%と最も多く、「2. 環境に関する情報を積極的に提供する」が 45.2%、「7. 家庭や企業に太陽光発電等の設置・導入を助成する」が 35.5%となっている。



項目	件数	構成比
1. 環境に関するイベントやメディアの活用を図る	10	16.1%
2. 環境に関する情報を積極的に提供する	28	45.2%
3. 環境に関する調査・研究を行う	14	22.6%
4. 自然環境を保全していく	34	54.8%
5. 環境に関する活動を行う市民・事業者等への支援を行う	21	33.9%
6. 環境教育・環境学習を充実させる	14	22.6%
7. 家庭や企業に太陽光発電等の設置・導入を助成する	22	35.5%
8. その他	2	3.2%
無回答	2	3.2%
回答者数	62	—
回答数合計	147	—

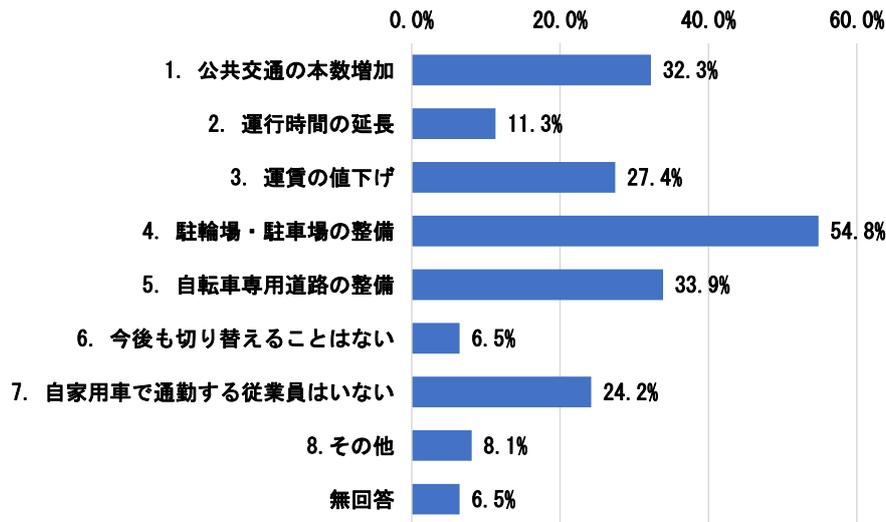
<その他の記述内容>

- 公園（遊具なし）をふやす。

(6) 地球温暖化防止に向けた取組みについて

問 12. 自転車や公共交通機関を利用することで、移動に伴う CO₂（二酸化炭素）の排出を削減することができます。通勤を自家用車から自転車や公共交通機関等へ切り替えることを可能にする、または容易にする条件は、どのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つまで選び、その番号に○をつけてください。

移動に伴う CO₂（二酸化炭素）の排出を削減するために通勤手段を切り替えることについて、「4. 駐輪場・駐車場の整備」が 54.8%と最も多く、次いで「5. 自転車専用道路の整備」が 33.9%、「1. 公共交通の本数増加」が 32.3%となっている。



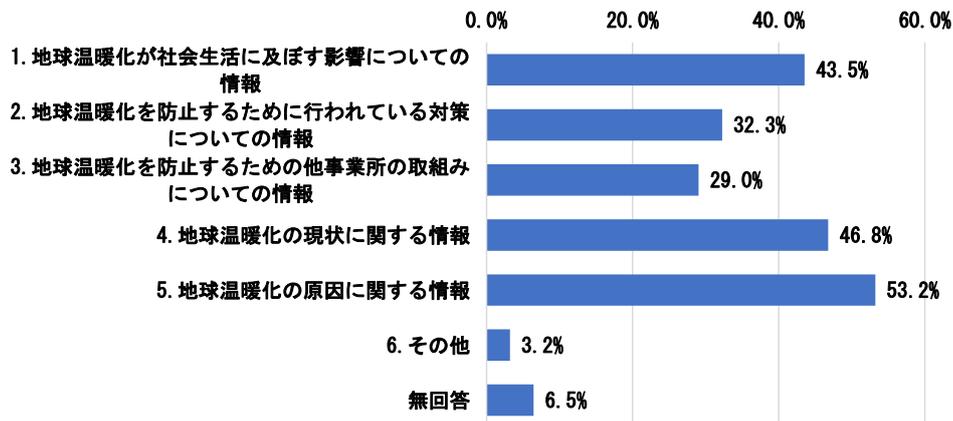
項目	件数	構成比
1. 公共交通の本数増加	20	32.3%
2. 運行時間の延長	7	11.3%
3. 運賃の値下げ	17	27.4%
4. 駐輪場・駐車場の整備	34	54.8%
5. 自転車専用道路の整備	21	33.9%
6. 今後も切り替えることはない	4	6.5%
7. 自家用車で通勤する従業員はいない	15	24.2%
8. その他	5	8.1%
無回答	4	6.5%
回答者数	62	—
回答数合計	127	—

<その他の記述内容>

- 荷物があるのでむり。
- 立体交差

問 13. 貴事業所として地球温暖化防止を促進するために必要な情報は何か。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

地球温暖化防止を促進するために必要な情報について、「5. 地球温暖化の原因に関する情報」が 53.2%と最も多く、次いで「4. 地球温暖化の現状に関する情報」が 46.8%、「1. 地球温暖化が社会生活に及ぼす影響についての情報」が 43.5%となっている。



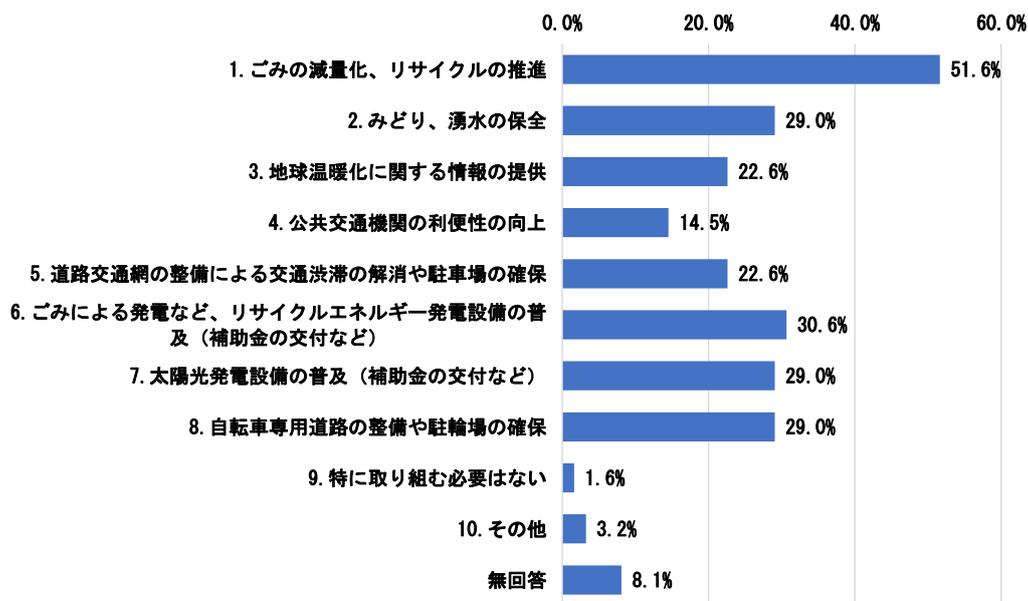
項目	件数	構成比
1. 地球温暖化が社会生活に及ぼす影響についての情報	27	43.5%
2. 地球温暖化を防止するために行われている対策についての情報	20	32.3%
3. 地球温暖化を防止するための他事業所の取組みについての情報	18	29.0%
4. 地球温暖化の現状に関する情報	29	46.8%
5. 地球温暖化の原因に関する情報	33	53.2%
6. その他	2	3.2%
無回答	4	6.5%
回答者数	62	—
回答数合計	133	—

<その他の記述内容>

- 事業規模が小さすぎるので情報をもらってもできないことがない。
- わからない。

問 14. 貴事業所として、地球温暖化防止に向けて行政が優先的に取り組む事項について望むことはどのようなことですか。次の中からあてはまるものを3つまで選び、その番号に○をつけてください。

行政に望む、地球温暖化防止のために優先して取り組む事項について、「1. ごみの減量化、リサイクルの推進」が 51.6%と最も多く、次いで「6. ごみによる発電など、リサイクルエネルギー発電設備の普及（補助金の交付など）」が 30.6%、「2. みどり、湧水の保全」、「7. 太陽光発電設備の普及（補助金の交付など）」並びに「8. 自転車専用道路の整備や駐輪場の確保」が 29.0%となっている。



項目	件数	構成比
1. ごみの減量化、リサイクルの推進	32	51.6%
2. みどり、湧水の保全	18	29.0%
3. 地球温暖化に関する情報の提供	14	22.6%
4. 公共交通機関の利便性の向上	9	14.5%
5. 道路交通網の整備による交通渋滞の解消や駐車場の確保	14	22.6%
6. ごみによる発電など、リサイクルエネルギー発電設備の普及（補助金の交付など）	19	30.6%
7. 太陽光発電設備の普及（補助金の交付など）	18	29.0%
8. 自転車専用道路の整備や駐輪場の確保	18	29.0%
9. 特に取り組む必要はない	1	1.6%
10. その他	2	3.2%
無回答	5	8.1%
回答者数	62	—
回答数合計	150	—

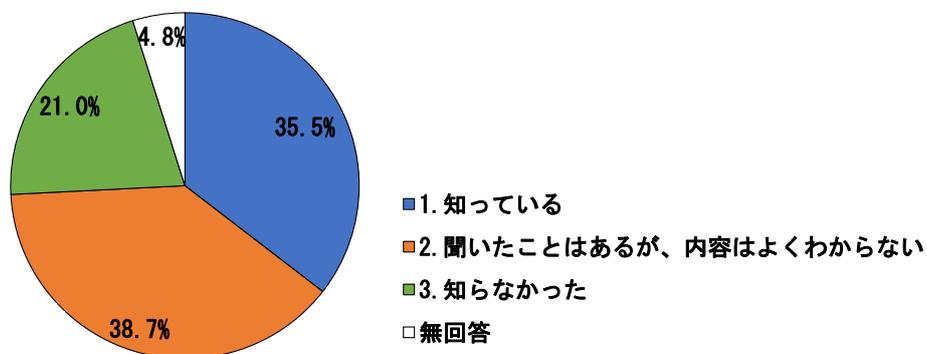
<その他の記述内容>

- 立体交差
- わからない。

(7) SDGsについて

問 15. SDGs について、次の中からあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

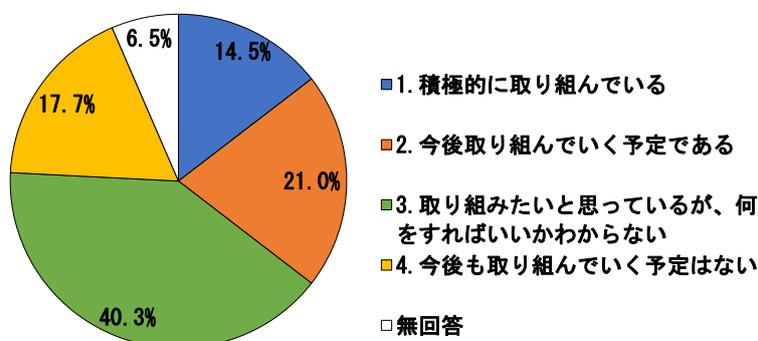
SDGs の認知度について、「2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない」が 38.7%と最も多くなっている。



項目	件数	構成比
1. 知っている	22	35.5%
2. 聞いたことはあるが、内容はよくわからない	24	38.7%
3. 知らなかった	13	21.0%
無回答	3	4.8%
合計	62	100.0%

問 16. SDGs の取組み意識についてお伺いします。あてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

SDGs の取組み意識について、「3. 取り組みたいと思っているが、何をすればいいかわからない」が 40.3%と最も多く、次いで「今後取り組んでいく予定である」が 21.0%、「今後も取り組んでいく予定はない」が 17.7%となっている。



項目	件数	構成比
1. 積極的に取り組んでいる	9	14.5%
2. 今後取り組んでいく予定である	13	21.0%
3. 取り組みたいと思っているが、何をすればいいかわからない	25	40.3%
4. 今後も取り組んでいく予定はない	11	17.7%
無回答	4	6.5%
合計	62	100.0%

◆このアンケートや今後策定する富士見市の環境基本計画、その他富士見市の環境に関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

- 誰もが環境には興味はあるけど、あれもこれも... となるとめんどくさいと思う人もいると思うから、「〇〇月間」というように、今月は「プラごみと生ごみをしっかり分別しよう!」とか、今月は「節水がんばろう!」みたいな、みんながいつでも目について、気づけるように宣伝してみるなど。
- ・電気自動車(水素)充電スポットの充実、補助金導入。
・公園の整備、緑地の整備。
- 個人事業主としてデザイン事業を行っているため、該当しないと感じる設問もありましたが、改めて何ができるのかを考えさせられました。こういったアンケートもオンライン上で実施できると良いかと思いました。
- 環境保全なくしては経済成長はありえないと感じています。既存のインフラにたよらず電気、水道は市内でまかなえるシステム構築は必須だと思います。災害にも強い環境にも負荷をかけない町が出来たら素晴らしいですね。そんな富士見市に住みたいです。
- 鶴瀬駅西口の区画整理を早く終わらせて欲しい。いつまでも交番後ろの道路を迂回して関沢方面に行くのに道路が途中までできていて行き止まりになっているので開通をお願いします。
- ・SNS 発信 (ペーパーレス)
・ニューノーマルな環境計画を発信してほしい。
- 市民プール隣の焼却場からの温水を導入し年間を通したプールを造り、小中高、市民の健康を改良したら医療費が削減出来ると思います。ご検討して下さい。
- 大変お世話になりましたが、令和3年7月31日に営業を終了し閉店しました。
- 富士見市はゴミの分別の意識が高く埼玉県でもトップクラスと聞いています。富士見環境センターでの可燃ゴミの処理に出る熱エネルギーを温水プールを造って活用してはどうでしょうか。冬場のトレーニングやリハビリ用に活用すれば市民も喜ぶと思います。
- アンケート結果の公表及びこの結果が計画策定にどのように役立ったかを公表して下さい。市報、市のホームページなどで。

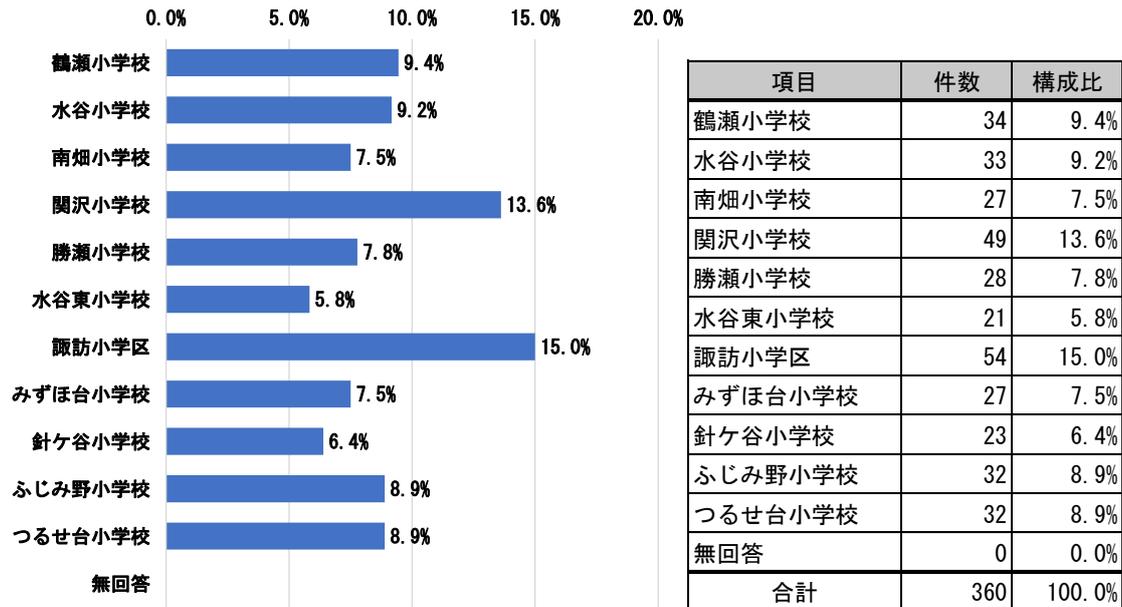
2.4. 児童を対象としたアンケート集計結果

(1) 小学5年生の回答

問1. あなたが通う学校と、あなたの性別(せいべつ)について、あてはまる番号に○をつけてください。

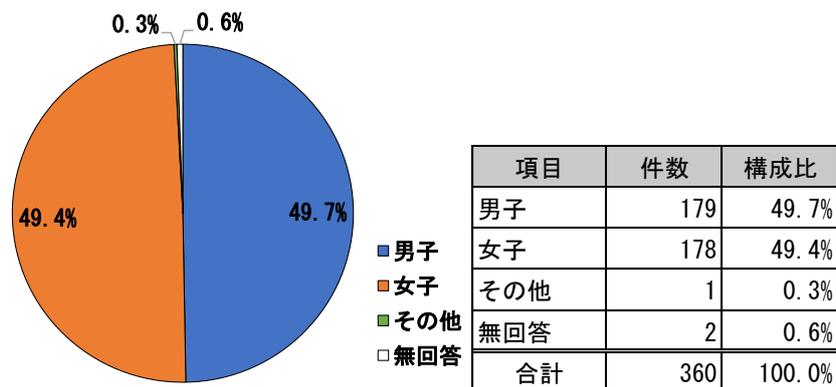
◆学校名

学校名では、「諏訪小学校」が15.0%と最も多く、次いで「関沢小学校」が13.6%、「鶴瀬小学校」が9.4%となっている。



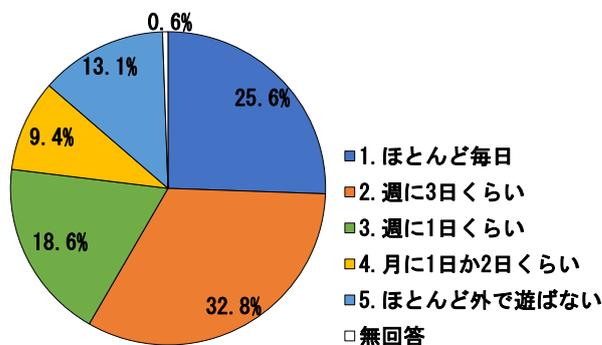
◆性別

性別では、「男子」が49.7%、「女子」が49.4%、「その他」が0.3%となっている。



問2. あなたはふだん、放課後や休みの日に外で遊ぶことがどれくらいありますか。一番近いものに○をつけてください。

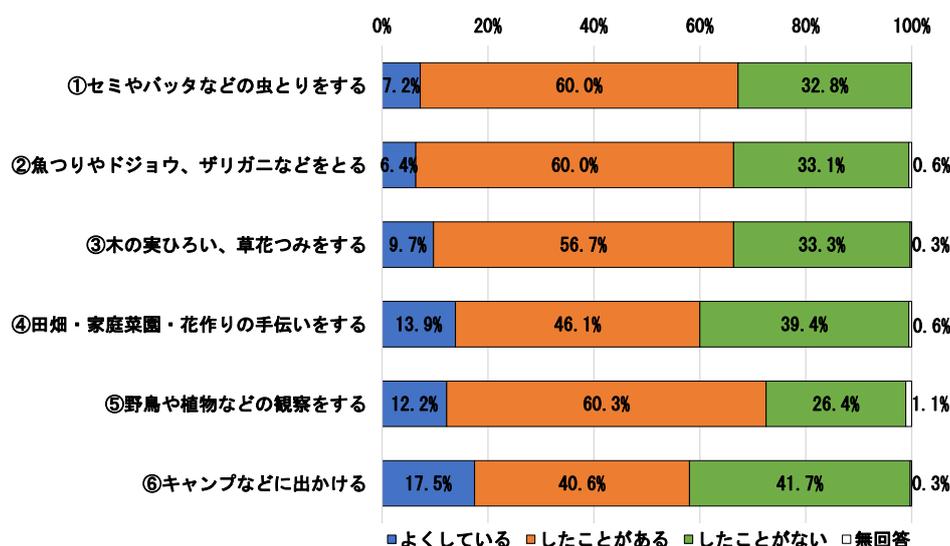
放課後や休日に外で遊ぶ機会があるかについて、「2. 週に3日くらい」が32.8%と最も多く、次いで「1. ほとんど毎日」が25.6%、「3. 週に1日くらい」が18.6%となっている。



項目	件数	構成比
1. ほとんど毎日	92	25.6%
2. 週に3日くらい	118	32.8%
3. 週に1日くらい	67	18.6%
4. 月に1日か2日くらい	34	9.4%
5. ほとんど外で遊ばない	47	13.1%
無回答	2	0.6%
合計	360	100.0%

問3. あなたは遊びのなかで植物や生きものにふれていますか。それぞれあてはまる番号に○をつけてください。

遊びのなかで植物や生き物にふれる機会があるかについて、「よくしている」と「したことがある」を合わせた『したことがある』では、「⑤野鳥や植物などの観察をする」が72.5%と最も多く、次いで「①セミやバッタなどの虫とりをする」が67.2%、「②魚つりやドジョウ、ザリガニなどをとる」と「③木の実ひろい、草花つみをする」がともに66.4%となっている。一方、『したことがない』では、「⑥キャンプなどに出かける」が41.7%と最も多く、次いで「④田畑・家庭菜園・花作りの手伝いをする」が39.4%、「③木の実ひろい、草花つみをする」が33.3%となっている。

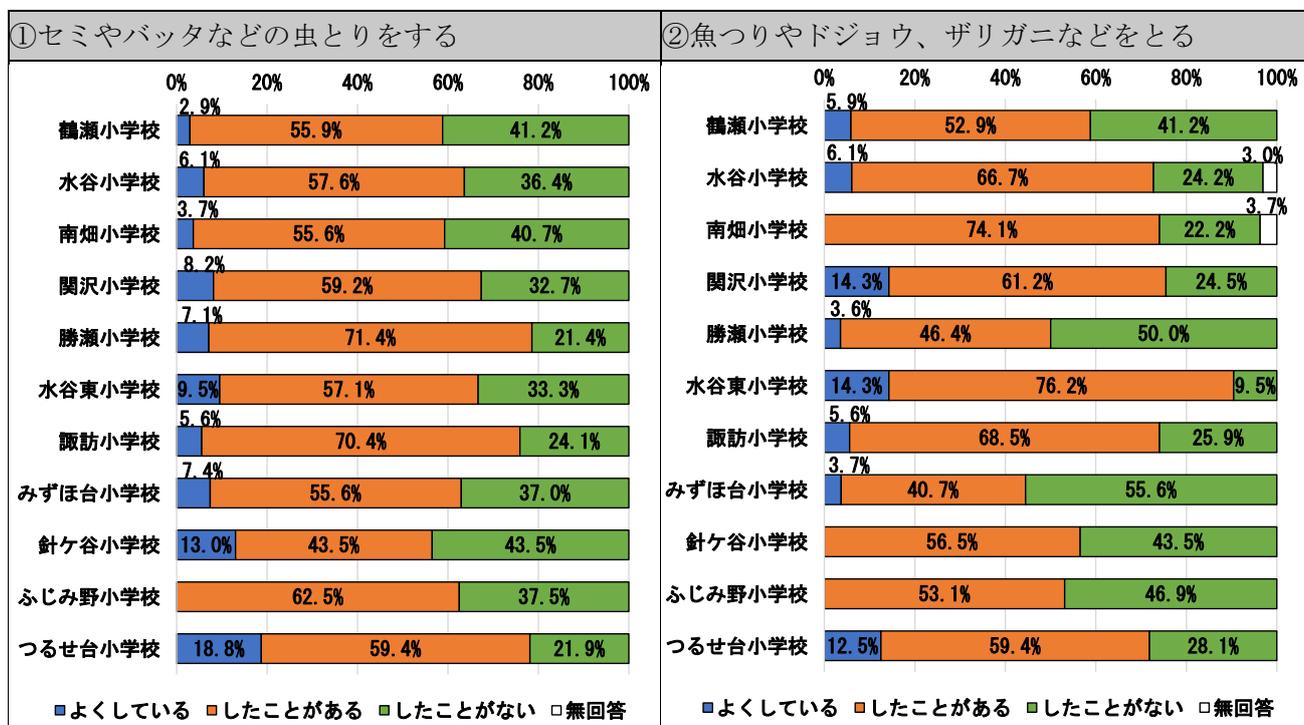


項目	よくしている	したことがある	したことがない	無回答	合計
①セミやバッタなどの虫とりをする	26	216	118	0	360
②魚つりやドジョウ、ザリガニなどをとる	23	216	119	2	360
③木の実ひろい、草花つみをする	35	204	120	1	360
④田畑・家庭菜園・花作りの手伝いをする	50	166	142	2	360
⑤野鳥や植物などの観察をする	44	217	95	4	360
⑥キャンプなどに出かける	63	146	150	1	360
項目	よくしている	したことがある	したことがない	無回答	合計
①セミやバッタなどの虫とりをする	7.2%	60.0%	32.8%	0.0%	100.0%
②魚つりやドジョウ、ザリガニなどをとる	6.4%	60.0%	33.1%	0.6%	100.0%
③木の実ひろい、草花つみをする	9.7%	56.7%	33.3%	0.3%	100.0%
④田畑・家庭菜園・花作りの手伝いをする	13.9%	46.1%	39.4%	0.6%	100.0%
⑤野鳥や植物などの観察をする	12.2%	60.3%	26.4%	1.1%	100.0%
⑥キャンプなどに出かける	17.5%	40.6%	41.7%	0.3%	100.0%

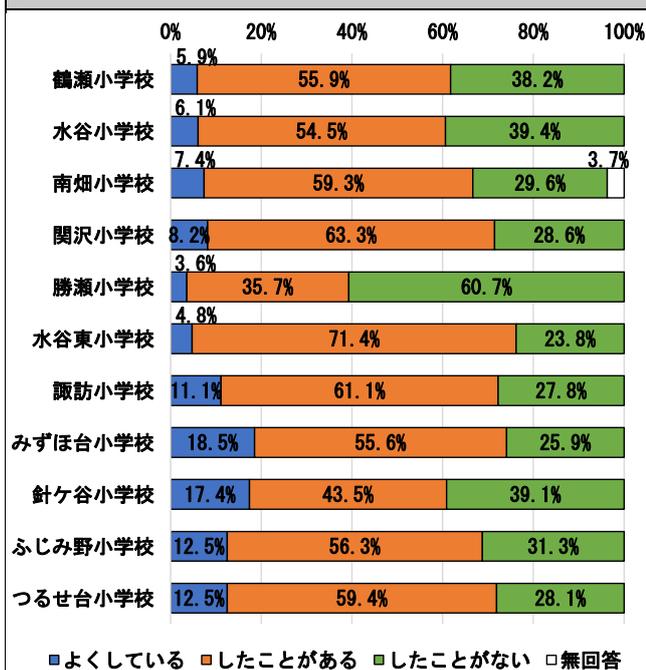
《学校ごとの結果》

学校ごとに、『したことがない』と回答した項目をみると、その割合が5割以上を占めているのは、南畑小学校では「④田畑・家庭菜園・花づくりの手伝いをする」、勝瀬小学校では「②魚つりやドジョウ、ザリガニなどをとる」、「③木の実ひろい、草花つみをする」及び「④田畑・家庭菜園・花づくりの手伝いをする」、みずほ台小学校では「②魚つりやドジョウ、ザリガニなどをとる」及び「⑥キャンプなどに出かける」であった。

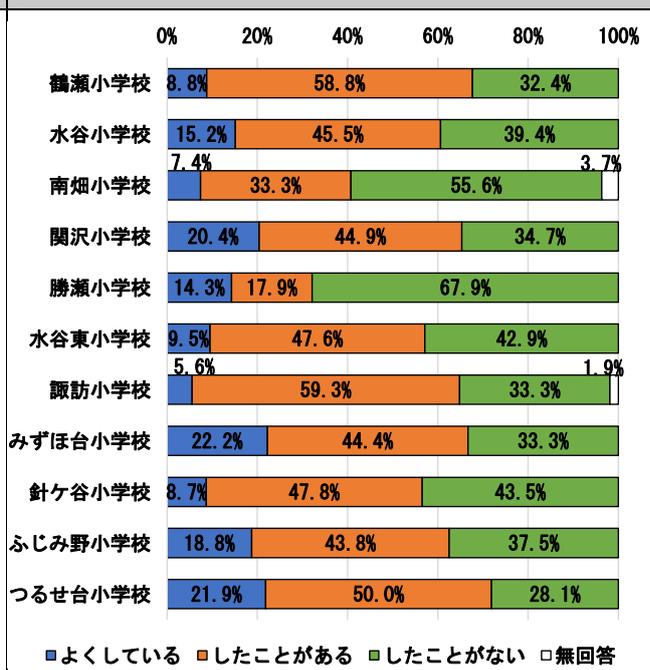
総合的にみると、学校別に比較したところ、関沢小学校及びつるせ台小学校では、『よくしている』と回答した項目が多い結果となった。一方で、鶴瀬小学校及び針ヶ谷小学校では、『したことがない』と回答した項目は多い結果となっている。



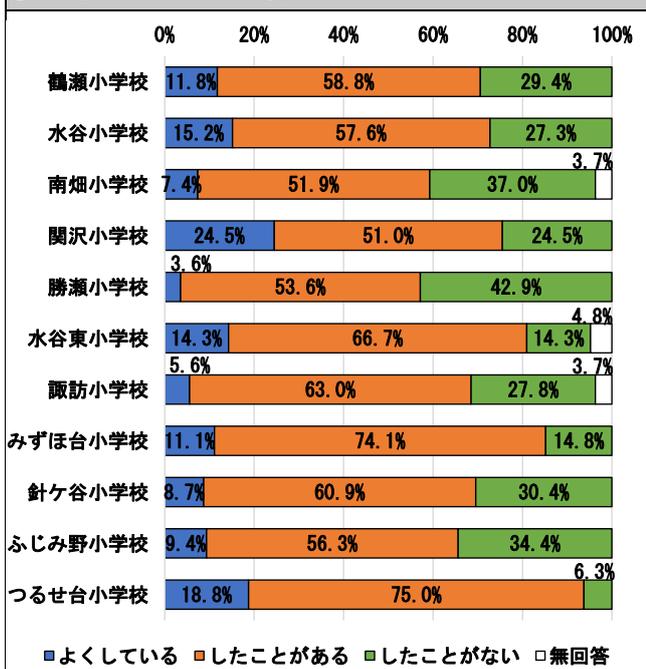
③木の実ひろい、草花つみをする



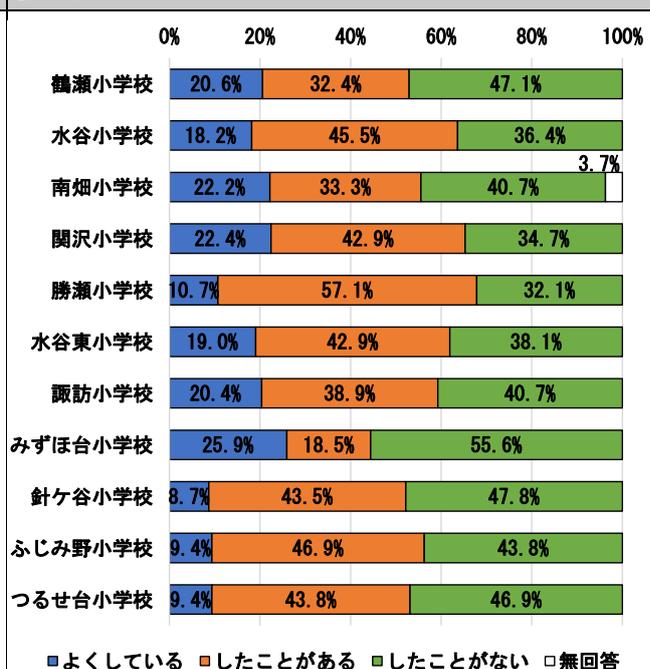
④田畑・家庭菜園・花作りの手伝いをする



⑤野鳥や植物などの観察をする

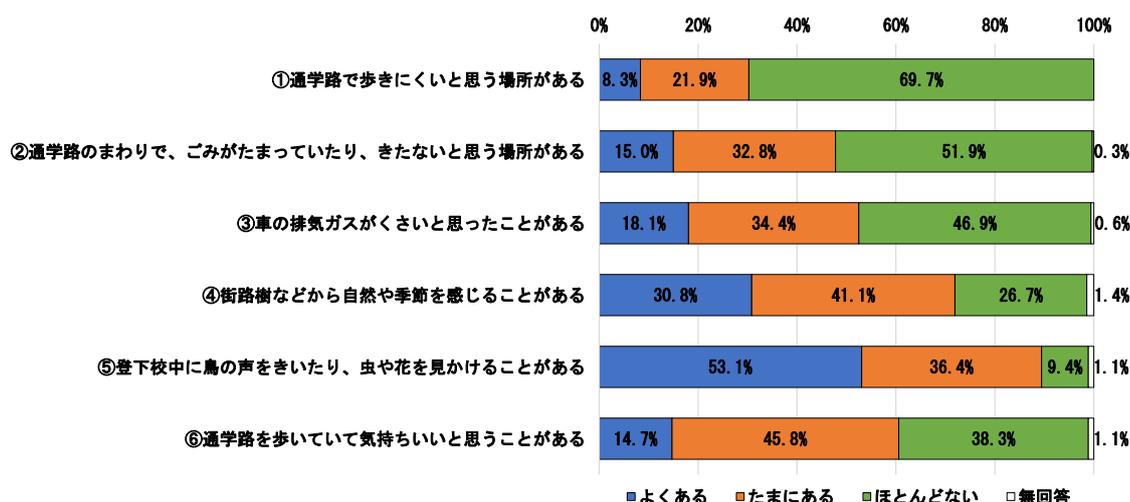


⑥キャンプなどに出かける



問 4. 通学路や家のまわりのことについてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。

通学路や家の周辺について、「よくある」では、「⑤登下校中に鳥の声をきいたり、虫や花を見かけることがある」が53.1%と最も多く、次いで「④街路樹などから自然や季節を感じることもある」が30.8%、「③車の排気ガスがくさいと思ったことがある」が18.1%となっている。一方、「ほとんどない」では、「①通学路で歩きにくいと思う場所がある」が69.7%と最も多く、次いで「②通学路のまわりで、ごみがたまっていたり、きたないと思う場所がある」が51.9%、「③車の排気ガスがくさいと思ったことがある」が46.9%となっている。

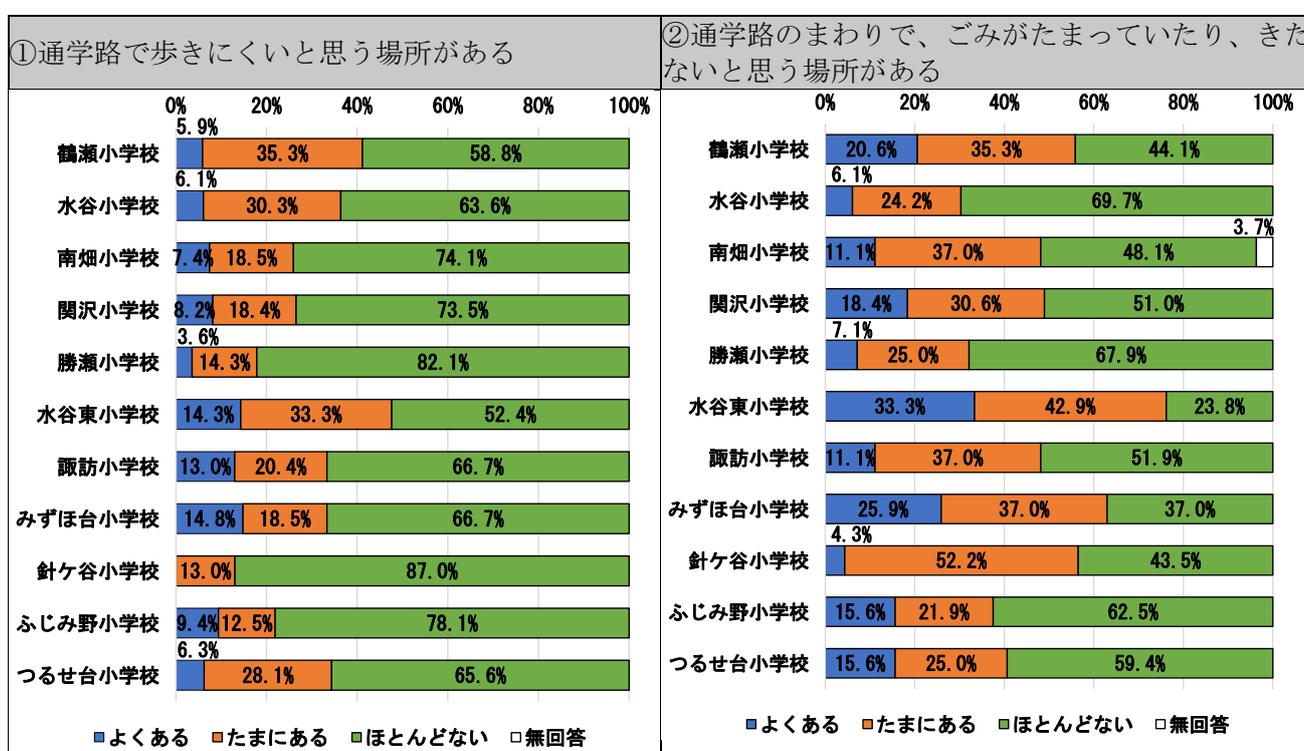


項目 (件数)	よくある	たまにある	ほとんどない	無回答	合計
①通学路で歩きにくいと思う場所がある	30	79	251	0	360
②通学路のまわりで、ごみがたまっていたり、きたないと思う場所がある	54	118	187	1	360
③車の排気ガスがくさいと思ったことがある	65	124	169	2	360
④街路樹などから自然や季節を感じることもある	111	148	96	5	360
⑤登下校中に鳥の声をきいたり、虫や花を見かけることがある	191	131	34	4	360
⑥通学路を歩いていて気持ちいいと思うことがある	53	165	138	4	360
項目 (構成比)	よくある	たまにある	ほとんどない	無回答	合計
①通学路で歩きにくいと思う場所がある	8.3%	21.9%	69.7%	0.0%	100.0%
②通学路のまわりで、ごみがたまっていたり、きたないと思う場所がある	15.0%	32.8%	51.9%	0.3%	100.0%
③車の排気ガスがくさいと思ったことがある	18.1%	34.4%	46.9%	0.6%	100.0%
④街路樹などから自然や季節を感じることもある	30.8%	41.1%	26.7%	1.4%	100.0%
⑤登下校中に鳥の声をきいたり、虫や花を見かけることがある	53.1%	36.4%	9.4%	1.1%	100.0%
⑥通学路を歩いていて気持ちいいと思うことがある	14.7%	45.8%	38.3%	1.1%	100.0%

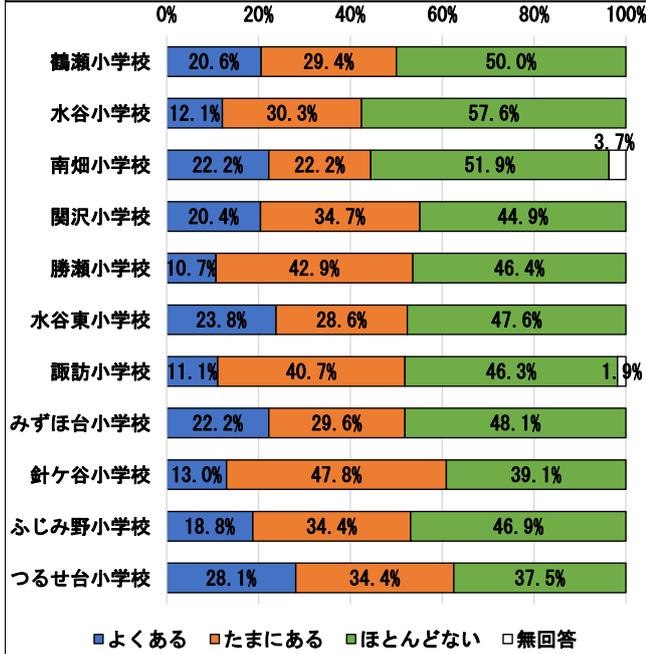
《学校別の結果》

「①通学路で歩きにくいと思う場所がある」及び「②通学路のまわりで、ごみがたまっていたり、きたないと思う場所がある」について、「よくある」と「たまにある」を合わせた『ある』と回答した割合が最も高かったのは、ともに水谷東小学校であり、それぞれ47.6%、76.2%となっている。また、「③車の排気ガスがくさいと思ったことがある」について、『ある』と回答した割合が最も高かったのは針ヶ谷小学校で、60.8%であった。

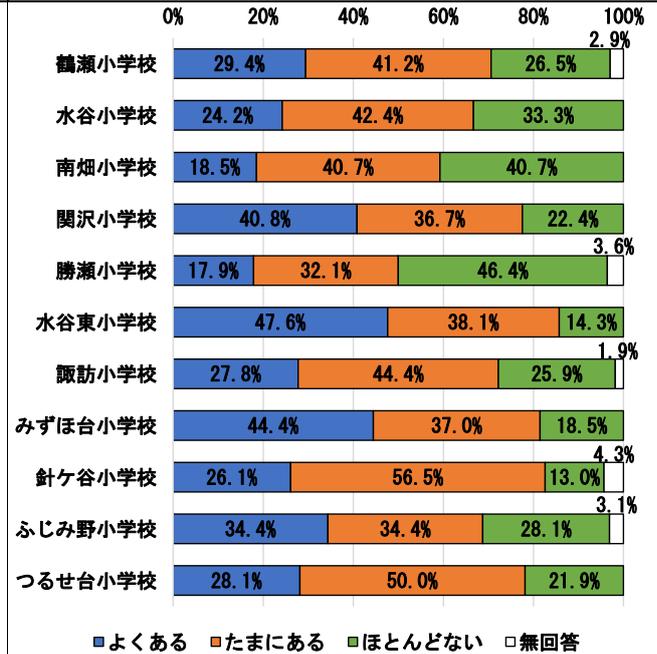
また、「④街路樹などから自然や季節を感じることもある」について、『ほとんどない』と回答した割合が最も高かったのは勝瀬小学校で46.7%となっている。「⑤登下校中に鳥の声をきいたり、虫や花を見かけることがある」について『ほとんどない』と回答した割合が最も高かったのは水谷小学校で、18.2%となっている。「⑥通学路を歩いていて気持ちいいと思うことがある」について『ほとんどない』と回答した割合については、5割を超えているのが鶴瀬小学校とつるせ台小学校であり、それぞれ52.9%、50.0%であった。



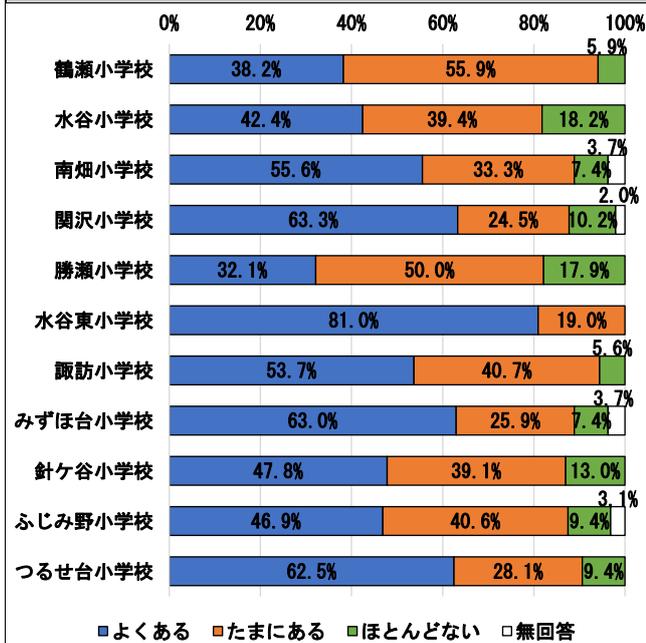
③車の排気ガスがくさいと思ったことがある



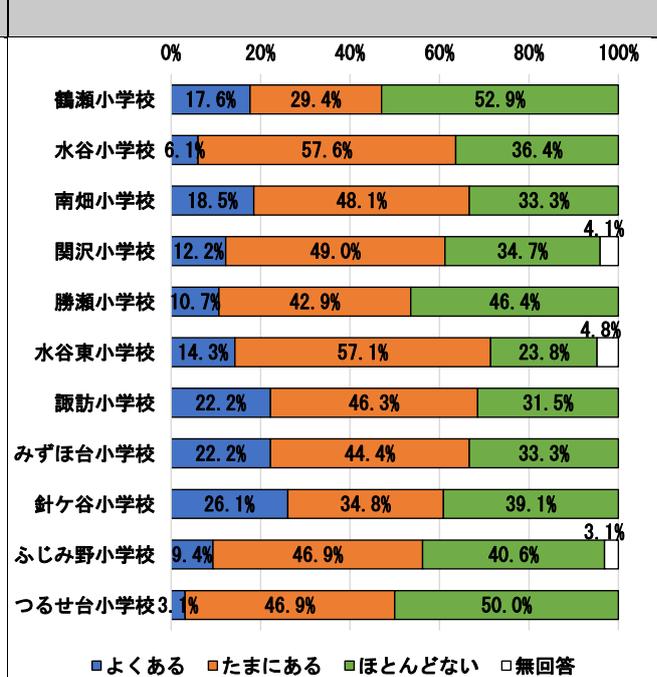
④街路樹などから自然や季節を感じることもある



⑤登下校中に鳥の声をきいたり、虫や花を見かけることがある

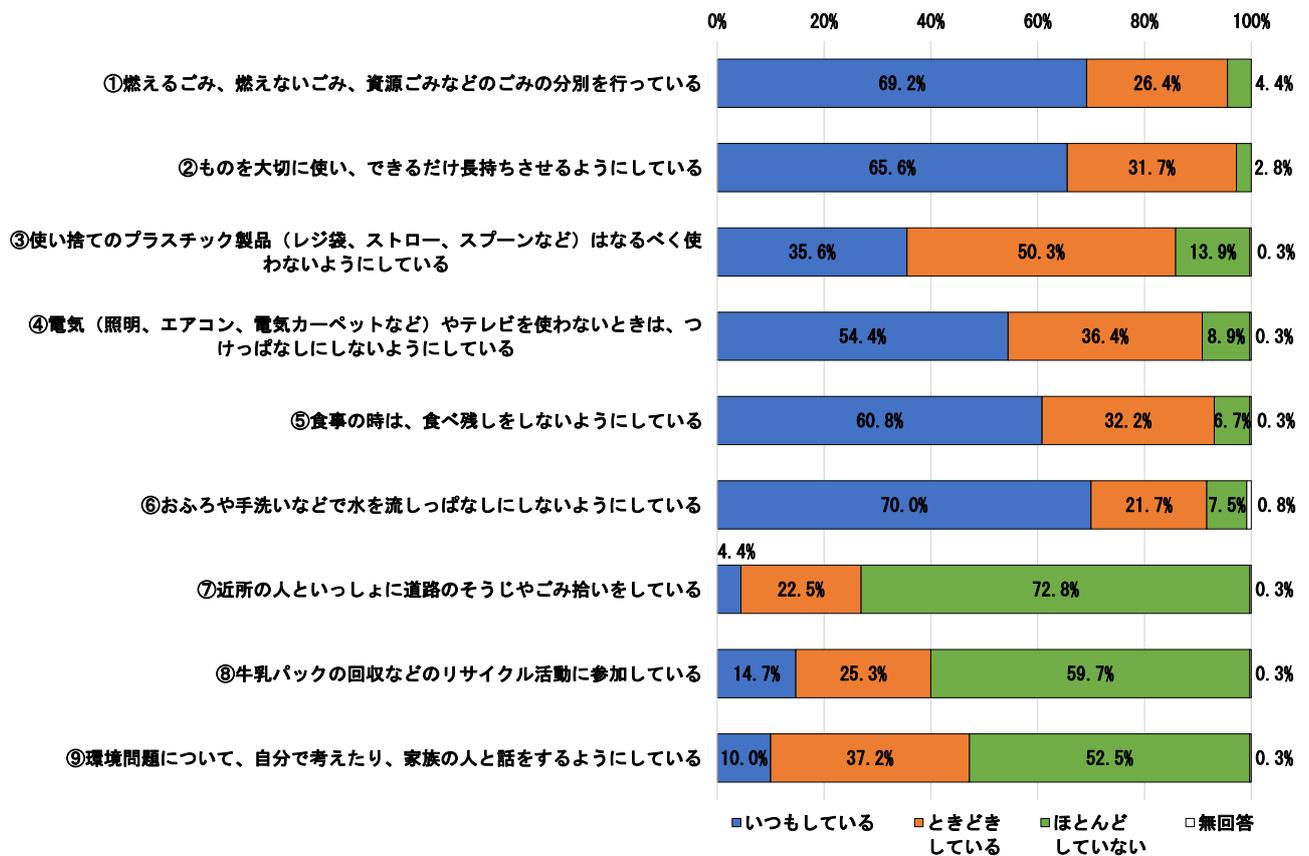


⑥通学路を歩いていて気持ちいいと思うことがある



問5. あなたは日ごろ、下に書いてあるようなことに、どれくらい気をつけていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

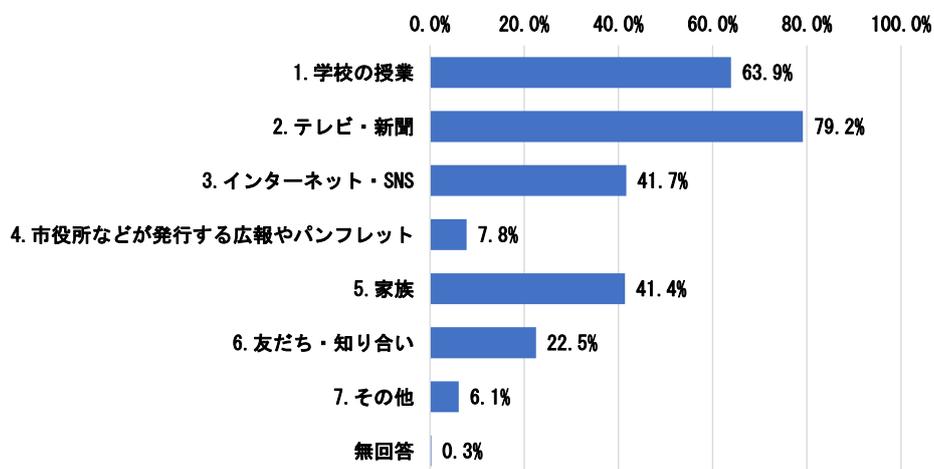
通学路や家の周辺について、「いつもしている」では、「⑥お風呂や手洗いなどで水を流しっぱなしにしないようにしている」が70.0%と最も多く、次いで「①燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなどのごみの分別を行っている」が69.2%、「②ものを大切に使い、できるだけ長持ちさせるようにしている」が65.6%となっている。一方、「ほとんどしていない」では、「⑦近所の人といっしょに道路のそうじやごみ拾いをしている」が72.8%と最も多く、次いで「⑧牛乳パックの回収などのリサイクル活動に参加している」が59.7%、「⑨環境問題について、自分で考えたり、家族の人と話をするようにしている」が52.5%となっている。



項目	いつもしている	ときどきしている	ほとんどしていない	無回答	合計
①燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなどのごみの分別を行っている	249	95	16	0	360
②ものを大切に使い、できるだけ長持ちさせるようにしている	236	114	10	0	360
③使い捨てのプラスチック製品（レジ袋、ストロー、スプーンなど）はなるべく使わないようにしている	128	181	50	1	360
④電気（照明、エアコン、電気カーペットなど）やテレビを使わないときは、つけっぱなしにしないようにしている	196	131	32	1	360
⑤食事の時は、食べ残しをしないようにしている	219	116	24	1	360
⑥お風呂や手洗いなどで水を流しっぱなしにしないようにしている	252	78	27	3	360
⑦近所の人といっしょに道路のそうじやごみ拾いをしている	16	81	262	1	360
⑧牛乳パックの回収などのリサイクル活動に参加している	53	91	215	1	360
⑨環境問題について、自分で考えたり、家族の人と話をするようにしている	36	134	189	1	360
項目（構成比）	いつもしている	ときどきしている	ほとんどしていない	無回答	合計
①燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなどのごみの分別を行っている	69.2%	26.4%	4.4%	0.0%	100.0%
②ものを大切に使い、できるだけ長持ちさせるようにしている	65.6%	31.7%	2.8%	0.0%	100.0%
③使い捨てのプラスチック製品（レジ袋、ストロー、スプーンなど）はなるべく使わないようにしている	35.6%	50.3%	13.9%	0.3%	100.0%
④電気（照明、エアコン、電気カーペットなど）やテレビを使わないときは、つけっぱなしにしないようにしている	54.4%	36.4%	8.9%	0.3%	100.0%
⑤食事の時は、食べ残しをしないようにしている	60.8%	32.2%	6.7%	0.3%	100.0%
⑥お風呂や手洗いなどで水を流しっぱなしにしないようにしている	70.0%	21.7%	7.5%	0.8%	100.0%
⑦近所の人といっしょに道路のそうじやごみ拾いをしている	4.4%	22.5%	72.8%	0.3%	100.0%
⑧牛乳パックの回収などのリサイクル活動に参加している	14.7%	25.3%	59.7%	0.3%	100.0%
⑨環境問題について、自分で考えたり、家族の人と話をするようにしている	10.0%	37.2%	52.5%	0.3%	100.0%

問6. あなたは環境(かんきょう)問題についての情報(じょうほう)をどこから知りますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

環境問題についての情報をどこから得ているかについて、「2. テレビ・新聞」が79.2%と最も多く、次いで「1. 学校の授業」が63.9%、「3. インターネット・SNS」が41.7%となっている。



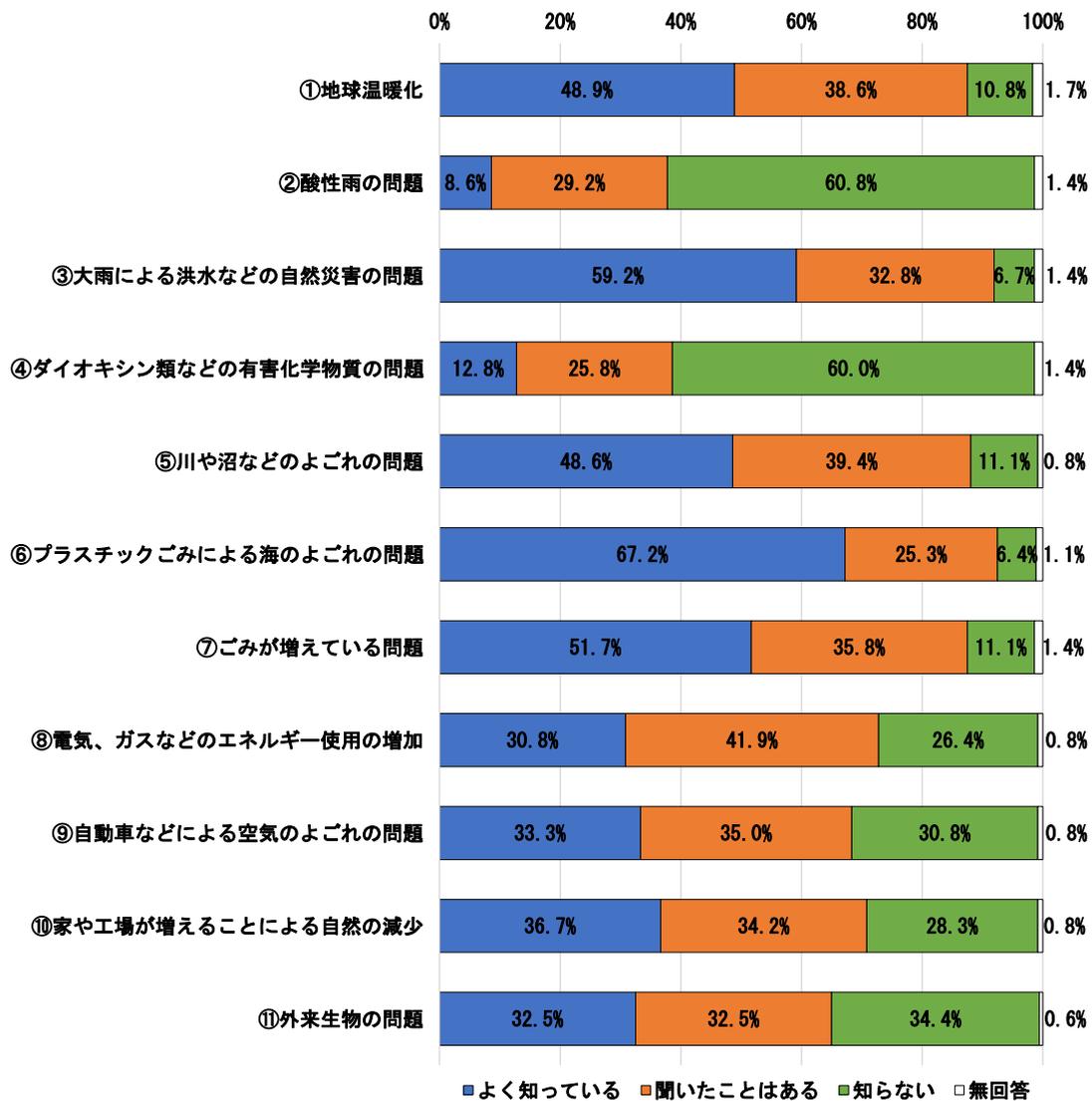
項目	件数	構成比
1. 学校の授業	230	63.9%
2. テレビ・新聞	285	79.2%
3. インターネット・SNS	150	41.7%
4. 市役所などが発行する広報やパンフレット	28	7.8%
5. 家族	149	41.4%
6. 友だち・知り合い	81	22.5%
7. その他	22	6.1%
無回答	1	0.3%
回答者数	360	—
回答数合計	946	—

<その他の記述内容>

- ほとんどない（2件、「なし」を含む）
- 本（7件、「本を読んで知った」を含む）
- 自主学习（3件、「通信教育」、「チャレンジ」、「教科書を見たりする」を含む）
- ラジオ
- 目で見ると
- 塾（3件、「塾で勉強した」、「塾で聞く」含む）
- ポスター

問7. あなたは環境(かんきょう)問題や住んでいるところのまわりの環境(かんきょう)について、どれくらい知っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

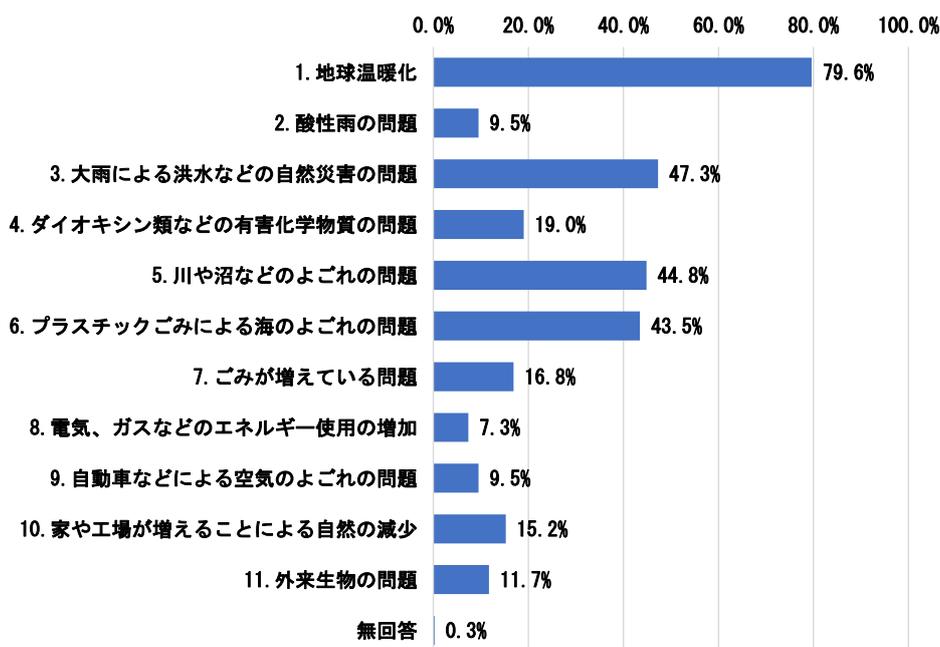
環境問題や自宅周辺の環境についてどれくらい知っているかについて、『よく知っている』では、「⑥プラスチックごみによる海のごれの問題」が67.2%と最も多く、次いで「③大雨による洪水などの自然災害の問題」は59.2%、「⑦ごみが増えている問題」が51.7%となっている。一方、『知らない』では、「②酸性雨の問題」が60.8%と最も多く、次いで「④ダイオキシン類などの有害化学物質の問題」が60.0%、「⑪外来生物の問題」が34.4%となっている。



項目（件数）	よく知っている	聞いたことはある	知らない	無回答	回答者数
①地球温暖化	176	139	39	6	360
②酸性雨の問題	31	105	219	5	360
③大雨による洪水などの自然災害の問題	213	118	24	5	360
④ダイオキシン類などの有害化学物質の問題	46	93	216	5	360
⑤川や沼などのよごれの問題	175	142	40	3	360
⑥プラスチックごみによる海のごれの問題	242	91	23	4	360
⑦ごみが増えている問題	186	129	40	5	360
⑧電気、ガスなどのエネルギー使用の増加	111	151	95	3	360
⑨自動車などによる空気のごれの問題	120	126	111	3	360
⑩家や工場が増えることによる自然の減少	132	123	102	3	360
⑪外来生物の問題	117	117	124	2	360
項目（構成比）	よく知っている	聞いたことはある	知らない	無回答	合計
①地球温暖化	48.9%	38.6%	10.8%	1.7%	100.0%
②酸性雨の問題	8.6%	29.2%	60.8%	1.4%	100.0%
③大雨による洪水などの自然災害の問題	59.2%	32.8%	6.7%	1.4%	100.0%
④ダイオキシン類などの有害化学物質の問題	12.8%	25.8%	60.0%	1.4%	100.0%
⑤川や沼などのよごれの問題	48.6%	39.4%	11.1%	0.8%	100.0%
⑥プラスチックごみによる海のごれの問題	67.2%	25.3%	6.4%	1.1%	100.0%
⑦ごみが増えている問題	51.7%	35.8%	11.1%	1.4%	100.0%
⑧電気、ガスなどのエネルギー使用の増加	30.8%	41.9%	26.4%	0.8%	100.0%
⑨自動車などによる空気のごれの問題	33.3%	35.0%	30.8%	0.8%	100.0%
⑩家や工場が増えることによる自然の減少	36.7%	34.2%	28.3%	0.8%	100.0%
⑪外来生物の問題	32.5%	32.5%	34.4%	0.6%	100.0%

問8. あなたはこれからどんな環境(かんきょう)問題を考えることが大事だと思いますか。次の中から特に大事だと思うものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

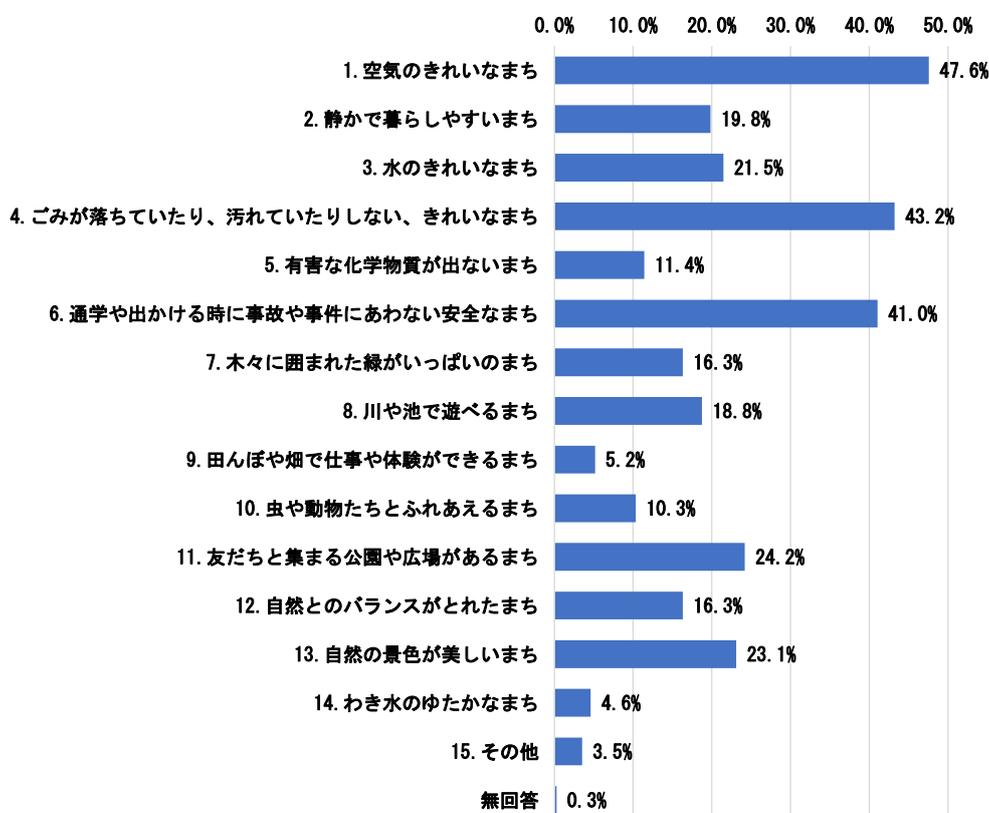
どんな環境問題を考えることが大事だと思うかについて、「1. 地球温暖化」が79.6%と最も多く、次いで「3. 大雨による洪水などの自然災害の問題」が47.3%、「5. 川や沼などのよごれの問題」が44.8%となっている。



項目	件数	構成比
1. 地球温暖化	293	79.6%
2. 酸性雨の問題	35	9.5%
3. 大雨による洪水などの自然災害の問題	174	47.3%
4. ダイオキシン類などの有害化学物質の問題	70	19.0%
5. 川や沼などのよごれの問題	165	44.8%
6. プラスチックごみによる海のよごれの問題	160	43.5%
7. ごみが増えている問題	62	16.8%
8. 電気、ガスなどのエネルギー使用の増加	27	7.3%
9. 自動車などによる空気のごよれの問題	35	9.5%
10. 家や工場が増えることによる自然の減少	56	15.2%
11. 外来生物の問題	43	11.7%
無回答	1	0.3%
回答者数	368	—
回答数合計	1121	—

問9. あなたは、富士見市が将来(しょうらい)どのようになってほしいと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選び、その番号に○をつけてください。

富士見市の将来について、「1. 空気のきれいなまち」が47.6%と最も多く、次いで「4. ごみが落ちていたり、汚れていたりしない、きれいなまち」が43.2%、「6. 通学や出かけるときに事故や事件にあわない安全なまち」が41.0%となっている。



項目	件数	構成比
1. 空気のきれいなまち	175	47.6%
2. 静かで暮らしやすいまち	73	19.8%
3. 水のきれいなまち	79	21.5%
4. ごみが落ちていたり、汚れていたりしない、きれいなまち	159	43.2%
5. 有害な化学物質が出ないまち	42	11.4%
6. 通学や出かける時に事故や事件にあわない安全なまち	151	41.0%
7. 木々に囲まれた緑がたっぷりのまち	60	16.3%
8. 川や池で遊べるまち	69	18.8%
9. 田んぼや畑で仕事や体験ができるまち	19	5.2%
10. 虫や動物たちとふれあえるまち	38	10.3%
11. 友だちと集まる公園や広場があるまち	89	24.2%
12. 自然とのバランスがとれたまち	60	16.3%
13. 自然の景色が美しいまち	85	23.1%
14. わき水のゆたかなまち	17	4.6%
15. その他	13	3.5%
無回答	1	0.3%
回答者数	368	—
回答数合計	1130	—

<その他の記述内容>

- ちょっと都会
- 誰からにも信頼されるような町
- 挨拶を知らない人にも出来る町
- 人と人との沢山触れ合える街
- みんな仲良くしている町
- 3つの宝が全て出来る
- 差別がない公平な町
- 野球場がいっぱいある町
- 遊園地をつくってほしいです
- 人が優しい町
- 動物が沢山いて固有種が沢山いる町
- ないです
- 運動場（ライトがつくところ）が沢山ある町（公園も）

◆このアンケートや富士見市の環境(かんきょう)に関するご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。

- 道端にごみを捨ててしまうのを減らしてほしい。
- ごみが落ちていたり、汚れていたら、まちもきたなくなるし、ごみがおちていないまちだと、川や池できれいにあそべるかなっておもいました。
- ガーデンビーチをなくさないでほしいです！
- ・道が良くなるように（ふじみ野分館～ららポートなど）
 - ・学校が汚い（もろい）
 - ・メンテナンスが不十分
 - ・バスのこうりつか
- 長時間遊んでいられる広場を増やしてほしい。
- ガーデンビーチをつぶさないでください。お願いします。
- ガーデンビーチをつぶさないでほしい。もっと自然を増やしてほしい。（植物）
- ららポートの近くのガーデンビーチを復活させる。
- ・もう少しゴミが落ちていないといいと思います。
 - ・ガーデンビーチをなくさないでください。
 - ・花壇があるといいと思います。
 - ・公園をもっと増やしてほしいです。
- ・通学路で飲んでいないお茶とかビールが捨ててある。
 - ・ガーデンビーチがなくなってしまうとプールが周辺になくなってしまう。
- ガーデンビーチを残してください！！お願いします。環境の取り組みに参加するのでお願いします。
- ・ガーデンビーチをなくさないでほしい。
 - ・自然を増やしてほしい。
- ガーデンビーチを残しておいてほしい。
- 市民プールを沢山作ってほしい。
- ガーデンビーチをなくさないでください。
- ない
- 何もありません。
- ・パンダ道路の前のゴミ捨て場が、登校中に少し汚い。
 - ・裏の川が汚い。
 - ・ゴミがなるべくないように鉛筆を小さくなるまで使いたい。
- 僕たちに出来ることを沢山勉強しようと思った。エアコンの温度だったり、テレビを見る時間を減らす。買い物にエコバッグを持っていくことを続ける。
- なし
- 川や緑に恵まれた地域だと思っています。川がきれいだと良いですね。畑や田んぼも沢山あるのでなるべく農薬を使わず自然にも人間にも優しいものを自分たちで作っていったら素晴らしいですね。

- ないです。
- 知らない人にも当たり前のように挨拶が出来るようにする取り組みをしたいです。そうしないと町は賑やかではないから。
- 富士見市は、キレイです。緑がいっぱいあります。でも犯罪とかはやめてほしいです。犯罪をしたら、富士見市が可哀想だし苦しそうです。そうゆうことをやめて富士見市を元気いっぱいの明るい町にしてあげたいです！
- これでもっと環境を大事にしたらいいなと分かりました。
- ・時々ガラスの破片が落ちているため拾ってほしい。
 - ・もっと木や林などの自然を増やしてほしい。
 - ・緑あふれる町にしてほしい。
- 動物園、池、公園、森
- ・問8が続いているとは分からなかったから「次のページに続いています」とか書いてほしい。
 - ・車の速度が高い（決まりを超えている）道路がある。
- もっと自然を多くしてほしい。動物が暮らせる町。
- ・家などの周りが暗くて不気味な所に監視カメラや交番を増やしてほしいです。
 - ・最近地面の周りでゴミが沢山落ちているのでゴミを落とさないか、色々なポスターを増やしてほしい。
- 頑張してほしい。
- ・もっと自然と池がほしい。
 - ・虫や鳥などが沢山いるようにしてほしい。
 - ・車などで汚れた空気をキレイにしてほしい。
- びん沼公園にカフェなど設置せずに、自然が沢山ある公園のままがいいと思います。
- 特にない。
- 野菜が出来る自然に囲まれる野菜場がいい。
- タバコを禁止してほしい。
- ・僕は喘息気味だから、空気のきれいな市がいいです。
 - ・事故がない市がいいです。
 - ・友達と遊べて運動も出来る公園がほしい。
 - ・バスケットコートがあると嬉しいです。
- もっと自然を大事にほしい。
- ・キレイな町。気持ちのいい町など人々の喜ぶようなことをしてほしいです。（例えばパンフレットなどを渡したり、この町の良さを知らせるなどの活動など…）
 - ・きれいな町づくり。
 - ・あいさつ運動
- ・問9で丸を付けなかったものは決してこうなっていないというわけではないのでご了承ください。
 - ・富士見市の将来ですが、「スポーツが出来る町」というのはどうでしょうか。とても住みやすい富士見市になってほしいです
- 誰もが安心安全に暮らせるいい町。

- ・タバコを道にポイ捨てしないように声掛けをする。
- ・ゴミをゴミ箱じゃない所に捨てないでとポスターを貼る。
- 自然災害を学んだ。
- 私は田舎過ぎず、都会過ぎず富士見市が好きです。落ち着いて生活出来るからです
- 対策方法のアンケートもした方がいいと思います。
- これに答えて富士見市から世界を変えられるといいですね。(むりかもな～)
- 富士見市はゴミが袋？からはみ出したりするのをよく見ている(通学路で)、生ごみとかのにおいもたまにして、正直「汚い」と思います。でもららポートがあつたりする商業施設があるのは好きです。でも商業施設が多かったり、大きすぎたりして自然は少ないですね。なので花壇いっぱいあつたり、水辺があつたりすると小学生もとても喜ぶと思います(水辺はびちゃびちゃ遊べて楽しい)。木や低木などがあると自然と空気もキレイになるし、あと芝生とかがあると小さい子も転んでも痛くないし、フカフカで嬉しいです。たまには遊具はないけれど自然がいっぱいな公園があつてほしいです。本当だったら問 9 で全部丸をつけたいぐらいです。要望書かせてもらってありがとうございました！このアンケートのおかげで環境について少し興味がわきました。ありがとうございます！！
- 世界がキレイになるとスムーズに生きられるし、いい気持になるし、ちいきの犬が散歩している時、犬がゴミをあさったり食べたりしちゃうし、人ってキレイがいいと思うからです。
- ここの環境がとてもいいです。
- ありません。
- ごみが落ちていないようにキレイにする。
- ない
- 緑があるところなどあまりお店などを建てない。
- 特にありません。
- 問 9 では 1. 3. 4. 6. 7. 12. 13. 14
- 特にありません。
- 家が多く建っていて人口も増えていますが、公園などの広い場所がありません。放課後、子供たちで集まれる場所がほしいです。夜、街灯が少なく怖いと感じる事があります。なので案として自然エネルギーなどがいいかと…
- 私は問 9 の 12 みたいに、自然豊かなまちになってほしいです。木や草は環境に良いと聞いたことがあるし、鳥や虫たちがいると気分が明るくなるからです。
- 出来るだけ悪口や、いじめを減らしたい。静かに過ごせる富士見市にしたい。
- 球技(野球やサッカー)用の公園がほしい。
- 特にないです。
- 特にありません。
- 特にないです。
- 特にないです。
- 特になし。
- 通学路にあるゴミ捨て場では、ガラスがいる所があるし、ゴミが生物によってばらまかれている時

があります。カラスが真横にいる時はとても怖いし、ごみがばらまかれている時は、汚いなと思う時があります。私の住んでいる所のゴミ捨て場では、ネットをカラスが簡単に持ち上げないように近所の方がネットを二重にくくりつけてくれました。このようにカラスにゴミをあらされない工夫を市全体で出来たらと思います。小学生からどんな工夫が出来るかを聞いたりしてもいいと思います。

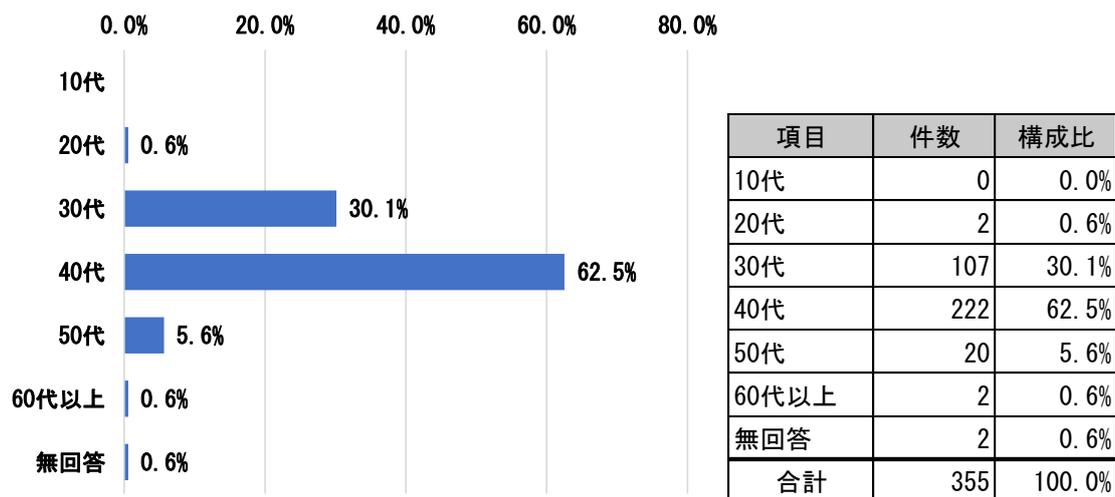
- ゴミを捨てる場からゴミが飛び出していることがありました。
- わがままでけど小学生など学生が通る道に、ゴミ捨て場を作るのはやめてほしい。理由は多分カラスがきてその道のゴミを荒らして通る道がふさがれてしまって結局柵？の外側を歩いたから。
- 通学路によくゴミが落ちていて、時にはタバコなども落ちていたりします。あまりいい気持ちはしません。通学路等にゴミは捨てないでいただきたいです。
- 特になし。
- 大きな公園がほしい。遊園地ほしい。
- ないです。

(2) 児童のご家族のおとなの方の回答

問 1. このアンケートに回答されるご家族のおとなの方（どなたか1人）についておたずねします。それぞれあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

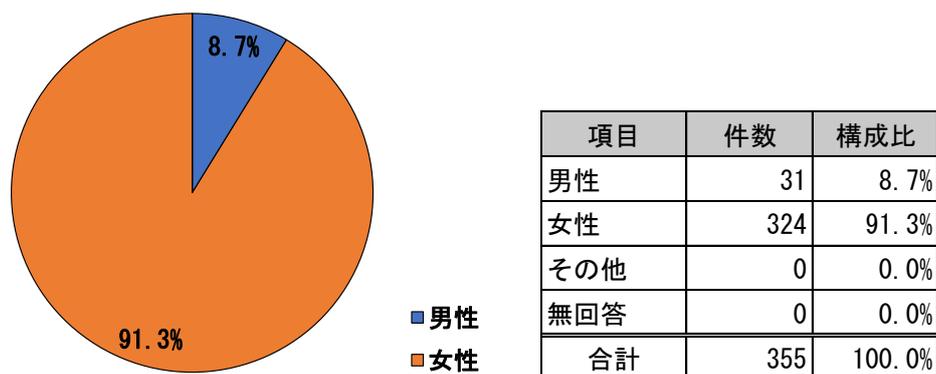
◆あなたの年齢

年齢では、「40代」が62.5%と最も多く、次いで「30代」が30.1%、「50代」が5.6%となっている。



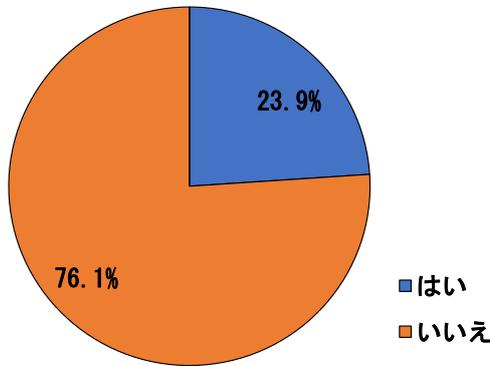
◆あなたの性別

性別では、男性が8.7%、女性が91.3%となっている。



◆あなたは子ども（18歳まで）の頃、富士見市にお住まいでしたか。

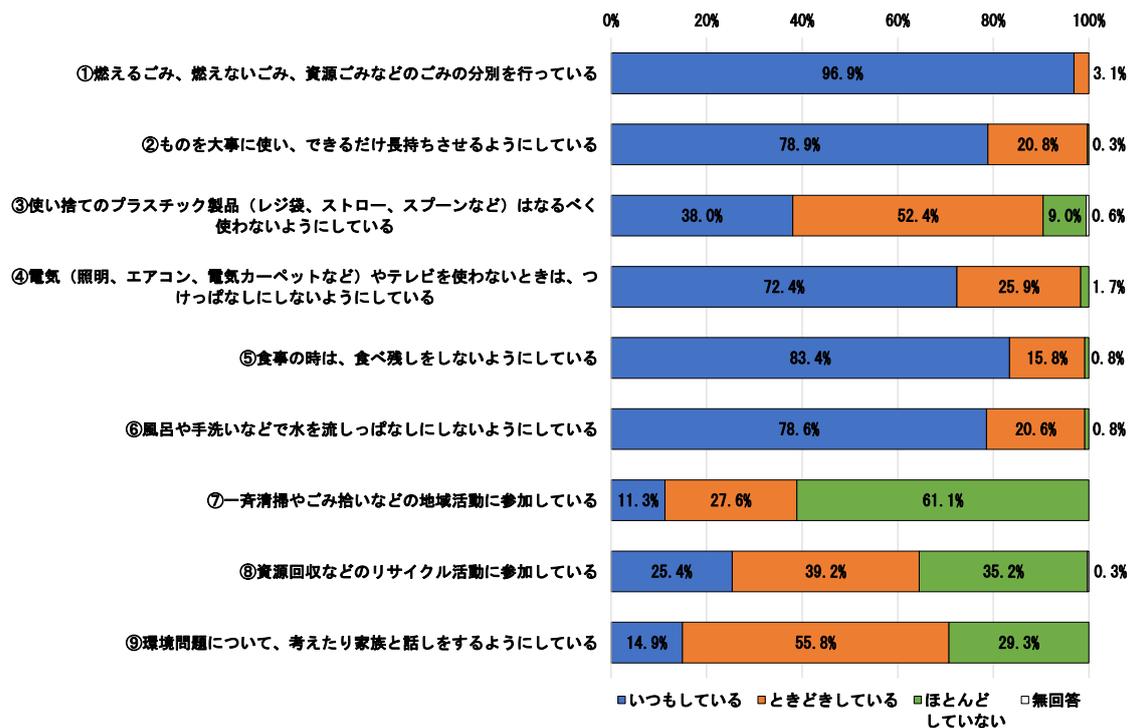
子どもの頃、富士見市に住んでいたかについて、「はい」が23.9%、「いいえ」が76.1%となっている。



項目	件数	構成比
はい	85	23.9%
いいえ	270	76.1%
無回答	0	0.0%
合計	355	100.0%

問2. あなたは日ごろ以下のようなことに、どのくらい気を付けていますか。次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

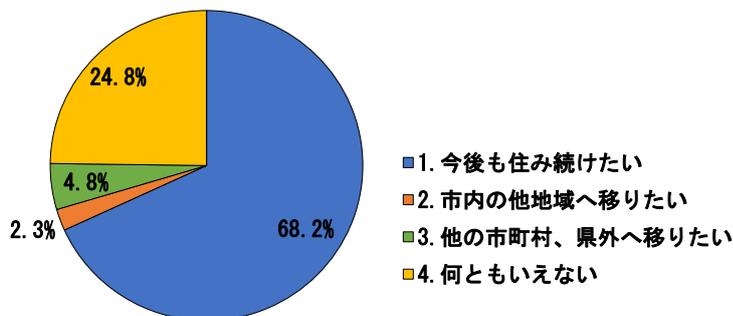
以下の①～⑨の項目に日頃から気を付けているかについて、『いつもしている』では、「①燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなどのごみの分別を行っている」が96.9%、「⑤食事の時は、食べ残しをしないようにしている」が83.4%、「②ものを大事に使い、できるだけ長持ちさせるようにしている」が78.9%となっている。一方、『ほとんどしていない』では、「⑦一斉清掃やごみ拾いなどの地域活動に参加している」が61.1%と最も多く、「⑧資源回収などのリサイクル活動に参加している」が35.2%、「⑨環境問題について、考えたり家族と話しをするようにしている」が29.3%となっている。



項目 (件数)	いつもしている	ときどきしている	ほとんどしていない	無回答	合計
①燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなどのごみの分別を行っている	344	11	0	0	355
②ものを大事に使い、できるだけ長持ちさせるようにしている	280	74	1	0	355
③使い捨てのプラスチック製品（レジ袋、ストロー、スプーンなど）はなるべく使わないようにしている	135	186	32	2	355
④電気（照明、エアコン、電気カーペットなど）やテレビを使わないときは、つけっぱなしにしないようにしている	257	92	6	0	355
⑤食事の時は、食べ残しをしないようにしている	296	56	3	0	355
⑥風呂や手洗いなどで水を流しっぱなしにしないようにしている	279	73	3	0	355
⑦一斉清掃やごみ拾いなどの地域活動に参加している	40	98	217	0	355
⑧資源回収などのリサイクル活動に参加している	90	139	125	1	355
⑨環境問題について、考えたり家族と話しをするようにしている	53	198	104	0	355
項目 (構成比)	いつもしている	ときどきしている	ほとんどしていない	無回答	合計
①燃えるごみ、燃えないごみ、資源ごみなどのごみの分別を行っている	96.9%	3.1%	0.0%	0.0%	100.0%
②ものを大事に使い、できるだけ長持ちさせるようにしている	78.9%	20.8%	0.3%	0.0%	100.0%
③使い捨てのプラスチック製品（レジ袋、ストロー、スプーンなど）はなるべく使わないようにしている	38.0%	52.4%	9.0%	0.6%	100.0%
④電気（照明、エアコン、電気カーペットなど）やテレビを使わないときは、つけっぱなしにしないようにしている	72.4%	25.9%	1.7%	0.0%	100.0%
⑤食事の時は、食べ残しをしないようにしている	83.4%	15.8%	0.8%	0.0%	100.0%
⑥風呂や手洗いなどで水を流しっぱなしにしないようにしている	78.6%	20.6%	0.8%	0.0%	100.0%
⑦一斉清掃やごみ拾いなどの地域活動に参加している	11.3%	27.6%	61.1%	0.0%	100.0%
⑧資源回収などのリサイクル活動に参加している	25.4%	39.2%	35.2%	0.3%	100.0%
⑨環境問題について、考えたり家族と話しをするようにしている	14.9%	55.8%	29.3%	0.0%	100.0%

問3. あなたは現在お住まいの地域に、今後も住み続けたいですか。あなたのお考えに最も近いものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

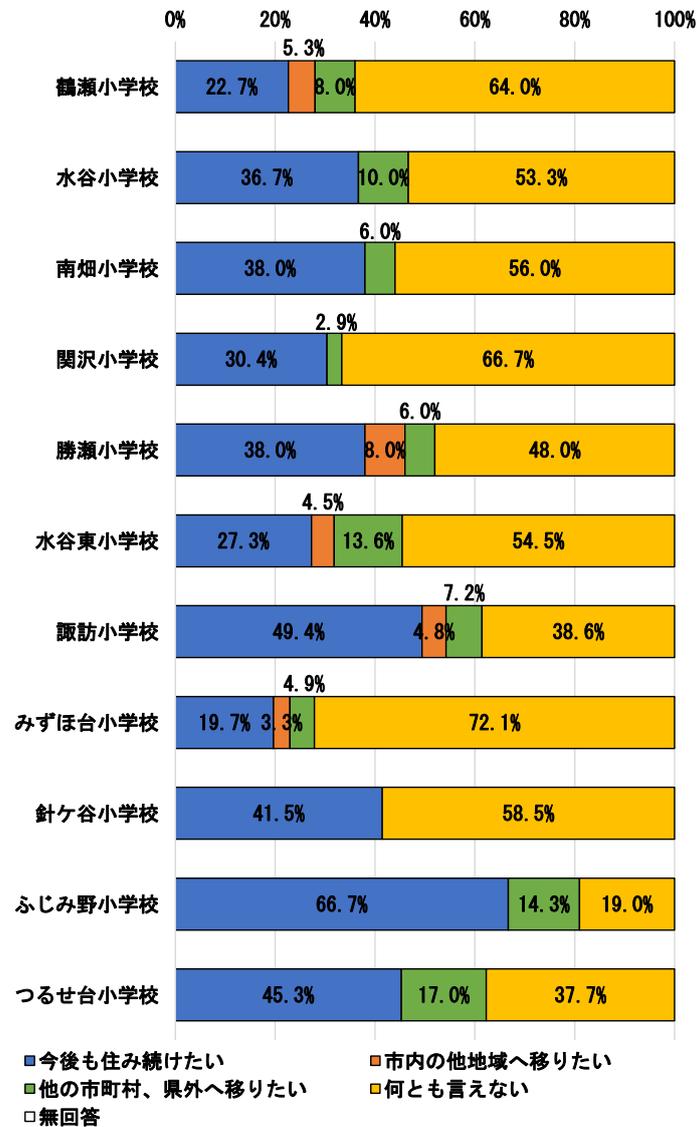
現在お住まいの地域に今後も住み続けたいかについて、「1. 今後も住み続けたい」が68.2%と最も多く、次いで「4. 何ともいえない」が24.8%、「3. 他の市町村、県外へ移りたい」が4.8%となっている。



項目	件数	構成比
1. 今後も住み続けたい	242	68.2%
2. 市内の他地域へ移りたい	8	2.3%
3. 他の市町村、県外へ移りたい	17	4.8%
4. 何ともいえない	88	24.8%
無回答	0	0.0%
合計	355	100.0%

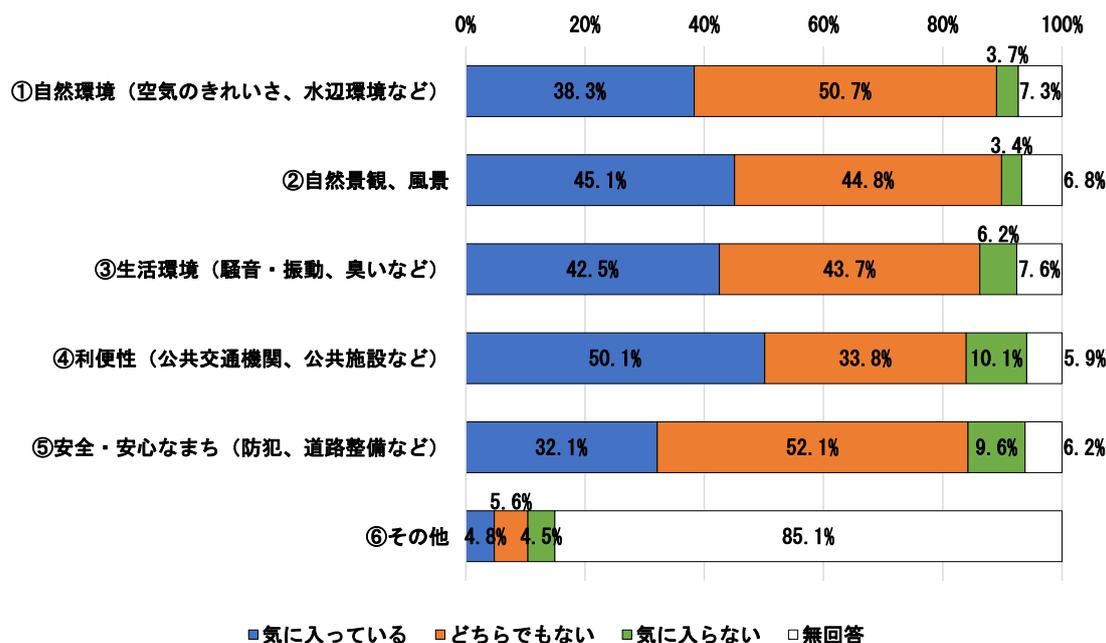
《居住意思の地区別の比較》

居住意思について、児童の学校区別に集計した結果を見ると、「市内の他地域へ移りたい」と「他の市町村、県外へ移りたい」を合わせた『移住したい』の割合が最も高かった小学校は、水谷東小学校で18.1%、次いでつるせ台小学校が17.0%、ふじみ野小学校が14.3%であった。



問4. 問3で回答した理由について、次の項目ごとにあてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。

問3で回答した理由について、「気に入っている」では、「④利便性（公共交通機関、公共施設など）」が50.1%と最も多く、次いで「②自然景観、風景」が45.1%、「③生活環境（騒音・振動、臭いなど）」が42.5%となっている。一方、「気に入らない」では、「④利便性（公共交通機関、公共施設など）」が10.1%と最も多く、次いで「⑤安全・安心なまち（防犯、道路整備など）」が9.6%、「③生活環境（騒音・振動、臭いなど）」が6.2%となっている。



項目（件数）	気に入っている	どちらでもない	気に入らない	無回答	合計
①自然環境（空気のきれいさ、水辺環境など）	136	180	13	26	355
②自然景観、風景	160	159	12	24	355
③生活環境（騒音・振動、臭いなど）	151	155	22	27	355
④利便性（公共交通機関、公共施設など）	178	120	36	21	355
⑤安全・安心なまち（防犯、道路整備など）	114	185	34	22	355
⑥その他	17	20	16	302	355
項目（構成比）	気に入っている	どちらでもない	気に入らない	無回答	合計
①自然環境（空気のきれいさ、水辺環境など）	38.3%	50.7%	3.7%	7.3%	100.0%
②自然景観、風景	45.1%	44.8%	3.4%	6.8%	100.0%
③生活環境（騒音・振動、臭いなど）	42.5%	43.7%	6.2%	7.6%	100.0%
④利便性（公共交通機関、公共施設など）	50.1%	33.8%	10.1%	5.9%	100.0%
⑤安全・安心なまち（防犯、道路整備など）	32.1%	52.1%	9.6%	6.2%	100.0%
⑥その他	4.8%	5.6%	4.5%	85.1%	100.0%

<その他の記述内容>

【「今後も住み続けたい」と回答した方】

- 公園の多さ。
- 地盤がしっかりしていて震災に強いと思うから。

- 子育てしやすい環境。
- 親しみやすい。
- 路駐が多い。
- 実家が近く子育てしやすい
- 恵愛病院の所、橋を1本にしてほしい。
- 災害（水害、地震）に強い。
- 産まれてからずっと富士見市。
- 道が狭くて、歩行者が危険な場所がある。
- 子供が遊ぶ公園がある。
- 都心までのアクセスの良さ。
- 地域の方との交流、見守り隊、ボランティアなど。
- ご近所付き合い。
- 公園が多い。
- 家しか作らない。ららポの信号に左折専用作らないから渋滞する。
- しののめの里の近くに住んでいますが、草刈の騒音がひどいので何とかして下さい！すごくひどい音で長いです！！
- 身内がいるので！！
- 住み慣れているから。

【「市内の他地域へ移りたい」と回答した方】

- 水害対策に不安がある。

【「他の市町村、県外へ移りたい」と回答した方】

- 道路の幅が狭い。道がごちゃごちゃしている。
- 通学路が危険、水害が心配。
- 税金が三芳町に比べて高い

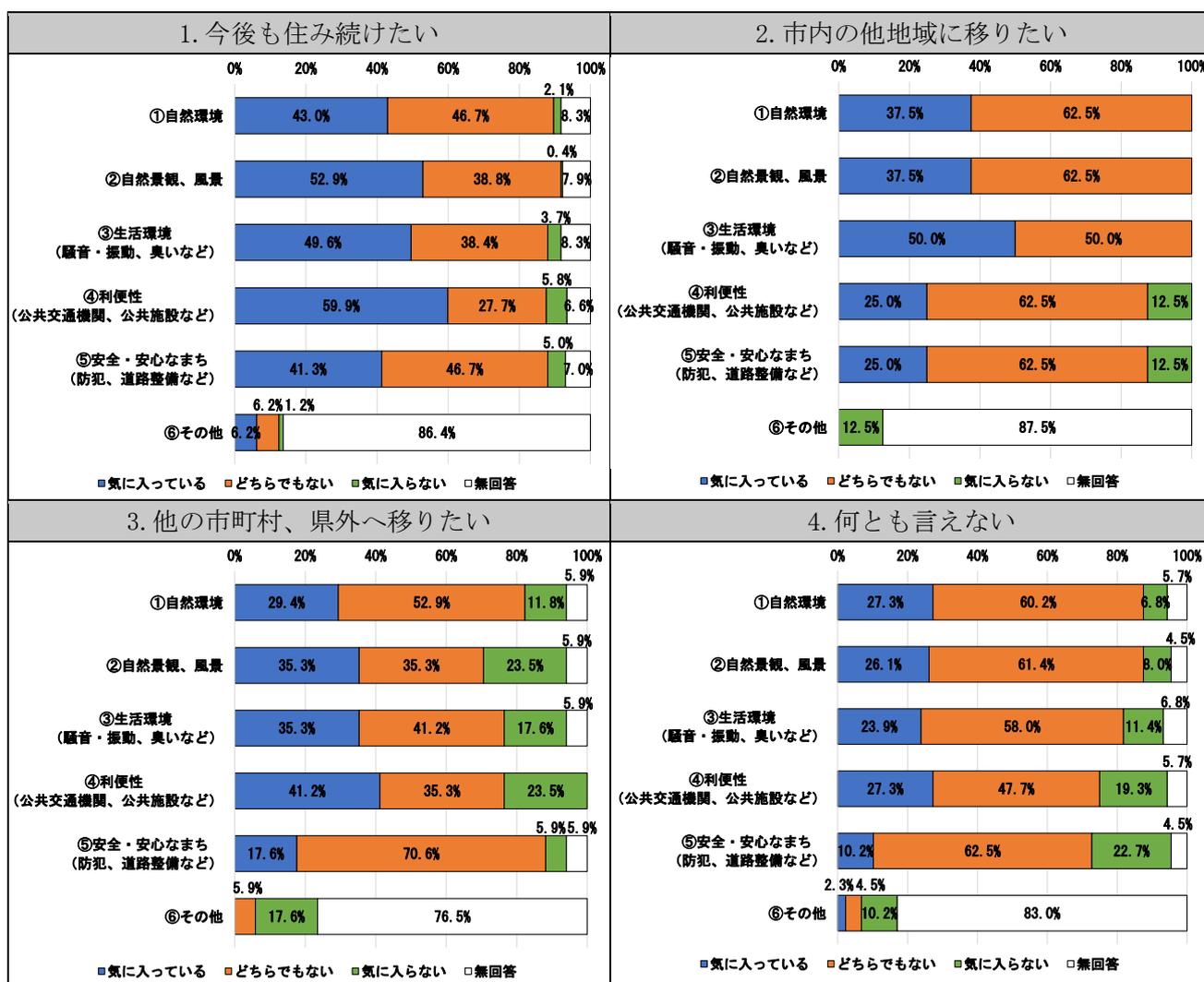
【「何とも言えない」と回答した方】

- 水害が起こりそうで少し怖い。
- 障害のある人への福祉の充実。
- 子供が高校生になった時、東上線が頻繁にとまる点が心配。
- 母子に対しての
- 東上線の人身事故。
- ららポートが出来て最悪。
- お店がすくない。（スーパー等）
- 歩きづらい…道がくねくねしている。
- 地域に公園がない。

《今後の定住意思と環境的理由の比較》

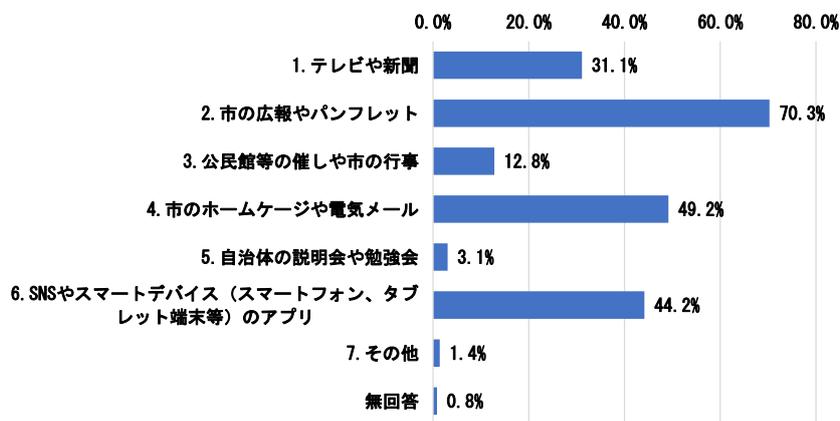
「1. 今後も住み続けたい」と回答した人の内、理由として『気に入っている』と回答した割合が最も高かったのは、「④利便性（公共交通機関、公共施設など）」であり、59.9%、次いで「自然景観、風景」が52.9%となった。

一方、「2. 市内の対地域へ移りたい」については、『気に入らない』と回答した割合が最も高かったのは、「④利便性（公共交通機関、公共施設など）」及び「⑤安全・安心なまち（防犯、道路整備など）」がともに12.5%であった。また、「3. 他の市町村、県外へ移りたい」については、『気に入らない』と回答した割合が最も高かったのは、「②自然景観、風景」及び「利便性（公共交通機関、公共施設など）」とともに23.5%であった。



問 5. 環境に関する情報を行政からお知らせする方法として、どのようなものがよいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選び、その番号に○をつけてください。

行政から環境に関する情報を得る方法について、「2. 市の広報やパンフレット」が 70.3%と最も多く、次いで「4. 市のホームページや電子メール」が 49.2%、「6. SNS やスマートデバイス（スマートフォン、タブレット端末等）のアプリ」が 44.2%となっている。



項目	件数	構成比
1. テレビや新聞	112	31.1%
2. 市の広報やパンフレット	253	70.3%
3. 公民館等の催しや市の行事	46	12.8%
4. 市のホームページや電気メール	177	49.2%
5. 自治体の説明会や勉強会	11	3.1%
6. SNSやスマートデバイス（スマートフォン、タブレット端末等）のアプリ	159	44.2%
7. その他	5	1.4%
無回答	3	0.8%
回答者数	360	—
回答数合計	766	—

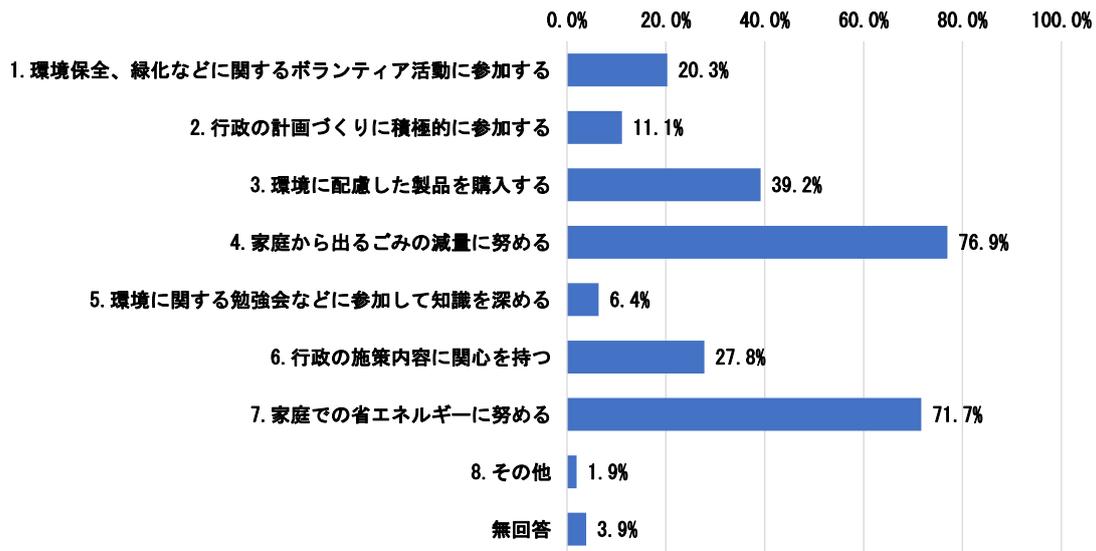
<その他の記述内容>

- 学校を通して。
- CM などにする。
- 学校での教育やお知らせ。
- 小学校での講話やイベント。
- その時は全て。

問6. 環境をよりよくしていくために、市民・事業者・行政それぞれが、今後行った方がよいと思うことは何ですか。重要と思われるものをそれぞれ3つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。

【市民が行った方がよいこと】(1~8のうち3つまで選んでください)

市民が行った方がよいことでは、「4. 家庭から出るごみの減量に努める」が76.9%と最も多く、次いで「7. 家庭での省エネルギーに努める」が71.7%、「3. 環境に配慮した製品を購入する」が39.2%となっている。



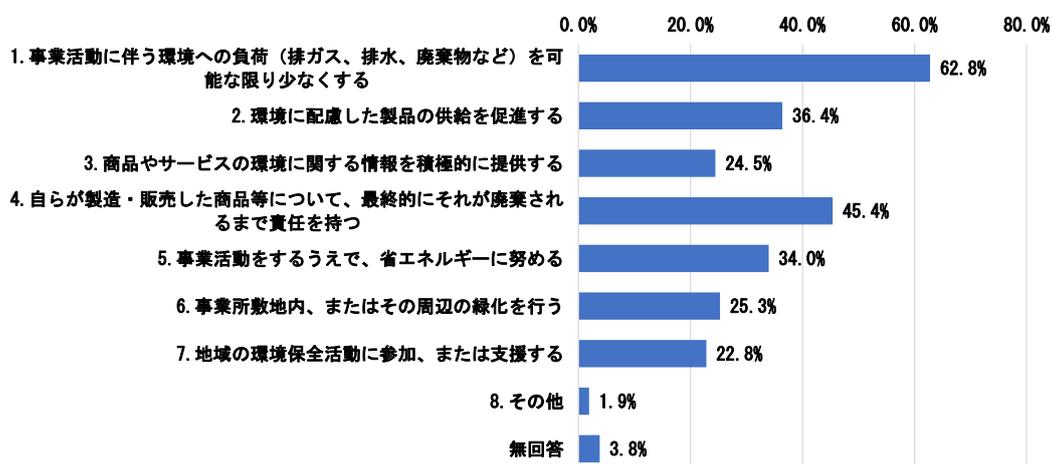
項目	件数	構成比
1. 環境保全、緑化などに関するボランティア活動に参加する	73	20.3%
2. 行政の計画づくりに積極的に参加する	40	11.1%
3. 環境に配慮した製品を購入する	141	39.2%
4. 家庭から出るごみの減量に努める	277	76.9%
5. 環境に関する勉強会などに参加して知識を深める	23	6.4%
6. 行政の施策内容に関心を持つ	100	27.8%
7. 家庭での省エネルギーに努める	258	71.7%
8. その他	7	1.9%
無回答	14	3.9%
回答者数	360	—
回答数合計	933	—

<その他の記述内容>

- 自給自足、ご近所の助け合い。
- 積極的な設備導入。
- 興味を持つために家族内で話す機会を作ること。

【事業者が行った方がよいこと】(1～8のうち3つまで選んでください)

事業者が行った方がよいことでは、「1. 事業活動に伴う環境への負荷（排ガス、排水、廃棄物など）を可能な限り少なくする」が 62.8%と最も多く、次いで「4. 自らが製造・販売した商品等について、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ」が 45.4%、「2. 環境に配慮した製品の供給を促進する」が 36.4%となっている。



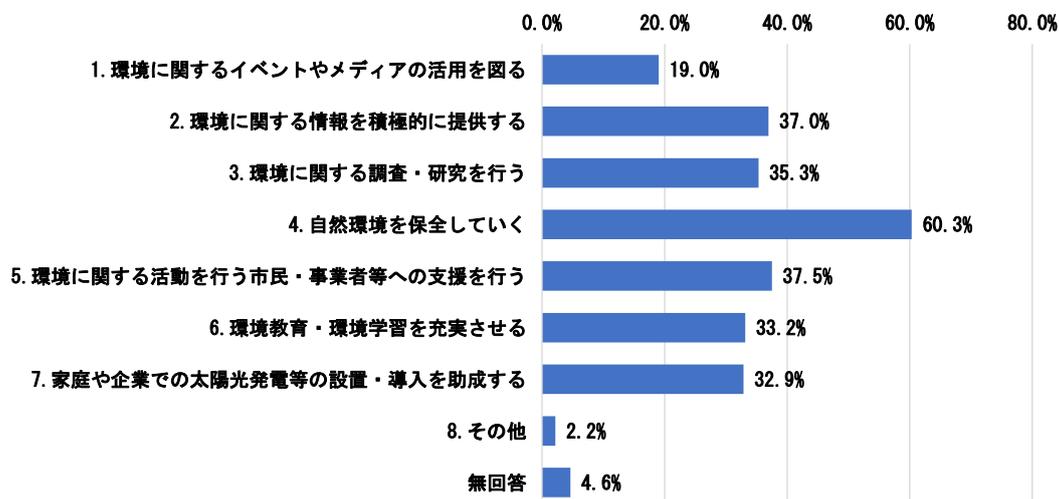
項目	件数	構成比
1. 事業活動に伴う環境への負荷（排ガス、排水、廃棄物など）を可能な限り少なくする	231	62.8%
2. 環境に配慮した製品の供給を促進する	134	36.4%
3. 商品やサービスの環境に関する情報を積極的に提供する	90	24.5%
4. 自らが製造・販売した商品等について、最終的にそれが廃棄されるまで責任を持つ	167	45.4%
5. 事業活動をするうえで、省エネルギーに努める	125	34.0%
6. 事業所敷地内、またはその周辺の緑化を行う	93	25.3%
7. 地域の環境保全活動に参加、または支援する	84	22.8%
8. その他	7	1.9%
無回答	14	3.8%
回答者数	368	—
合計	945	—

<その他の記述内容>

- “使い捨て”ではなく、良いものを直して長く使える環境を作ること。
- 利益だけを求めて大量生産しない。
- 設備導入と業務効率化を両立する事業計画の立案、補助金の活用。
- 外部からの評価、調査を積極的に受け入れて公表していく。
- 事業所周辺の清掃。
- プラゴミが毎日大量に出ます。→パッケージの簡素化。

【行政が行った方がよいこと】（1～8のうち3つまで選んでください）

行政が行った方がよいことでは、「4. 自然環境を保全していく」が60.3%と最も多く、次いで「5. 環境に関する活動を行う市民・事業者等への支援を行う」が37.5%、「2. 環境に関する情報を積極的に提供する」が37.0%となっている。



項目	件数	構成比
1. 環境に関するイベントやメディアの活用を図る	70	19.0%
2. 環境に関する情報を積極的に提供する	136	37.0%
3. 環境に関する調査・研究を行う	130	35.3%
4. 自然環境を保全していく	222	60.3%
5. 環境に関する活動を行う市民・事業者等への支援を行う	138	37.5%
6. 環境教育・環境学習を充実させる	122	33.2%
7. 家庭や企業での太陽光発電等の設置・導入を助成する	121	32.9%
8. その他	8	2.2%
無回答	17	4.6%
回答者数	368	—
回答数合計	964	—

<その他の記述内容>

- 7の太陽光発電：山などを削って太陽光パネル設置は環境破壊だと思う。
- 足りていない歩行者の信号を増やす。ガードレールを増やす。
- 1～8 全て。
- 公園を増やす。
- タバコ、ゴミのポイ捨てなどの罰則強化。
- 子供の安全環境について。

◆このアンケートや富士見市の環境に関するご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

■自然環境を保全していくことを強く望みます。

びん沼の自然環境を変えて、パークゴルフ場をつくるなんて残念です。

■・びん沼公園は今まで通りで、業者が運営するなら市のお金を使う必要はないです。

- ・ららぽーとの道路反対側の田んぼを工業団地にする計画があることを以前聞いたことがありますが、どうなっているのでしょうか。こちらも開発には反対です。田んぼは天然のクーラーです。
- ・メガソーラーにも反対です。いずれ廃棄する時に処分に困るものは設置させない方針で。

■・通学路の道がグリーンベルトが薄くなってきている。

- ・学校のメンテナンスが不十分。雨漏り、トイレの詰まり、壁。
- ・同じ様な施設を作らない。
- ・路上駐車、タバコ禁止地域なのに守らない人が多い。(ポイ捨てもあります)
- ・学校でオンライン授業をするなら先生が相談できて、きちんと管理出来るように SE (システムエンジニア) を各学校に。無理なら市に常駐してほしい。
- ・循環バスは不要、ららポート行きがあるので困らない。

■歩道の緑地の木があまり手入れされておらず歩道にはみ出していて邪魔になっている。

■・とても住みやすく、周りの環境も気に入っているので今後も住み続けたいと思っています。ですが、子供たちが安心して遊べる場所が少ないと感じます。公園でもボールや野球が禁止になっており、ボール等で遊びたい子供はどこで遊べば良いのか疑問に思っていました。小さな子供も公園で遊ぶため、トラブルを防ぐためだとは思いますが、すべての年代の子供たちがのびのびを安心して遊べる場所が増えると良いと思っています。

- ・ガーデンビーチの閉鎖はとても残念です。子供たちが楽しめるとっても良いプールでした。

■・びん沼自然公園にパークゴルフ場を整備する予定と聞いていますが、自然を残してほしいです。

- ・脱炭素の取り組みで、先進的な取り組みを行ってもらえたらと思います。

■・緑の多い街にしてほしい。

- ・公園や子供が遊べる遊具を増やしてほしい。

■・ふじみ野駅から少し離れるだけで、街灯が極端に減り、夜道が怖い。

- ・道路の幅も狭いし行き止まりも多く車での移動が大変
- ・学校内の清掃が行き届いていないので、行政としてプロに週に 1 回でもお願いしたい。トイレも臭いし、トイレの隣のクラスの子供たちは授業に集中出来ない。(先生はトイレ掃除より、授業向上に専念してほしいので、税金でプロにお願いしたい。)
- ・富士見市はしっこなので三芳町、ふじみ野市の小中学校への越境入学の選択をさせてほしい。通学時間が長くなればなるほど、交通事故の危険性があるので解消してほしい。

■家庭から出るゴミを減らすために、定期的にフリーマーケットで不要品を気軽に売り買い出来る環境を作してほしいです。子供服、誰かにあげたいけど「もらって下さい」と言えない人が多い気がします。まだ着られるのに結構捨ててます。

■・みずほ幼稚園辺りから見える富士山の景色が大好きです。この景色が今後もキレイに見続けられるように家庭で出来るゴミの量や移動手段、エアコンの使い方など工夫出来ることは沢山ある

ので、引き続き続けていきたいと思いました。

・子供とも話し合えるいいきっかけになったと思います。

■普段行っていることで環境破壊を少しでも食い止めることが出来れば、一人一人の心掛けが大切だと実感しました。地域のボランティア活動へも積極的に参加していきたいです。

■環境に関する問題を聞くと、スケールが大きすぎて自分一人がゴミを分別したところで…や節水したところで…と思いがちですが、地域全体で協力し合って一人一人の力は小さいですが、みんなでやれば大きなものになると知ることが大事かと思えます。私も自分も力になれるんだということのを忘れずに今やっていることは続けて、出来ることはやっつけていこうと思えます。これから生きていく私の子供らや、孫やひ孫までキレイな川や空を見せてあげたいです。

■・関沢地区だけ子どもが思い切りボールなどを使える大きな公園がありません。

・今も公園にカブトムシがいたり、メダカやカエルを見つけたり、昔自分がやっていたことを子供と楽しめてすごく幸せを感じます。いつもありがとうございます。

■・空き地、空き家、それらのポイ捨て、不法投棄が気になっています。

・鶴瀬駅西口左方のマンションの駐車場が移らずずっと通行止めになっている件、無事通路が完成されることを切に願っております。

■志木市から富士見市へ繋がる橋二本は常に渋滞している。渋滞は余計なエネルギーを使う。早急に1本橋を架けてほしい。

■・小中学校の周りの雑草、木を切ってほしい。また、キレイに整えてほしい。

・給食の牛乳のストロー使用を見直してほしい。

■富士見市は交通の便がよく、自然景観も素晴らしいので今後も継続してほしい。

■安心してウォーキングが出来る道が少なく、残念に思っています。道幅が狭かったり、広くて歩道があっても途中で切れたり狭くなったり…ウォーキングコースがある事は承知していますが、そこまで行くのに一山あります。思い立った時に気軽にあんに3~4 km歩ける町並みであれば歩数計も更に活用できるでしょう。順々に再開発をお願いします。

■・自然があり都内への利便性もよく住みやすいです。

・自然を生かした公園と、わざわざ膨大な費用を費やして開発してしまうことにとっても疑問を感じます。ビン沼公園を商業施設のように、BBQ やカフェなど全く必要性を感じません。市民が気軽に遊びに行けるような公園なのに残念過ぎます。今後もそのまま自然を生かしている場の新規開発はやめてほしいです。自然のままの生態系から子供たちは沢山のことを感じたり学んだりします。大切な自然を壊さないでほしいです。

■・ららポートが出来て来店者や人口が増えているのに、歩行者信号が足りない交差点や右に曲がる時間がある交差点の矢印式信号機がないところがあります。しかもそれらは人も車も多い信号です。あと、子供の全ての通学路のガードレール設置の必要有無を再確認してほしい

・公園が少ない。大きい公園はありますが、家が遠い方はなかなか行けません。公園は子供だけでなく老若男女が使うので増やしてほしいです

■市民事業者が出来ることは限られています。行政が考えたものを議会にかけ、本当に必要なものを実行して欲しい。災害、特に水害の対策が急務と考えています。そこらへんを考えていただくとうれしいです。

- ゴミの事を知り、改善、向上するなら清掃員の意見、知識、どうしてほしいかを聞いて実行してほしうと思ひます。
- 環境対策を実施するうえでネックになるのが、初期投資の高額な面です。今後地域での消費、運用の流れが加速すると思ひますが、消費者にとって設備導入への障壁はまだ高い状況にあると思ひます。行政として力を入れるのであれば補助金に力を入れて障壁を下げる、しない事業者との連携を図り、産業としての位置づけを上げる等、産官一体となった事業スキームの確立も必要と考えます。昨今の情勢からも環境配慮への市民への関心も高いと感じております。予算等限りもあると思ひますが、クラウドファンディング等の活用なども検討し、市民参加型の仕組みづくりで町の活性化、モデル事業、対外発信力などが構築できると、より町への愛着もわくかと思ひます。市民として環境への取り組みに誇りを持てる街づくりを期待してあります。
- 市民の取り組みが環境の向上にどう貢献出来ているのか具体的に見えるようにしてほしいです。省エネ、公共設備の維持につながっている、とかひいては市の支出を抑えられるとなればモチベーションも上がります。一番は自分たちが住んでいる町への愛着がモチベーションとなると思うので住みやすい町づくりを共に頑張っしてほしいです。
- アンケート回答させて頂きましたが、これまでに富士見市が行ってき環境に関する計画及び実績が不明な状況の私が回答して良かったのでしょうか。
- 環境、教育、学習に関しては、子供の頃からの意識づけも大切だと思うので、早い段階から行った方が良くと思ひます。
- ・路上での喫煙を禁止にしてほしい
 - ・野良猫に餌をあげる人が多く迷惑している。何とかしてほしい。
 - ・(これはライフバスにいうべきことだと思ひますが) ライフバスがいつも自宅付近で時間調整の為には停車をしている。エンジンをかけたまま停車していることが多く、タバコの吸い殻は歩道に捨てており、マナーが悪い。駅前のロータリーが(西口)狭いため、このようなことになっているのではないか。
- 特になし。
- ・車道と歩道が分かれていないところが多いのではっきりとした区別やガードレールの設置。
 - ・歩道に段差が多いのでなだらかになると良いです。
- 意見、要望はあります。ですが、動いてくれないですよ？過去に環境課を訪ねたことがありますが、何も解決しませんでした。
- ・学校でも保育所でも物の大切さやゴミの処理方法など指導、勉強しており、自身が子供の頃より学ぶ機会が多いように思ひます。
 - ・コロナ前までは地域のゴミ拾いに家族で参加し近所の方とも交流があったので良い環境だと思っただのに残念です。
 - ・仕事もしており、なかなか平日の活動に参加することは難しいですが、土日であれば参加出来ることもあるかと思ひます。そうすると市役所の方はお休みになるので難しいかなと感じています。
 - ・ゴミの収集の方はいつも丁寧にゴミを回収して下さいますが、ゴミの出す量により網が足らず出せなかったり、外に出てしまいカラスに荒らされたりします。夜回収している場所も他県にあ

るようです。防犯にもなりますし、働く方の賃金も上がるのではと思います。ご検討下さい。

■所々に自然や季節の移り変わりを感じられる川や公園があつて、とても暮らしやすい町だと思えます。子供の遊び場というと、公園があつて思い思いに遊べていますが、昨今のコロナ禍において、雨の日でも体を動かせる施設がありません。ガーデンビーチ（プール）の閉設は、親も子供も大変ショックを受けております。朝霞のわくわくドームのように年中遊べて体力づくりも出来る全天候型のプールやジムが出来ることを切望しております。大人としても今後の体力づくりをしていきたいと思っておりますが、市民体育館のジムやスタジオは若干規模が小さいと感じています。老若男女がいきいきと体を動かして、市民皆が、市民皆がキラキラと輝く富士見市を目指したいですね🍃

■道路など特に保王社の所はまだまだ段差や斜めな所が多い。ガードレールも少ないので危ない。

■特にありません。

■★毎日、市の為にご尽力頂き感謝です。

・この先、子供や、未来の為に環境保全は大切だと思っています。

・危険な通学路や痛んだ道路など今一度見直していただきたい所も多々あります。要望書を書かせてもらいましたが、反映されず事故があつてからでは遅いのでは？と疑問です。ミラーを1つつけてもらいたい場所など…。

・地球温暖化も危惧すべき人類のテーマです。CO₂を減らし、ホッキョクグマが居場所をなくさないように、皆が意識してくれるといいなと考えます。

・未だにゴミの分別も分かっていない方がいるようで回収されない日もあります。どうしたらいいですかね。カゴ（不燃物）の色をもっと分かりやすく買える、数量を増やす、など改善点は多々ありますね。

■特にないです。

■意見がないです。環境がとても良いです。

■以前、畑だったという所に家が11棟建てられたところに住んでいますが、大雨が降った時に自宅前の道路が川状態になってしまい怖い思いをしました。今後、新しい家を何棟か建てる時は是非排水処理をしっかりとされますことをお願い致します。

■南畑地区に住んでいますが、朝から何かを燃やす方がいるため、洗濯物が臭ってしまい、また洗い直さないといいけないことがしばしばです。とても困っています。せめて天気の良い日や夕方以降に燃やすように声かけていただけたらとても助かります。

■特にない。

■南畑地区葉農家が多く、田畑が多く自然豊かだが、住宅地も増えてきているので野焼きをするのはやめてほしい。火災に繋がる事もあるし空気も汚れてしまいそうです。

■地域柄、未だに田畑でゴミを燃やす住民がいます。煙や臭いが洗濯物についてしまって困っています。ビニールやプラスチック類も燃やしているみたいで有害物質が心配です。

■特にありません。

■家を作るなら周辺の道路を広くするように働きかけて下さい。薬局等生活に必要なものを増やしてください。子供の数に比べて公園が少ない。学童のスペースがずっと変わらない。ららポート迄のバスを無料にして下さい。市役所前からのららポートの信号に右折信号を持って行ってくださ

い。

- 富士見市は自然も多く住みやすいと思う。もう少し市などのバスを増やし本数も多くしてほしい
- ・“しのめの里”の草刈りが度々行っていて、長時間やりますし、テレビの音が聞こえないくらい騒音で耐え難いです。作業する人たちの話声などもとてもうるさいです。何とかありませんか???(何回か苦情も入れました) よろしくお願い致します。
 - ・何故、緑地化したのでしょうか!? 毎回草刈しているのであれば緑地にした意味があるのでしょうか??? *改善をお願い致します。緑地化にして草刈の為に人件費などのお金を使う意味が分かりません!!
- いつも色々と考え努力して下さりありがとうございます。引っ越してきてから7年目になります。私は子供が5人いますので、通学路等の整備や子供に関することは特にありがたく思います。今後も期待しております。
- ・環境保全や緑化などのボランティア活動に夏休み中など小中学生が積極的に参加できる様にしてほしいです。→広報や学校のお手紙でお知らせ。
 - ・昔ながらの自然環境を保全、かつその中で子供たちが、生き生きと遊び学べると良い。
 - ・環境保全、緑化などのボランティア活動があるかどうかとも知らないので広報やHP ポスターなどで知らせてほしい。またその活動を積極的に支援し、広げてほしい。
- ・生ごみ処理のための容器、例えば「キエーロ」みたいなものをふじみ野市では格安で購入出来ると聞きました(市から購入)。富士見市でもやっていただきたいです
 - ・また、うちの溝は、中に雑草がボーボーに生えています。除草しようにも重たい金網がはめてあり、なかなか簡単に行きません。もっと楽に手入れが出来るように考えていただきたいです。
- ・やはりららポートが出来てから、雨の日やイベント中は道路の渋滞が増え排ガス増になっていると思う。
 - ・川沿いなどは不法投棄物が目立つ。
 - ・市役所のレンタサイクルはとてもいい取り組みだと思うが、認知度が低い。
- 今回のアンケートの結果をなんらかの形で発表をして下さい。(HPとか広報とか)
- 特にはないです。
- 鶴瀬小学校の通学では、しまむらのある通りがカラスが沢山集まってきて子供たちが怖い思いをしていることがあります。ゴミを出さねばならないことはもちろんですが、大人でも怖いと感じる事があります。学校の周辺など子供たちも保護者も一緒にゴミ拾い活動などすることで正しくゴミ捨てしていくことの大切さも学んでいかれるのでは、という思いもあります。教科書の中で学ぶだけでは分からないことはあります。知識と実働と両方を家庭でも伝えてゆきたいと思います。私自身は東京で育ちました。富士見市は便利さと自然ととてもバランスが良くある市だと感じています。富士見市に自然の良さをもっとアピールしたもの(自然の残るところなど)を前面に押し出したMAPなどがあればいつでも手に取れるところにあったら市内に住んでいても訪れてみたいと思います。*既にあつたらすみません。 ”環境” といっても子供たちにとってはまずは身近なところで感じられなければその先へはつながらないと思います。
- 駅付近の道や幹線道路にゴミがよく落ちています。歩きたばこをしているほとんどの人がポイ捨てしています。もっとポイ捨てゴミの問題について活動してほしい。啓蒙活動他、ゴミ拾い活動や

草むしりなど。ゴミがないのは環境問題の基本だと思います。

- 昔はもっと畑や雑木林など自然豊かな富士見市でしたが、最近はこちら宅地に変わってしまっているという印象です。子供たちが市内で当たり前のように自然と共存し自然の中で学べる環境が戻ればいいなと思っています。
- 富士見市の環境はとても気に入っています。